

021. 2-Mo32イウ

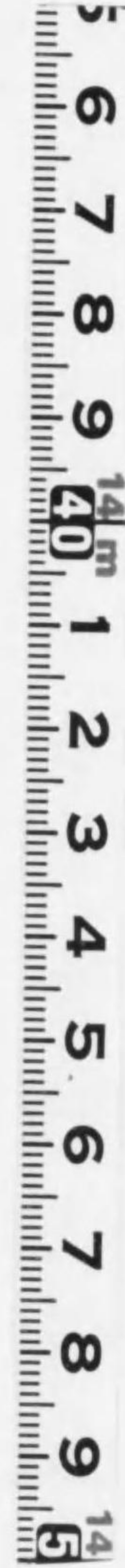


1200500724137

昭和二十三年十一月

本稿  
著作権ニ關スル外國法令集  
(一)

文  
部  
省



始



021.2  
Mo32  
(1)

本書は昭和十七年（一九四二年）二月内務省警保局が翻譯出版したものを翻刻したものである。昭和十七年以後の各國著作権法令の改正については、調査の上増補訂正したい考である。

なお第二分冊として残餘の分は引續き出版の豫定である。

昭和二十三年十一月

文部省社會教育局著作権室

目次

編者寄贈本

アメリカ合衆國

著作権ニ關スル諸條例ヲ改正統合スル條令



改正統合スル條令



文藝的及音樂的著作物ニ關スル著作権法



造形美術的及寫眞術的著作物ニ關スル著作権法



出版權ニ關スル法律

- (一) 千七百九十一年一月十三日——十九日ノ緊急命令……………九一
- (二) 千七百九十一年七月十九日——八月六日ノ緊急命令……………九二
- (三) 千七百九十三年九月一日ノ緊急命令……………九三
- (四) 千七百九十三年七月十九日——二十四日ノ緊急命令……………九四
- (五) 共和曆十三年芽月一日（千八百五十五年三月二十二日）ノ勅令……………九五



(六)	共和曆十三年芽月七日(千八百五十五年三月二十九日)ノ勅令	四
(七)	千八百六年六月八日ノ勅令	四
(八)	千八百九年二月二十日ノ勅令	五
(九)	千八百十年二月五日ノ勅令	六
(十)	千八百十年二月十二日ノ刑法	七
(十一)	千八百十二年十月十五日ノ勅令	九
(十二)	千八百十四年六月六日ノ命令	一〇
(十三)	千八百四十四年五月六日ノ法律	一〇
(十四)	千八百四十二年十二月十三日ノ命令	一三
(十五)	千八百五十二年三月二十八日——三十一日ノ大統領令	一三
(十六)	千八百六十六年七月十四日——十九日ノ法律	一四
(十七)	千八百九十五年二月九日ノ法律	一五
(十八)	千九百十年四月九日ノ法律	一六
(十九)	千九百十七年十一月十日ノ法律	一七
(二十)	千九百二十年五月二十日ノ法律	一八
(二十一)	千九百二十四年五月三十一日ノ大統領令	一九

(二十二)	千九百二十五年五月十九日ノ法律	二〇
-------	-----------------	----

興又ヲ著演脚ルヲ教講  
行ハ製音本ノ陳及演  
其展器シ又ヲ特述其  
他覽シ盤ハ上ス他説

他及色藝ノ行印  
ノ改譯、特及刷、  
特作編、權販、  
權其曲脚賣發

アメリカ合衆國



著者權ニ關スル諸條例ヲ改正統合スル條令 (一九〇九年三月四日)

改正 一九一二年八月二十四日、一九一三年三月二日、一九二四年五月二八日、一九二六年七月三日、一九二八年五月二三日

何人ト雖モ著作權ヲ附與セザル者ハ本條例ノ規定ニ從ヒ左ノ特權ヲ享有ス

(a) 著作權ノ存スル著作物ヲ印刷シ翻刻シ發行シ複製シ及販賣スルコト

(b) 著作權ノ存スル著作物ヲ學藝的著作物ナル場合ハ他ノ國語若ハ方言ニ之ヲ翻譯シ又ハ其ノ他ノ翻譯ヲ爲スコト

(c) 著作物ガ脚本ニ非ザル著作物ナル場合ハ之ヲ脚色スルコト著作物ガ戯曲ナル場合ハ小説若ハ其ノ他脚本ニ非ザル著作物ニ變形スルコト著作物ガ音樂的著作物ナル場合ハ編曲又ハ改作スルコト著作物ガ美術的著作物ノ雛型

若ハ圖案ナル場合ハ之ヲ完成シ實施シ及完了スルコト

(d) 著作權ノ存スル著作物ガ講演、説教、演説若ハ之ト類似ノ著作物ナル場合ハ營利ヲ目的トシテ之ヲ公ニ陳述シ又ハ其ノ陳述ヲ許諾スルコト

著作權ノ存スル著作物ガ戯曲ナル場合ハ之ヲ興行又ハ上演スルコト著作物ガ脚本ニシテ販賣ヲ目的トシテ印本ニ複製セラレザル場合ハ其ノ原稿若ハ著音器盤ヲ其ノ如何ヲ問ハズ販賣スルコト右著作物ノ全部若ハ一部ヲ任意ノ様式ニ於テ又ハ任意ノ方法ニ依リ展覽ニ供シ興行シ上演シ製作シ又ハ複製スルノ用ニ供スル其ノ轉寫若ハ

(e) 蓄音器盤ヲ製作シ又ハ製作セシムルコト及右著作物ヲ任意ノ様式ニ於テ又ハ任意ノ方法ニ依リ展覽ニ供シ興行  
シ上演シ製作シ又ハ複製スルコト

著作權ノ存スル著作物ガ楽曲ナル場合ハ營利ノ目的トシテ之ヲ公ニ演奏スルコト竝ニ營利ノ目的トスル公ノ演  
奏及本節(a)號ニ示セル行爲ノ目的トシテ右著作物若ハ其ノ旋律ノ編曲若ハ改作ヲ著作人ノ思想ヲ記録スルニ適  
シ且之ヲ讀ミ又ハ複製スルノ用ニ供スルヲ得ル任意ノ記號體系若ハ記録形式ニ於テ著作スルコト然レドモ本條  
例ノ規定ハ音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ノ部分ヲ監督スル權利ヲ保障スル範圍内ニ於テ  
ハ本條例實施後公ニセラレ且著作權ヲ附與セラルル楽曲ノミヲ包含シ外國著作人若ハ作曲家ノ著作物ハ之ヲ包  
含セズ但シ右著作人若ハ作曲家ガ人民若ハ臣民トシテ屬スル外國ガ條約、協約、協定若ハ法律ニ依リテ合衆國  
人民ニ之ト類似ノ權利ヲ許與スル場合ハ此ノ限ニアラズ又音樂著作權者ガ音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ  
用ニ供スル機器ニ著作權ノ存スル著作物ヲ寫調シ又ハ寫調セシメ若ハ其ノ寫調ヲ知リテ默認シタル場合ハ何時  
ニテモ一切ノ他人ハ製作セラレタル機器一箇ニ付ニ「セント」ノ使用料ヲ著作權者ニ支拂ヒテ著作權ノ存スル著  
作物ヲ右ト同様ニ利用スルコトヲ得之ヲ以テ著作權ニ基ク監督權ヲ機械的複製ニ及ボス條件トス使用料ハ機器  
ノ製作者之ヲ支拂フ著作權者ハ各月二十日ニ前月中ニ製作シタル前記音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ  
供スル機器ノ數ニ付宣誓報告ヲ請求スルコトヲ得其ノ請求ヲ受ケタル製作者ハ之ヲ提出スベシ各月中ニ製作シ  
タル機器ニ關スル使用料ハ翌月二十日ニ支拂フベシ本節ニ規定セル使用料ノ支拂ハ使用料ガ支拂ハレタル物品  
若ハ裝置ニ對シ著作權ニ關スル其ノ後ノ負擔ヲ免除スベシ但シ營利ノ目的トスル公ノ演奏ノ場合ハ此ノ限ニア  
ラズ然レドモ著作權者ガ音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ノ製作ノ爲自ラ樂曲ヲ利用シ又ハ

之ガ利用ヲ他人ニ許可シタル場合ハ登録料ヲ添附シテ其ノ通知書ヲ著作權局ニ提出スル義務ヲ有ス該通知書ノ  
提出ヲ怠リタルトキハ著作權ノ侵害ニ對シ何等ノ出訴、訴訟、訴訟手續ヲ爲スコトヲ得ズ

書面ニ依リ請求アリタル後三十日以内ニ右ノ製作者ガ著作權者ニ對シ前記ノ率ニヨリ其ノ請求ノ日ニ支拂フベ  
キ使用料ノ全額ノ支拂ヲ怠リタル場合ハ裁判所ハ當然支拂ハルベキ訴訟費用並ニ相當ノ辯護人料ヲ原告ニ對シ  
裁定スルコトヲ得又裁判所ハ本條例ノ規定ニ從ヒ使用料トシテ支拂フベキモノト認メラレタル總額以外ニ右ニ  
付該總額ノ三倍ヲ超エザル附加金額ヲ其ノ自由裁量ニヨリ決定スルコトヲ得

貨幣運轉機ニヨリ樂曲ノ再生若ハ演奏ハ營利ノ目的トスル公ノ演奏ト看做サズ但シ其ノ再生若ハ演奏ノ行ハル  
ル場所ニ入場料ヲ課スル場合ハ此ノ限ニアラズ

第二節 本條例ノ規定ハ未ダ發行セザル著作物ノ著作人若ハ所有者ガ自己ノ同意ナキ著作物ノ複製、發行若ハ利用ヲ  
防止シ之ガ爲ニ損害賠償ヲ獲得スル普通法若ハ衡平法上ノ權利ヲ何等無効ニシ又ハ制限スルコトナシ

第三節 本條例ニ規定セル權利ハ著作權ノ存スル著作物中ノ著作權ヲ附與スベキ一切ノ構成分子並ニ之ニ包含セラル  
ル既ニ著作權ノ存スル一切ノ件ヲ保護ス但シ右權利ノ期間若ハ範圍ヲ擴張セズ合著作物若ハ定期刊行物ノ著作權ハ  
著作權ノ所有者ニ對シ各部分ガ本條例ニ依リテ各個ニ著作權ヲ附與セラルル場合ニ享有スベキ右ニ關スル一切ノ權  
利ヲ與フルモノトス

第四節 本條例ニ依リ著作權ヲ確保セラレ得ル著作人若ハ著作人ノ一切ノ文書ヲ包含ス

第五節 登録ノ申請書ニハ著作權ノ請求セララル著作物ガ左ノ種類ノ孰レニ屬スルカヲ特記スベシ

(a) 書籍(輯録物及百科全書、氏名住所録、地名辭典、其ノ他ノ編輯著作物ヲ含ム)

編輯著作物、脚色物、翻譯物、新編、新譯、新編、新譯

- (b) 定期刊行物(新聞紙ヲ含ム)
- (c) 講演、說教、演說(口陳陳述ヲ目的トシテ作成セルモノ)
- (d) 演劇脚本若ハ樂譜入演劇脚本
- (e) 樂譜
- (f) 地圖
- (g) 美術著作物、美術著作物ヲ目的トスル模型若ハ下圖
- (h) 美術著作物ノ複製物
- (i) 學術的若ハ技術的性質ヲ有スル圖書若ハ造形著作物
- (j) 寫眞
- (k) 版畫及圖解
- (l) 活動寫眞劇
- (m) 寫眞劇以外ノ活動寫眞

然レドモ前掲ノ列記ハ本條列第四節ニ定メタル著作權ノ目的ヲ制限スルモノト解スベカラズ又分類ノ過誤ハ本條例ニ依リ確保セラルル著作權ノ保護ヲ無効ニシ若ハ減少スルコトナシ

第六節 公有ニ歸シタル又ハ著作權ノ存スル著作物ノ編輯著作物若ハ要略物、改作物、編曲、脚色物、翻譯物若ハ其ノ他ノ變形物ニシテ右著作物ノ著作權者ノ同意ヲ得テ製作シタルモノ並ニ新規ノ材料ヲ加ヘテ再刊シタル著作物ハ本條例ノ規定ニ依リ著作權ヲ附與スベキ新著作物ト看做ス但シ該新著作物ノ發行ハ其ノ利用シタル内容若ハ其ノ一部分ノ現存著作權ノ效力若ハ有效性ヲ害スルコトナシ又ハ原著物ヲ右ノ如ク利用スル特權ヲ發生シ若ハ原著物

ニ對シ著作權ヲ取得シ又ハ著作權ヲ擴張スルモノト解スベカラズ

著作權ノ對象タル著作物、政府發行物、公物、私物、公有物、私物

第七節 公有ニ歸シタル著作物ノ原本若ハ本條例實施以前ニ本邦若ハ外國ニ於テ公ニセラレ且合衆國ニ於テ既ニ著作權ヲ附與セラレザリシ著作物又ハ合衆國政府ノ出版物又ハ其ノ全部若ハ一部ノ翻譯物ハ著作權ヲ有セズ但シ政府ガ著作權ノ現存スル物件ヲ別箇ニ若ハ公文書中ニ發行若ハ再發行スル場合ハ之ニ依リ著作權ノ制限若ハ失效ガ生ジ又ハ著作權者ノ同意ナクシテ右ノ有著作權物件ノ利用若ハ翻寫ガ許サルモノト解スベカラズ

條例ニ特記セル期限ニ著者又ハ著作權者ノ同意ニ依リテ與ヘラルル著作權

第八節 本條例ニ依リ著作權ノ目的タル著作物ノ著作權者若ハ所有者又ハ其ノ遺言執行人、管理人又ハ讓受人ニ對シテハ本條例ニ特記セル條件及制限ニ於テ右ノ著作物ニ付著作權ヲ附與ス但シ本條例ニ依リ保障セラルル著作權ハ左ノ場合ニ限り外國國家若ハ外國國民ニ屬スル人民若ハ臣民タル著作權者若ハ所有者ノ著作物ニ及ブモノトス

(a) 外國ノ著作權者若ハ所有者ガ其ノ著作物ノ第一發行ノ際合衆國內ニ居住スル場合  
 (b) 右著作權者若ハ所有者ガ人民若ハ臣民トシテ屬スル外國國家若ハ外國國民ガ條約、假條約、協定若ハ法律ニ依リ合衆國ノ人民ニ對シ自國ノ人民ニ對スルト事實上一ノ根據ニ基ク著作權ノ利益若ハ本條例又ハ協定ニ依リ右ノ外國著作權者ニ保障セラルル保護ト事實上等シキ著作權保護ヲ附與スル場合又ハ著作權附與ニ付互惠主義ヲ規定シ且其ノ條件ニ依リ合衆國ガ隨意ニ加盟スルヲ得ル國際協定ニ右ノ外國若ハ外國國民ガ加盟スル場合

前項ニ掲グル互惠主義ノ條件ノ存否ハ合衆國大統領ニ依リ本條例ノ目的上必要アルベキ場合ニ應ジ行ハルル宣言ヲ以テ之ヲ決定スベシ

著作權ノ明カニスル告知ヲ發行シタル

第九節 何人ト雖本條例ニ依リ著作權ヲ附與セラレタル者ハ本條例ニ依リ要求セラレタル著作權所有ノ告知ヲ附シテ著作物ヲ發行スルコトニ依リ其ノ著作權ニ付著作權ヲ確保スルコトヲ得右ノ告知ハ合衆國ニ於テ著作權者ノ許諾ヲ

著作權ノ  
登録

得テ發行セラレ若ハ販賣ニ供セラレタル該著作物ノ各印本ニ之ヲ添附スベシ但シ本條例第二十一節ニ依リ臨時ニ保  
護ヲ要求スル書籍ハ此ノ限ニアラズ

未發行  
著作物ノ  
著作權ノ  
保護ノ  
演劇脚本  
樂曲

第十節 右ノ者ハ本條例ノ規定ニ從ヒ著作權請求ノ登録ヲ受クルコトヲ得(印本ノ納本ヲ含ム)規定ニ從ヒタルトキハ  
著作權登録係ハ本條例第五十五條ニ定ムル證明書ヲ右ノ者ニ交付スベシ

第十一節 著作物ガ印本ヲ販賣ノ目的ヲ以テ複製セザル著作物ニ付テモ亦著作權ヲ取得スルコトヲ得但シ著作物ガ講  
演若ハ之ト類似ノ產物若ハ演劇脚本、樂譜又ハ樂譜入演劇脚本ナル場合ハ著作物ノ完全ナル印本一部、著作物ガ  
活動寫眞劇ナル場合ハ其ノ題號及解説並ニ各場面若ハ各段ヨリノ複寫一本、著作物ガ寫眞ナル場合ハ寫眞ノ複寫一  
枚、著作物ガ寫眞劇以外ノ活動寫眞ナル場合ハ其ノ題號及解説並ニ完全ナル活動寫眞中ノ異レル部分ヨリノ複寫少  
クトモ二本、著作物ガ美術的著作物若ハ造形的著作物又ハ圖畫ナル場合ハ寫眞一枚若ハ其ノ他之ヲ確認スル複製物  
ヲ著作權請求書ニ添ヘテ納付スベシ然レドモ右ニ依リ保障セラレタル著作權登録ノ特權ハ著作權者ニ對シ著作物ノ  
印本ヲ其ノ後ニ於テ販賣ノ目的ヲ以テ複製スル場合本條例第十二節及第十三節ニ依リ印本ノ納付ヲ免除スルモノニ  
アラズ

最良版ノ  
完全ナル  
印本二部

第十二節 本條例第九節ニ規定セル通り著作權所有ノ告知ヲ附シテ著作物ガ公ニセラルルコトニ依リ著作權ヲ保障セ  
ラレタル後ハ其ノ際發行セラレタル右著作物ノ最良版ノ完全ナル印本二部若ハ著作物ガ外國國家又ハ外國國民ニ屬ス  
ル人民又ハ臣民ノ著作ニカカリ且外地ニ於テ發行セラレタル場合ハ外地ニ於テ其ノ際發行セラレタル最良版ノ完全  
ナル印本一部ヲ直チニ「コロンビア」州「ワシントン」市ノ著作權局ニ納本シ若ハ著作權係宛テ郵送スベシ但シ著作物  
ガ書籍若ハ定期刊行物ナル場合ハ印本ガ本條例第十五節ニ特記セル製作ニ關スル規定ニ從ヒ製作セラレタルコトヲ

納本ノ  
注意

要ス著作物ガ定期刊行物ヘノ寄稿ニシテ該寄稿ニ對シ別箇ノ登録ヲ要請セラルル場合ハ該寄稿ヲ掲載スル號若ハ各  
號ノ印本一部トス著作物ノ印本ガ販賣ヲ目的トシテ複製セラレザル場合ハ本條例第十一節ニ定ムル印本、複寫、寫  
眞若ハ其ノ他之ヲ確認スル複製物ヲ納付スベシ該印本、複寫、寫眞若ハ其ノ他ノ複製物ニハ各場合ニ於テ著作權請  
求書ヲ添付スベシ著作物ノ著作權ノ侵害ニ關シテハ印本ノ納本及該著作物ノ登録ニ關スル本條例ノ規定が履行セラ  
ル迄ハ何等ノ訴訟ヲ提起シ若ハ訴訟手續ヲ開始スベカラズ

第十三節 本條例第十二節ニ依リ要求セラルル印本ガ同節ニ規定セラルル通り直チニ納本セラレザル場合ハ著作權係  
ハ著作物ノ發行後何時ニテモ有效通告ヲ以テ著作權者ニ對シ印本ノ納本ヲ請求スルコトヲ得其ノ請求後合衆國ノ遠  
隔ノ屬領ヲ除キ合衆國ノ各地方ヨリ三月以内ニ若ハ合衆國ノ遠隔ノ屬領又ハ外國ヨリ六月以内ニ著作物ノ印本ノ納  
本ナキ場合ハ著作權者ハ百「ドル」ノ罰金ニ處シ且國會附屬圖書館ニ對シ該著作物ノ最良版ノ小賣値段總額ノ二倍ヲ  
支拂フベシ又著作權ハ消滅スルモノトス

第十四節 本條例第十二節及第十三節ニ規定セル通り納本セラルル物品ノ交付ヲ受タル郵便局長ハ要求アル場合ハ之  
ニ對シ受領證ヲ交付シ且著作權請求人ニ費用ヲカケズシテ其ノ目的地ニ郵送スベシ

第十五節 英語以外ノ一若ハ數國語ヲ以テ外國ニ於テ著作セラレタル書籍ノ原本ヲ除キ本條例第五節(a)號及(b)號ニ特  
記セル印刷セラレタル書籍若ハ定期刊行物ニ付テハ以下ニ規定スルトコロヲ除キ本條例ニ依リ保護ヲ附與セラレタ  
ル一切ノ印本ノ本文ハ合衆國ノ境界内ニ於テ手若ハ一切ノ種類ノ植字機ニ依リ組マレタル活字ヲ以テ若ハ合衆國ノ  
境界内ニ於テ組マレタル活字ヨリ玆ニ於テ製作セラレタル版ヲ以テ又ハ本文ガ石版術的方法若ハ寫眞製版術的方法  
ニ依リ製作セラルル場合ハ合衆國ノ境界内ニ於テ一切行ハレタル方法ニ依リ印刷セラルルコトヲ要ス又本文ノ印刷

合衆國ノ  
境界内ニ  
於テ組マ  
レタル活  
字ヲ以テ  
印刷シタ  
ル場合

郵便局長  
受領證

及該書籍ノ製本ハ合衆國ノ境界内ニ於テ行ハルベシ本要求ハ印刷セラレタル本文及石版術的方法若ハ寫眞製版術的方法ニ依リ製作セラレタル挿畫ヨリ成ル書籍並ニ獨立ノ石版畫及寫眞製版畫ニモ亦之ヲ及ボスモノトス但シ此ノ二ツノ場合ニ於テ表現セラレタル主體ガ外國ニ存シ且學術的著作物ノ解説若ハ美術的著作物ノ複製ナル場合ハ此ノ限ニアラズ然レドモ該要求ハ盲人用ノ點字若ハ英語以外ノ一若ハ數國語ヲ以テ外國ニ於テ著作セラレタル書籍若ハ英語ヲ以テ外國ニ於テ發行セラレ本條例ニ依リ假ニ保護ヲ求ムル書籍又ハ本節ニ於テ右ニ特記セル方法以外ノ一切ノ方法ニ依リ合衆國ニ於テ印刷若ハ製作セラレタル著作物ニハ之ヲ適用セズ

アメリカ製宣誓書

第十六節 書籍ノ場合ニ於テ右ノ通り納本セララル印本ニハ著作權請求者若ハ合衆國ニ居住スル正式ニ認メラレタル其ノ代理人若ハ代表者又ハ右ノ書籍ヲ印刷シタル印刷者ニ依リ正式ニ作成セラレ且合衆國內ニ於テ宣誓ヲ司ルコトヲ認メラレタル官吏ノ公印ノ捺捺ヲ受ケタル宣誓書ヲ添附スベシ宣誓書ニハ納本セララル印本ガ合衆國ノ境界内ニ於テ組マレタル活字ヲ以テ若ハ合衆國ノ境界内ニ於テ組マレタル活字ヨリ茲ニ於テ製作セラレタル版ヲ以テ印刷セラレタルコト若ハ本文ガ石版術的方法若ハ寫眞製版術的方法ニ依リ製作セラレタル場合ハ該方法ガ合衆國ノ境界内ニ於テ一切行ハレタルコト並ニ本文ノ印刷及該書籍ノ製本モ亦合衆國ノ境界内ニ於テ行ハレタルコトヲ明記スベシ右ノ宣誓書ニハ右ノ活字ガ組マレ若ハ右ノ版ガ製作セラレ又ハ石版術的方法若ハ寫眞製版術的方法又ハ印刷及製本ガ行ハレタル場所及營造物並ニ右書籍ノ印刷ノ完了ノ年月日若ハ發行ノ年月日モ亦之ヲ明記スベシ

偽誓、輕罪、罰金、千弗及著作權剽奪

第十七節 何人ト雖著作權請求ノ登錄ヲ受クルコトヲ目的トシテ前掲ノ條件ニ從ヒタリトスル偽誓ヲ故意ニ行フ者ハ輕罪ヲ犯シタルモノト看做シ之ガ認定ニ基キ千「ドル」以下ノ罰金ニ處シ且該著作權ニ基ク權利及特權ノ一切ヲ剽奪スベシ

著作權所有告知

第十八節 本條例第九節ニ依リ要求セララル著作權所有ノ告知ハ Copyright ナル語若ハ Copr. ナル略語ヲ以テシ且之ニ著作權者ノ氏名ヲ添附スルモノトス著作物ガ印刷セラレタル文學的、音樂的若ハ演劇的著作物ナル場合ハ右ノ告知ハ發行ニ依リ著作權保障セラレタル年ヲモ含ム但シ本條例第五節(f)號乃至(k)號ニ於テ特記セル著作物ノ複寫物ノ場合ハ告知ハ次ノ如ク圓内ニ包マレタル文字C即チ©ヲ以テスルコトヲ得且之ニ著作權者ノ頭文字、組合文字、記號若ハ符號ヲ添附スルモノトス然レドモ右ノ複寫物ノ見易キ部分若ハ其ノ綴、裏、永久の臺座若ハ臺又ハ右ノ複寫物ヲ置ク物體ノ見易キ部分ニ其ノ氏名ヲ表スベシ尤モ本條例實施ノ際ニ著作權ノ存スル著作物ノ場合ハ著作權所有ノ告知ハ茲ニ規定セル形式ノ一ニ依リコトヲ得第十九節 書籍若ハ其ノ他ノ印刷發行物ノ場合ハ著作權所有ノ告知ハ扉若ハ其ノ直後ノ頁ニ之ヲ附シ定期刊行物ノ場合ハ各號ノ扉若ハ本文ノ第一頁又ハ見出シノ下ニ之ヲ附シ樂譜ノ場合ハ扉若ハ樂曲ノ第一頁ニ之ヲ附スベシ然レドモ發行シタル新聞紙若ハ定期刊行物ノ場合ハ發行シタル各冊若ハ各號ニ唯一ノ著作權所有ノ告知ヲナスヲ以テ足ル第二十節 著作權者ガ著作權所有ノ告知ニ關スル本條例ノ規定ニ從ハント努メタル場合ニ於テ事故若ハ疎漏ニ依リ個個ノ印本ニ規定ノ告知ヲ怠ルトキハ著作權ハ其ノ效力ヲ失ハズ又著作權所有ノ有效通告ノ後ニ於テ之ガ侵害ヲ企テ始ムル者ニ對スル損害回復ノ訴訟ヲ障グズ但シ告知怠慢ノ結果過誤ヲ犯シタル善意ノ違反者ニ對シテハ損害賠償ノ訴訟ヲナスコトヲ得ズ又侵害ニ對スル訴訟ニ於テハ著作權者ニ於テ善意ノ違反者ニ對シ其ノ善意ニ負ヒタル正當ノ費用ノ賠償(裁判所ガ自由裁量ニテ之ヲ命ズル場合)ヲナサザレバ絕對禁止命令ヲ發スベカラズ

事故又ハ疎漏ニ依リ告知ノ懈怠

外國ニ於テ英語ニテ發行セ

第二十一節 外國ニ於テ初メテ發行セラレタル英語ノ書籍ニ關シテハ外國ニ於ケル發行後六十日以内ニ外國版ノ完全ナル印本一部ニ著作權留保申請書及著作權者ノ氏名及國籍並ニ該書籍ノ發行年月日ノ明細書ヲ添附シテ著



ラレタル  
書籍

作權局ニ納本スル場合ハ右著作若ハ著作權者ニ對シ假著作權ヲ保障ス假著作權ハ本條例ニ依リ著作權ニ附與セラ  
ルル一切ノ效力及效果ヲ有シ且又著作權局ニ納本後四月間存續ス

全期間迄  
ノ延長

第二十二節 右假保護期間内ニ右書籍ノ認可版ガ本條例第十五節ニ特記セル製作ニ關スル規定ニ從ヒ合衆國內ニ於テ  
發行セラルル場合並ニ印本ノ納本、登録、宣誓書ノ提出ニ關スル本條例ノ規定及著作權告知ノ印刷ガ正式ニ履行セ  
ラレタル場合ハ何時ニテモ右書籍ノ著作權ハ之ヲ延長シ本條例ニ於テ別ニ定ムル全期間中存續スベシ

著作權保  
護期間

第二十三節 本條例ニ依リ保障セラルル著作權ハ有著作權著作物ニ著作者ノ實名ヲ掲ゲタルト若ハ無名又ハ變名ニテ  
出版シタルトヲ問ハズ第一發行ノトキヨリ二十八年間存續ス然レドモ著作者ノ所有者ガ當初ヨリ著作權ヲ取得セル  
遺著作物若ハ定期刊行物、百科全書其ノ他ノ編輯著作物ノ場合若ハ法人（單獨ノ著作者ノ譲受人若ハ被許諾人ノ資  
格ニアラズ）又ハ雇傭契約ニ依リ著作物ヲ著作セシメタル雇傭者ガ著作權ヲ有スル著作物ノ場合ハ該著作權者ハ更  
新及延長ニ關スル申請ヲ著作權本來ノ期間ノ消滅前一年以内ニ著作權局ニ行ヒ且同所ニ於テ正式ニ登録ヲ受ケタル  
トキハ右著作物ノ著作權ヲ更ニ二十八年間更新及延長スルノ權利ヲ有ス又其ノ他ノ著作物（定期刊行物若ハ百科全  
書其ノ他ノ編輯著作物ニ對スル各個ノ著作者ノ寄稿ニシテ個々ニ登録ヲ受ケタルモノヲ含ム）ノ場合ハ右著作物ノ  
著作者ノ生存中ハ著作者ニ於テ若ハ著作者が生存セザルトキハ著作者ノ寡婦、姪夫若ハ子ニ於テ又ハ著作者、寡婦、  
姪夫若ハ子ガ生存セザルトキハ著作者ノ遺言執行人ニ於テ又ハ遺言ナキトキハ著作者ノ最近親ニ於テ更新及延長ニ  
關スル申請ヲ著作權本來ノ期間ノ消滅前一年以内ニ著作權局ニ行ヒ且同所ニ於テ正式ニ登録ヲ受ケタルトキハ右著  
作物ノ著作權ヲ更ニ二十八年間更新及延長スルノ權利ヲ附與ス然レドモ更新及延長ノ申請ノ登録ナキトキハ著作物  
ノ著作權ハ第一發行ノトキヨリ二十八年間ヲ以テ消滅ス

存續著作  
權ノ延長

第二十四節 本法實施ノ際著作物ニ存續スル著作權ハ現行法ノ規定セル期間ノ滿了ノ際該著作物ノ著作者ノ生存中ハ  
著作者ニ依リ若ハ著作者ガ生存セザルトキハ著作者ノ寡婦、姪夫若ハ子ニ依リ又ハ著作者、寡婦、姪夫若ハ子ナキ  
トキハ著作者ノ遺言執行人ニ依リ又ハ遺言ナキトキハ著作者ノ最近親ニ依リ全期間ガ本條例ニ依リ保障セラルル期  
間ニ相當スル期間（更新期間ヲ含ム）更ニ之ヲ更新及延長スルコトヲ得然レドモ著作物ガ編輯者物ニシテ其ノ所有  
者ガ當初ヨリ著作權ヲ取得セル場合ハ右所有者ニ對シ本節ニ基キ認メラレタル更新及延長ノ特權ヲ附與ス但シ現行  
期間ノ滿了前一年以内ニ右更新及延長ニ關スル申請ヲ著作權局ニ行ヒ且同所ニ於テ正式ニ登録ヲ受ケタルコトヲ要ス  
第二十五節 何人ト雖合衆國ノ著作權法ニ基キ保護ヲ受クル一切ノ著作物ノ著作權ヲ侵害スル者ハ左ノ規定ニ服スベ  
シ

著作權ノ  
侵害

(a) 侵害ヲ制止スル禁止命令ニ服スルコト  
(b) 著作權者が侵害ニ依リ蒙リタル損害額並ニ侵害者ガ其ノ侵害ヨリ獲得シタル利得ノ一切（利得ヲ證明スルニハ  
原告ハ單ニ販賣ノ事實ヲ證明スルノ義務ノミヲ負ヒ被告ハ其ノ主張スル價格ノ構成分子一切ヲ證明スル義務ヲ  
有ス）若ハ實際ノ損害額及利得ノ代リニ裁判所ガ正當ト認ムル損害賠償額ヲ著作權者ニ支拂フコト該損害賠償  
額ヲ査定スルニ際シ裁判所ハ其ノ自由裁量ニ於テ以下ニ掲グル額ヲ認ムルコトヲ得但シ有著作權寫眞ノ新聞紙  
上ノ掲載ノ場合ハ其ノ損害賠償額ハ二百「ドル」以下五十「ドル」以上ナルコトヲ要シ又脚色セザル若ハ非演劇的  
著作物ノ活動寫眞ヲ以テセル侵害ノ場合ニ於テ侵害者ガ侵害シタルコトニ氣付カザリシコト且其ノ侵害ヲ當  
然豫知スルヲ得ザリシコトヲ示ストキハ其ノ損害賠償額ハ百「ドル」ヲ超ユルコトヲ得ズ又著作權ノ存スル演劇  
脚本若ハ樂譜入演劇脚本ノ活動寫眞製作者ニ依ル及上映者ニ活動寫眞ヲ配給スル其ノ代理店ニ依ル侵害ノ場合

ニ於テ侵害者ガ著作權ノ存スル著作物ヲ侵害シタルコトニ氣付カズ且其ノ侵害ヲ當然豫知スルヲ得ザリシコトヲ示ストキハ違法ノ製作者及違法ノ活動寫眞ヲ上映者ニ配給スル其ノ代理店ヨリ著作權者ノ取戻シ得ル損害賠償金額ハ五千「ドル」以下二百五十「ドル」以上ナルコトヲ要ス其ノ他ノ場合ハ損害賠償額ハ五千「ドル」以下二百五十「ドル」以上ナルコトヲ要シ且之ヲ以テ罰金ト看做スベカラズ但シ前記ノ例外ニ拘ラズ著作權者ハ本法ニ基キ與ヘラルル其ノ他ノ救済手段ニ訴フルコトヲ得且返還額ニ關スル制限ハ訴訟ニ於ケル令狀ノ送達其ノ他文書ニ依ル通告ヲ以テ被告ニ實際ノ告知ヲナシタル後ニ惹起セル侵害ニ對シテハ之ヲ適用セズ

第一 繪畫、彫像若ハ彫刻ノ場合ハ侵害者若ハ其ノ代理人又ハ使用人ノ製作者若ハ販賣シタル又ハ其ノ占有ヲ發見セラレタル違法複製物ノ各個ニ付十「ドル」トス

第二 繪畫、彫像若ハ彫刻ヲ除キ本條例第五節ニ列舉セル著作物ノ場合ハ侵害者若ハ其ノ代理人又ハ使用人ノ製作者若ハ販賣シタル又ハ其ノ占有ヲ發見セラレタル違法複製物ノ各個ニ付二「ドル」トス

第三 講演、説教若ハ演説ノ場合ハ違法演述ノ各回ニ付五十「ドル」トス

第四 演劇脚本若ハ樂譜ノ場合ハ合唱譜又ハ管絃樂譜ノ場合ハ之ガ違法ノ上演若ハ演奏ニ付其ノ第一回ニ付テハ百「ドル」トシ其ノ後ハ每回五十「ドル」トス其ノ他ノ樂曲ノ場合ハ違法ノ演奏ニ付每回十「ドル」トス

(c) 著作權ノ侵害ト主張セララルル物件ノ一切ヲ訴訟ノ未決中沒收セラレンガ爲裁判所ノ定ムル制限及條件ニ從ヒ宣誓シテ引渡スコト

(d) 違法ノ複製物若ハ偽作用ノ装置竝ニ版、鑄型、紙型其ノ他違法複製物ノ製作ノ用ニ供スル器具ノ一切ヲ破毀セラレンガ爲裁判所ノ命ニ依リ宣誓シテ引渡スコト

(e) 音樂的著作權者ガ其ノ有著作權著作物ヲ音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル樂器ノ部分品ニ寫調シ若ハ寫調セシメタル場合右ノ有著作權著作物ノ複製ノ用ニ供セララルル機械的音樂發生器用ノ圓盤、蠟管、音帶若ハ圓盤ノ如キ取換ヘ得ベキ部分品ノ許諾ナキ製造、使用若ハ販賣ニ依リ著作權ガ侵害セラレタルトキハ如何ナル場合ト雖一切ノ刑事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ズ但シ民事訴訟ニ於テハ裁判所ノ課スル條件ニ基キ禁止命令ヲ發スルコトヲ認ム又原告ハ利得及損害額ニ代ヘテ本條例第一節(e)號ニ定ムル使用料ヲ受クルコトヲ得然レドモ何人ト雖許諾ニ關スル協定存セザル場合ニ於テ本條例ノ強制許諾規定ニ基キ音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル器具ノ部分品ニ著作權ノ存スル樂曲ヲ寫調セント意圖スル場合ハ何時ニテモ著作權局ノ記録ニ存スル最後ノ住所ニ宛テ著作權者ニ對シ書留郵便ニテ右ノ意圖ノ告知ヲ送達スルヲ要シ且又著作權局ニ對シ右告知ノ寫シ一通ヲ送付スベシ此ノ義務ヲ怠リタル場合ハ裁判所ハ其ノ自由裁量ニ依リ上ニ陳ブル額ニ加ヘテ更ニ第一節(e)號ニ定ムル額ノ三倍ヲ超エザル額ヲ損害賠償トシテ(罰金トセズシテ)告訴人ニ對シ裁定シ且又裁定額ノ全部ガ支拂ハルル迄假禁止命令ヲ發スルコトヲ得

本節ニ基テ實施及訴訟手續ニ關スル規則及規定ハ合衆國最高法院之ヲ定ム

第二十六節 本條例第三十四節ニ基キ管轄權ヲ附與セラレタル裁判所ハ本條例ニ定ムル救済手段ヲ強制スル判決若ハ命令ヲ下サンガ爲本條例ノ規定ニ對スル違反ニ對シ提起セラレタル訴訟、告訴若ハ訴訟手續ニ參加スルコトヲ得

第二十七節 禁止命令、損害賠償及利得返還竝ニ上ニ掲グル偽作ノ複製物、版、鑄型、紙型其ノ他ノ差押ニ關スル訴訟手續ハ之ヲ一ノ訴訟ニ統合スルコトヲ得

第二十八節 何人ト雖本條例ニ依リ保障セララルル著作權ヲ利得ヲ目的トシテ故意ニ侵害シ若ハ情ヲ知リテ故意ニ侵害

救済手段  
強制ノ判

故意ノ侵  
害ニ對ス  
ル刑罰

ヲ補助若ハ教唆スル者ハ輕罪ヲ犯シタルモノト看做シ之ガ確認ニ基キ裁判所ノ自由裁量ニ依リ一年ヲ超エザル禁錮若ハ百「ドル」以上千「ドル」以下ノ罰金ニ處シ又ハ之ヲ併科ス然レドモ本條例ニ於テハ如何ナル規定ト雖公立圖書館、公立學校、教會合唱團、學校合唱團若ハ聲樂會ヨリ賃借、借用若ハ取得シタル「オラトリオ」、「カンタータ」、彌撒音樂若ハ八折判合唱曲ノ如キ宗教的若ハ非宗教的著作物ノ公立學校、教會合唱團若ハ聲樂會ニ依ル演奏ヲ妨グルモノト解スベカラズ但シ右ノ演奏ハ慈善的若ハ教育的目的ヲ以テ行ハルルコトヲ要シ利得ヲ目的トスベカラズ

著作權  
所有權  
告知  
其他

第二十九節 何人ト雖本條例ノ要求スル著作權告知若ハ同主旨ノ言葉ヲ詐欺ノ意圖ヲ以テ無著作權物件ニ挿入若ハ押捺シ又ハ正當ニ著作權ヲ附與セラレタル物件上ノ著作權告知ヲ詐欺ノ意圖ヲ以テ除去若ハ變更スル者ハ輕罪ヲ犯シタルモノトシ百「ドル」以上千「ドル」以下ノ罰金ニ處ス何人ト雖本邦ニ於テ著作權ヲ附與セラレザリシニモ拘ラズ合衆國著作權ノ告知ヲ掲グル物件ヲ情ヲ知リテ發行若ハ販賣シ又ハ本邦ニ於テ著作權ヲ附與セラレザリシニモ拘ラズ右ノ告知若ハ同主旨ノ言葉ヲ掲グル物件ヲ情ヲ知リテ輸入スル者ハ百「ドル」ノ罰金ニ處ス

第三十節 合衆國ニ於テ著作權ノ存セザル場合ニシテ著作權所有ノ偽告知ヲ掲グル一切ノ物件若ハ合衆國ニ於テ著作權ヲ附與セラレタル著作物ノ一切ノ偽複製物ノ合衆國內輸入ハ之ヲ禁ズ

書籍ノ輸入禁止

第三十一節 一切ノ書籍ニ「アメリカ」著作權ノ存スル間ハ該書籍ノ一切ノ偽作印本若ハ本條例第十五節ニ特記セル製作ニ關スル規定ニ從ヒテ製作セラレザリシ一切ノ印本(著作若ハ所有者ノ許可ヲ得タル場合ト雖)若ハ本條例第十五節ノ規定ニ從ヒ合衆國ノ境界内ニ於テ組マレタル活字ヨリ製作セラレザル一切ノ版又ハ合衆國ノ境界内ニ於テ行ハレザル石版術的若ハ寫眞製版術的方法ニ依リ製作セラレタル一切ノ複製物ノ合衆國內輸入ハ本條例ニ依リ之ヲ禁

止ス然レドモ偽作印本ヲ除キ右ノ禁止ハ左ノモノニ之ヲ適用セズ

- (a) 盲人用ノ點字著作物
- (b) 外國ノ新聞紙若ハ雜誌(合衆國ニ於テ著作權ヲ附與セラレタル著作物ヲ登載スル場合ト雖著作權者ノ許可ヲ得テ印刷若ハ再印刷シタル場合)但シ該新聞紙若ハ雜誌ガ許可ナクシテ印刷若ハ翻刻セラレタル著作權著作物ヲ登載スル場合ハ此ノ限ニアラス
- (c) 唯一ノ英語譯ガ本邦ニ於テ著作權ヲ附與セラレタル一若ハ數外國語ノ書籍ノ認可版
- (d) 著作權者若ハ著作權者ノ許可ヲ受ケテ外國ニ於テ發行セラレタル一切ノ書籍但シ左ノ四號ノ一二掲グル事情ノ下ニ輸入セラレタル場合
  - 第一 一時ニ印本一冊以下ニシテ自己ノ用ニ供シ販賣ヲ目的トセズシテ輸入セラレタル場合但シ其ノ輸入特權ハ合衆國ニ於テ著作權ヲ附與セラレタル「アメリカ」人ノ書籍ノ外國ニ於ケル翻刻物ニハ之ヲ及ボサズ
  - 第二 合衆國ノ許可ヲ受ケ若ハ合衆國ノ用ニ供スル爲輸入セラレタル場合
  - 第三 送狀一通ニ付右書籍ノ印本一冊以下ニシテ使用ヲ目的トシ販賣ヲ目的トセズシテ教育、文學、哲學、學術若ハ宗教上ノ目的ヲ有スル又ハ美術獎勵ヲ目的トスル法人組織ノ協會若ハ團體ニ依リ又ハ其ノ爲ニ若ハ合衆國ニ於ケル高等學校、專門學校、尋常學校若ハ師範學校ニ依リ若ハ其ノ爲ニ又ハ州立圖書館、尋常學校、高等學校、大學ノ各附屬圖書館若ハ公立無料圖書館ニ依リ若ハ其ノ爲ニ善意ヲ以テ輸入セラレタル場合
  - 第四 右書籍ガ前號ニ掲グル協會、團體若ハ圖書館ノ用ニ供スル爲一括シテ購求セラレタル叢書若ハ蒐集物ノ一部ヲ構成スル場合又ハ外國ヨリ來レル人若ハ家族ニ屬シ且販賣ヲ目的トセザル藏書若ハ個人的荷物ノ一部

然レドモ右ノ如クニシテ輸入セラレタル印本ハ如何ナル場合ト雖「アメリカ」著作権ノ所有者ノ權利ヲ侵害シ若ハ本  
條例ニ依リ保障セラレル著作権保護ヲ無効ニシ又ハ制限スル目的ヲ以テ之ヲ適法ニ利用スルコトヲ得ズ其ノ適法ノ  
利用ハ著作權侵害ト看做ス

違法ニ輸入シタル  
印本ノ差

第三十二節 本條例ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタルニモ拘ラズ外國ヨリ合衆國內ニ輸入セラレタル（郵便ニ依ル場合ヲ  
除ク）悉皆ノ物品ハ關稅法ニ違反シテ合衆國內ニ輸入セラレタル貨物ノ差押及沒收ニ關スル法律ノ定ムルコト  
同様ノ手續ニ依リ之ヲ差押ヘ且沒收スベシ右ノ物品ヲ沒收シタルトキハ財務長官若ハ臨機ニ裁判所ノ命ズル方法ニ  
從ヒ之ヲ破毀スベシ然レドモ本條例ノ規定ニ違反シテ郵便其ノ他ノ方法ニ依リ輸入セラレタル著作權ノ存スル書籍  
ノ許可版ノ一切ノ印本ハ文書ヲ以テスル申請ニ依リ右ノ輸入ガ故意ノ疎漏若ハ詐欺ヲ含マザルコトヲ財務長官ニ認  
メシメタル場合ハ何時ニテモ之ヲ輸出シ輸出ニ返還スルコトヲ得

財務長官及逓信長官  
官ノ違法及逓信長官  
規則制定

第三十三節 本條例ニ基キ財務長官及逓信長官ハ本條例ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル物品ノ郵便ニ依ル合衆國內輸入  
ヲ防止スル合併規則及規定ヲ作成及實施スル權能及義務ヲ有シ又本條例ニ依リ輸入ヲ禁止セラレ且著作權者若ハ被  
害者ノ權利ヲ侵害セル物品ノ實際ノ輸入若ハ輸入ノ企圖ノ告知ヲ臨機ニ財務省若ハ逓信省ニ提出スベキコトヲ該著  
作權者若ハ被害者ニ請求スルコトヲ得

著作權ニ  
關スル事  
件ニ於ケ  
ル裁判所  
ノ管轄權  
限

第三十四節 合衆國著作權法ニ基キ行ハルル一切ノ訴訟、訴追若ハ訴訟手續ハ是初ニ合衆國巡回裁判所、各屬領ノ地  
方裁判所、「コロンビア」州ノ最高法院、「アラスカ」、「ハワイ」及「ポルト・リコ」ノ地方裁判所並ニ「フィリッピン」  
群島ノ第一審裁判所ノ管轄ニ屬ス

訴訟ヲ開  
始スル地  
方

第三十五節 本條例ニ基キ行ハルル民事ノ訴訟、訴追若ハ訴訟手續ハ被告若ハ其ノ代理人ノ居住スル又ハ發見セラレ  
ベキ地方ニ於テ之ヲ開始スルコトヲ得

第三十六節 被害者ノ提出シタル衡平法ニ依ル訴狀ニ基キ右ノ裁判所若ハ其ノ裁判官ハ著作權法ニ依リ保障セラレタ  
ル權利ノ侵害ヲ防止及制限スル爲衡平法裁判所ノ手續及原則ニ依リ該裁判所若ハ裁判官ガ正當ト認ムベキ條件ヲ以  
テ禁止命令ヲ許與スル權能ヲ有ス本條例ニ依リ禁止セラレタル事項ノ遂行ヲ制限及禁止スル爲許與セラレベキ禁止  
命令ハ禁止命令ヲ受クベキ當事者ニ對シ合衆國內ノ何處ニ於テモ之ヲ執行スベキモノトス又該禁止命令ハ合衆國全  
土ニ於テ效力ヲ有シ尙又抗拒ニ關スル訴訟手續其ノ他ニ於テ被告ノ管轄權限ヲ有スル其ノ他ノ裁判所若ハ裁判官之  
ヲ實施スルコトヲ得

一件書類  
ノ認證

第三十七節 禁止命令ヲ許與セル裁判所ノ書記若ハ裁判官ハ該禁止命令ノ實施ニ關スル申請ヲ受理セル裁判所ノ請求  
ヲ受ケタルトキハ其ノ事務所ニ一括シタル該訴訟事件關係書類一切ノ認證原本ヲ遲滞ナク該裁判所ニ移送スベシ

判決其ノ  
他ハ上告  
又ハ錯誤  
令狀ニ基  
キ複審ス  
ルコトヲ  
得

第三十八節 本條例第三十四節ニ列舉セル裁判所ガ合衆國著作權法ニ基キ下シタル命令、判決若ハ決定ハ上告若ハ錯  
誤令狀ニ基キ該裁判所ニ於テ決定セル訴訟事件ノ覆審ニ付現在法律ノ定ムル方法及限度ニ於テ之ヲ覆審スルコトヲ  
得

刑事訴訟  
ハ三年ヲ  
經タル後  
ハ受理セ  
ズ

第三十九節 刑事訴訟ハ訴訟原因ノ發生後三年以内ニ訴訟ガ開始セラレザル限り本條例ノ規定ニ基キ之ヲ受理スルヲ  
得ザルモノトス

第四十節 本條例ニ基ク一切ノ訴訟、訴追若ハ訴訟手續ニ於テハ合衆國若ハ合衆國官吏ニ依リ又ハ之ニ對シ開始セラ  
レタル場合ヲ除キ全費用ハ之ヲ給シ又裁判所ハ勝訴者ニ對シ費用ノ一部トシテ相當ノ辯護士料ヲ給スルコトヲ得

著作權ノ所有權トノ區別

第四十一節 著作權ハ著作權ノ存スル有體物ニ於ケル所有權トハ異ルモノトス販賣若ハ贈與其ノ他ニ依ル該有體物ノ移轉ハ其レ自體トシテ著作權ノ移轉ヲ構成セズ且又著作權ノ讓渡ハ該有體物ノ請求權ノ移轉ヲ構成セズ但シ本條例ノ規定ヲ以テ適法ニ所有權ヲ取得シタル有著作權著作物ノ複製物ノ移轉ヲ禁止、防止若ハ制限スルモノト看做スベカラズ

第四十二節 本條例若ハ既往ノ合衆國諸條例ニ依リ保障セラレタル著作權ハ著作權者ノ署名ヲ有スル書面證書ヲ以テ之ヲ讓渡、移轉シ若ハ抵當ニ入レ又ハ遺言ニ依リ遺贈スルコトヲ得

外國ニ於テ行ハレタル讓渡ハ認知セラルベキコト

第四十三節 外國ニ於テ行ハレタル一切ノ著作權讓渡ハ法律ニ依リ宣誓ノ執行若ハ公證行爲ノ遂行ヲ許可セラレタル合衆國ノ領事若ハ公使館書記官ノ面前ニ於テ讓渡人之ヲ認知スベシ該領事若ハ公使館書記官ノ署名及公印スル認知ノ證明書ハ證書執行ノ一見シテ十分ナル證據タルベシ

讓渡ハ登ベキコト

第四十四節 一切ノ著作權讓渡ハ合衆國內ニ於ケル場合ハ其ノ實施後三曆月内ニ若ハ合衆國ノ境界外ニ於ケル場合ハ其ノ實施後六曆月内ニ之ヲ著作權局ニ登録スベシ然ラザレバ其ノ後其ノ告知ヲ受ケズシテ對價ト引換ヘタル收得者若ハ抵當權者ニシテ之ガ讓渡ヲ正式ニ登録シタル者ニ對シテ其ノ效力ヲ失フモノトス

著作權ノ讓渡登錄

第四十五節 著作權登錄係ハ規定ノ料金ノ納付ヲ受ケタルトキハ右ノ讓渡證書ヲ登録シタル後之ニ著作權局ノ印ヲ捺捺シタル登錄證明書ヲ添附シテ發送人ニ返送スベシ又何人ト雖同證明書ヲ請求スル者ニシテ本條例ニ定ムル料金ヲ納付シタルトキハ著作權登錄係ハ該印ヲ捺捺シタル之ガ認證本ヲ交付スベシ

第四十六節 特殊ノ書籍其ノ他ノ著作物ノ著作權ノ讓渡ガ登録セラレタル場合ニ讓受人ハ本條例ニ定ムル著作權ノ法定告知中ニ讓渡人ノ氏名ニ代リ自己ノ氏名ヲ掲グルコトヲ得

著作權記

第四十七節 法律ニ依リ保管ヲ要スル著作權ニ關スル一切ノ記録及其ノ他ノ物ハ「コロンビア」州國會附屬圖書館著作權局ニ保存及保管シ之ヲ著作權登錄係ノ管理下ニ置クモノトス同係ハ國會司書官ノ指揮及監督ニ服シ著作權登錄ニ關スル一切ノ義務ヲ遂行スベシ

著作權登錄係補

第四十八節 國會司書官ハ年俸四千「ドル」ニテ著作權登錄係一名ヲ任命シ又年俸三千「ドル」ニテ著作權登錄係補一名ヲ任命ス同係補ハ著作權登錄係ノ不在中ハ該局ノ下付スル一切ノ書類ニ著作權局ノ印ヲ捺捺シ且必要ナル證明書及其ノ他ノ書類ニ署名スルノ權限ヲ有スルモノトス尙又司書官ハ法律ノ之ヲ許可スルニ從ヒ登錄係屬ヲ任命ス

著作權登錄係ハ科金ヲ供託シ報告ヲナスコト

第四十九節 著作權登錄係ハ著作權免許料トシテ充當スル爲受領セル一切ノ金員ヲ財務長官ガ其ノ目的ヲ以テ國家資金受託所トシテ指定スル「コロンビア」州ノ銀行ニ毎日供託シ又本條例ニ基キ實際ニ充當シタル一切ノ著作權免許料ヲ財務長官ノ指示スル方法ニ從ヒ毎週財務長官ノ手許ニ委託シ尙又受領シタルモ著作權免許料トシテ充當スルヲ得ズ若ハ送金人ニ返還スルヲ得ザリシ金員ヲ毎年委託シ且又財務長官及國會司書官ニ對シ各曆月ニ充當シタル著作權免許料ノ報告書ニ受領シタル一切ノ送金高、手許保有資金、返還セル金員及充當セザル殘高ノ一覽表ヲ添附シテ毎月提出スベシ

著作權登錄係ノ保證

第五十節 著作權係ハ其ノ義務ノ忠實ナル履行ニ關シ財務省法務官ノ認可スベキ形式ニ依リ且財務長官ヲ満足セシムベキ擔保ヲ添ヘ合衆國ニ對シ二萬「ドル」ノ保證ヲ與フベシ

著作權登錄係ノ年報

第五十一節 著作權係ハ前會計年度中ニ本條例ノ規定ニ基キ著作權局ニ納付アリタル著作物ノ數量及種類ヲ記載シタル同會計年度ニ於ケル著作權事務一切ノ年報ヲ國會司書官ニ對シ作成スベシ該年報ハ國會附屬圖書館ニ關スル年報中ニ印刷スルモノトス

著作權局ノ印

第五十二節 千八百七十年七月八日ノ條例ニ依リ規定セラレ且現在著作權局ニ於テ使用セラルル印ハ引續キ同局ノ印

著作權登錄規則

トス認證ヲ要スル著作權局下付ノ一切ノ書類ハ之ニ依リ認證スルモノトス  
第五十三節 著作權係ハ本條例ニ定ムル著作權請求ノ登錄ニ關スル規則及規定ヲ作成スルコトヲ得但シ國會司書官ノ認可ヲ得タルコトヲ要ス

登錄簿

第五十四節 著作權係ハ本條例ノ規定ノ實施ニ必要ナル登錄簿ヲ著作權局ニ備附クベシ著作權係ハ本條例ノ規定ニ基キ著作物ノ複製物ガ著作權局ニ納付セラレタルトキハ何時ニテモ之ヲ登錄スベシ  
第五十五節 著作權請求人トシテ登錄セラレタル者ハ登錄ノ各場合ニ於テ著作權局ノ印ヲ押捺シタル登錄證明書ヲ受

登錄證明書

タル權利ヲ有ス證明書ニハ請求人ノ氏名及住所、著作物ノ著作者ガ人民若ハ臣民トシテ屬スル國ノ國名又登錄ノ際合衆國ニ居住セル外國著作者ノ場合ハ其ノ住居ノ場所並ニ其ノ事實ノ申立、著作者ノ氏名(著作權局ノ記錄ニ存スル場合)、著作權ヲ請求スル著作物ニシテ登錄ヲ受ケタルモノノ題號、該著作物ノ複製物ノ納付年月日、著作物ガ販賣ヲ目的トシテ複製物ニ複製セラレ若ハ著作物ガ公ニ頒布セラレタル場合ハ其ノ發行年月日尙又種類表示及登錄番號ニ關スル記號ニシテ登錄ヲ十分ニ確認スベキモノヲ掲グルモノトス書籍ノ場合ニ於テハ右證明書ニハ本條例第十節ニ定ムル宣誓書ノ受領ノ事實及該宣誓書ニ明記セル印刷完了ノ年月日若ハ書籍發行ノ年月日ヲ明記スベシ著作權登錄係ハ本條例實施以後ニ行ハレタル一切ノ登錄ノ場合及其以前ノ一切ノ登錄ノ場合(著作權局登錄簿ガ右ノ事實ヲ表示スル限リニ於テ)ニ付右ニ掲グル規定ノ通り各場合ニ於テ記入スベキ該證明書ノ印刷書式ヲ作成スベシ右證明書ハ規定ノ料金ノ納付アリタルトキハ何人ト雖同證明書ノ下付申請ヲナス者ニ對シ著作權局ノ印ヲ押捺シテ交付スベシ該證明書ハ一切ノ裁判所ニ於テ同書中ニ申立テタル事實ノ一見シテ十分ナル證據トシテ認容スベシ右證

著作權登錄索引

明書ニ加ヘテ著作權登錄係ハ請求アリタルトキハ登錄ノ完成ヲ目的トシテ納付セラレタル著作物ノ複製物ニ對スル受取證ヲ追加料金ヲ要セスシテ交付スベシ

第五十六節 著作權登錄係ハ著作權ノ一切ノ登錄及讓渡ヲ一覽表ニ網羅シ著作權取得ノ爲納付シ登錄ヲ受ケタル物品ノ題號ノ目錄ニ適當ナル索引ヲ附シテ定期ニ印刷シ各種ノ著作權登錄ニ付索引附ノ完全ナル目錄ヲ一定期間ニ印刷スベシ著作權係ハ其ノ後適當ト認メタルトキハ右印刷物中ニ掲グル題號ヲ記載シ且右期間中ニ行ハレタル登錄ヲ表示スル「カード」式目錄ノ原稿ヲ破棄スルコトヲ得本節ニ定ムル現行著作權登錄目錄及索引部ハ一切ノ裁判所ニ於テ著作權登錄ニ關シ同書ニ掲ゲタル事實ノ一見シテ十分ナル證據トシテ之ヲ認容スルモノトス

著作權登錄目錄の配布

第五十七節 該現行目錄ノ印刷物ハ發行後直チニ著作權局ヨリ財務長官及逓信長官ノ作成ニ係ル改正關稅徵收官及郵便局長名簿ニ依リ合衆國關稅徵收官及外國郵便物取扱局長ニ對シ之ヲ配布スベシ又右目錄ハ其ノ全部若ハ一部ヲ著作權登錄一箇年總目錄ニ付「ドル」ヲ超エザル範圍ニ於テ著作權登錄係ガ目錄一部毎ニ決定スベキ價格ヲ以テ其ノ一切ノ請求者ニ對シ亦之ヲ交付スベシ目錄及索引合本モ正當ト判定シ得ル價格ヲ以テ其ノ一切ノ註文者ニ對シ提供スベシ又目錄ノ一切ノ豫約申込ハ該發行物ヲ發送スベキ公文書管理官ニ於テ之ヲ受クルモノトス右ノ如クシテ受領シタル金員ハ合衆國財務省ニ之ヲ納付シ且其ノ時ニ於テ實施セル法律及財務省令ニ基キ計理サルベキモノトス

登錄簿ノ公開

第五十八節 著作權局ノ登錄簿並ニ登錄簿ノ索引及著作權局ニ納付シ保管ヲ受クル一切ノ著作物ハ之ヲ公衆ノ閱覽ニ供スベシ又右登錄簿中ニ現在行ハレタル著作權登錄ニ付其ノ寫シヲ取ルコトヲ得但シ著作權係之ヲ定メ國會司書官之ヲ認容スベキ保護條件及規定ニ從フコトヲ要ス

著作權納付物ノ處分

第五十九節 合衆國諸著作權法若ハ本條例ノ規定ニ基キ著作權局ニ納付アリタル物品ニ付國會司書官ハ國會附屬圖書

館（法律圖書館ヲ含ム）ノ永久保存蒐集物中ニ移スベキ書籍其ノ他ノ物品ノ種類ヲ定メ又其ノ他販賣若ハ交換ヲ目的トシテ國會附屬圖書館ノ豫備蒐集物中ニ置キ若ハ「コロンビア」州ノ其ノ他ノ官立圖書館ニ移スベキ書籍若ハ物品ノ種類ヲ定ムベシ

第六十節 右ニ定ムル處分ヲ受ケザル一切ノ物品並ニ之ニ關スル一切ノ證書及信書ニ付テ國會司書官及著作權登錄係ハ共同シテ若干年間に受取リタル物品ノ中著作權局ノ永久保存書類中ニ保存ノ希望アル若ハ保存ノ利益ヲ認ムル物品ヲ適當ノ期間ニ決定スルヲ要シ又以下ニ定ムル正式ノ告知ヲ爲シタル後ハ其ノ自由裁量ノ範圍内ニ於テ殘餘ノ物品及其ノ他ノ物ヲ破毀スルコトヲ得然レドモ二月ヨリ十一月末日ニ互ル著作權登錄ノ目錄中ニ右物品ノ受領年表及著作權者、著作權者若ハ適法ノ申請者ニ對シ其ノ年ノ十二月末日以前ニ其ノ著作物ノ中一定年間に納付シ若ハ著作權取得ノ目的ヲ以テ登錄ヲ受ケ且本條例ニ定ムル保存若ハ處分ヲ受ケザル著作物ニ關スルモノニシテ氣附キタルモノハ總テ之ヲ請求シ撤回スルコトヲ許容スベキ通告ヲ印刷スベキモノトス然レドモ尙又未發行著作物ノ一切ノ原稿ハ登錄ヲ受ケタル著作權者ニ之ヲ請求シ撤回スルコトヲ許容スル特別通告ヲ該著作權者ニ對シ行ハザル場合ハ右著作物ノ著作權期間中ハ之ヲ破毀スルコトヲ得ズ

第六十一節 著作權登錄係ハ以下ノ料金を受納スベシ又指定ノ勞務ヲ供セラレタル者ハ之ヲ納付スベシ即チ著作權ヲ享有スベキ著作物ニシテ本條例ノ規定ニ基キ納付セラレタルモノノ登錄ニ付テハ「ドル」但シ本金額ハ捺印登錄證明書ヲ含ムベキモノトス然レドモ第十一節ノ規定ニ基キ登錄ヲ受ケタル未發行著作物ノ場合ハ登錄料ハ證明書ヲ含ミ「ドル」トス又公ニシタル寫眞ノ場合ハ證明書ノ希望ナキトキハ料金は「ドル」トス既ニ爲サレタル登錄ノ特別證明書ハ總テ「ドル」トス著作權讓渡ヲ目的トスル書面證書若ハ第一節(e)號ニ特記セル許可證ノ登錄及證明又ハ正

手数料

式ニ認證ヲ受ケタル右讓渡若ハ許可ノ謄本ニ付テハ著作權局登錄簿一頁ニ付若ハ半頁ヲ超ユル其ノ添加部分ニ付二「ドル」トス第一節(e)號ニ特記セル繼續的使用若ハ默許ノ通告ノ登錄ニ付テハ題號五箇以下ノ通告ニ付各一「ドル」トス讓渡謄本ヲ著作權局ニ存スル同書類ノ記錄ト對照シ且同謄本ニ捺印シテ證明ヲ與フル場合ニ付テハ「ドル」トス第二十三節及第二十四節ニ定ムル著作權更新ノ登錄ニ付テハ「ドル」トス有著作權物品ノ所有權ノ移轉ノ登錄ニ付テハ讓渡證書ノ登錄ニ付規定セラレタル料金は加ヘテ書籍其ノ他ノ物品ノ各題號ニ付十「セント」トス著作權局ノ記錄、索引若ハ納付物ノ申請ニ基ク調査ニ付テハ該調査ヲ爲スニ費シタル時間ノ一時間ニ付一「ドル」トス然レドモ同時ニ同一書籍ヲ數冊納本シタル場合ハ一料金ニテ一登錄ヲ請求スルヲ以テ足ル

定義

第六十二節 本條例ノ說明及解釋上「發行ノ年月日」ナル語ハ複製物ガ販賣若ハ頒布ノ目的ヲ以テ複製セラレタル著作物ノ場合ニ於テハ第一許可版ノ複製物ガ著作權者ニ依リ若ハ著作權者ノ許可ニ依リ發賣、賣却セラレ又ハ公ニ頒布セラレタル最初ノ年月日ト解スベキモノトス又「著作權」ナル語ハ雇傭關係ニ於テ製作セラレタル著作物ノ場合ニ於テハ雇傭者ヲ含ムモノトス

廢止條項 第六十三節 本條例ノ規定ニ反スル一切ノ法律若ハ法律ノ一部ハ本條例ニ依リ之ヲ廢止ス但シ本條例ノ一切ノ規定ハ其レ以前ニ犯サレタル著作權侵害ニ對スル訴訟事件ニシテ現在合衆國ノ裁判所ニ於テ繫續中ノモノ若ハ本條例實施後ニ提起セラレ得ルモノヲ妨グズ尤モ右訴訟ハ本條例實施前ニ法律ニ依リ定メラレタル方法ニ依リ終結迄續行スルモノトス

第六十四節 本條例ハ千九百九年七月一日ニ之ヲ實施ス

○著作権ニ關スル法律ヲ改正統合スル條例

一九一一年  
二月一六日

第一編 帝國內著作權

權 利

著作權

第一節

(1) 著作權ハ本條例ノ規定ニ從ヒ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土全般ニ互リ以下ニ規定スル期間中左ニ掲グル場合ニ限リ一切ノ文學的、演劇的、音樂的及美術的原著作物ニ存スルモノトス

(a) 發行セラレタル著作物ニ關シテハ著作物ガ右ニ掲ゲタル王陛下ノ領土内ニ於テ初メテ發行セラレタル場合

(b) 未發行ノ著作物ニ關シテハ著作物ガ其ノ著作物ヲ著作セル際ニ「ブリテン」臣民タリシカ又ハ右ニ掲ゲタル王陛下ノ領土内ニ居住シタル場合

然レドモ本條例ニ依リ許與セララル保護ガ本條例ノ及バザル自治領土及外國ニ關シ本條例ニ從ヒ發布セララル勅令ニヨリ擴張セララル範圍ヲ除キ著作權ハ他ノ一切ノ著作物ニ存セザルモノトス

(2) 本條例ニ於テ「著作權」トハ著作物若ハ其ノ本質的部分ヲ形式ノ如何ヲ問ハズ有形ノ形式ヲ以テ製作若ハ複製シ著作物若ハ其ノ本質的部分ヲ公ニ興行シ又ハ著作物ガ講演ナル場合ニ於テハ公ニ陳述シ著作物ガ未ダ發行セラレザルトキハ著作物若ハ其ノ本質的部分ヲ發行スルノ專屬權ヲ意味ス而シテ左ノ專屬權ヲ包含スルモノトス

(a) 著作物ノ翻譯物ヲ製作、複製、興行若ハ發行スルコト

(b) 演劇脚本ニ關シテハ之ヲ小説若ハ其ノ他非演劇的著作物ニ改作スルコト

(c) 小説若ハ其ノ他非演劇的著作物又ハ美術的著作物ニ關シテハ公ニ興行其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ演劇脚本ニ改作スルコト

(d) 文學的、演劇的若ハ音樂的著作物ニ關シテハ之ヲ機械的ニ演奏若ハ陳述スルコトヲ得ル一切ノ「レコード」、穿孔圓筒、活動寫眞「フィルム」又ハ其ノ他ノ裝置ヲ製作スルコト

及右ニ列舉セル諸行爲ヲ許諾スルコト

(3) 本條例ニ於テ「發行」トハ一切ノ著作物ニ關シ公衆ニ印本ヲ出版シタルコトヲ意味シ演劇脚本若ハ音樂的著作物ノ公ニ興行、講演ノ公ニ陳述、美術的著作物ノ公ニ展覽又ハ美術的ナル建築著作物ノ建設ヲ包含セズ又本規定ニ於テハ彫刻著作物及美術的ナル建築著作物ノ寫眞及版畫ノ出版ハ右ノ如キ著作物ノ發行ト看做スベカラズ

著作權ノ侵害

第二節

(1) 何人ト雖著作權者ノ同意ヲ得ズシテ本條例ニ依リ著作權者ニ許與セラレタル專屬權ニ屬スル一切ノ行爲ヲナシタルモノハ其ノ著作物ニ存スル著作權ヲ侵害シタルモノト看做スベシ但シ左ノ行爲ハ著作權ノ侵害ヲ構成セズ

- (i) 私的研究、調査、論文、評論若ハ新聞紙上ニ於ケル摘要ノ爲ニ一切ノ著作物ヲ正當ニ利用スルコト
- (ii) 美術的著作物ノ著作物ガ其ノ著作物ニ付著作權ヲ有セザル場合同人ガ該著作物ヲ利用シテ其ノ型、塑型、見取圖、圖面、模型若ハ習作ヲ製作スルコト但シ之ニ依リ該著作物ノ主要意匠ヲ模擬又ハ模倣スルコトヲ得ズ
- (iii) 彫刻的若ハ工藝美術的著作物ニシテ恒久的ニ廣場若ハ公ノ建物中ニ設置セラレアル場合ハ其ノ著作物ノ繪



畫、圖畫、版畫若ハ寫眞ヲ製作又ハ發行スルコト又ハ一切ノ美術的ナル建築著作物ノ繪畫、圖畫、版畫、若ハ寫眞(建築圖畫若ハ圖面ノ性質ヲ帶ビザル場合ヲ製作又ハ發行スルコト

(iv)

本來學校用ニ發行セラレタルモノニ非ザル文學的著作物ニシテ著作權ノ存スルモノヨリ拔萃シタル短章ヲ主トシテ無著作權著作物ヨリ成リ善意ヲ以テ學校用ヲ目的トシテ且其ノ題號及出版人ノ發行シタル一切ノ廣告ニ於テ其ノ旨ヲ表示シタル編輯著作物中ニ公ニスルコト但シ同一出版人ハ五年以内ニ同一著作物ヨリ第二章以上ヲ拔萃シテ公ニスルコトヲ得ズ又拔萃ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

(v)

公ニ陳述シタル講演ノ報道ヲ新聞紙上ニ公ニスルコト但シ講演ノ行ハレタル建物ノ主タル入口若ハ其ノ附近及講演者ノ附近ニ(建物ガ公開ノ儀式ノ用ニ供セラレツツアル場合ヲ除ク)前以テ及其ノ講演中貼附シタル手書若ハ印刷ノ注意書ニ依リ其ノ報道ガ禁止セラレタル場合ハ此ノ限ニアラズ然レドモ本號ノ規定ハ新聞紙上ニ掲グル要領ニ關スル第一號ノ規定ヲ何等妨グルコトナシ

(vi)

一切ノ發行セラレタル著作物ノ正當ノ範圍ニ於ケル拔萃ヲ公ニ朗讀若ハ暗誦スルコト

(2) 何人ト雖著作權ノ侵害タルコトヲ知リ又ハ左ニ掲グル販賣若ハ質貸、陳列、販賣若ハ質貸ヲ目的トスル提供、頒布、展覽若ハ輸入ノ行ハレタル王陛下ノ領土ニ於テ製作セラレタルトキハ著作權ノ侵害タルベキコトヲ知リテ一切ノ著作物ヲ

(a)

販賣シ若ハ料金をトトリテ貸與シ又ハ商賣トシテ販賣若ハ質貸ヲ爲シ陳列若ハ提供シ又ハ

(b)

商賣ノ爲若ハ著作權者ヲ侵害スル程度ニ於テ頒布シ又ハ

(c)

商賣トシテ公ニ展覽ニ供シ又ハ

(d) 販賣若ハ質貸ノ爲ニ本條例ノ及プ王陛下ノ領土ニ輸入スル者

モ亦著作權ヲ侵害スルモノト看做スベシ

(3) 何人ト雖個人的利益ヲ目的トシテ著作權者ノ同意ナクシテ其ノ著作物ノ興行ノ爲ニ劇場其ノ他ノ演藝場ヲ使用スルコトヲ許可スルモノモ亦著作權ヲ侵害スルモノト看做スベシ但シ右ノ興行ガ著作權ノ侵害ナルコトヲ意識セズ又ハ之ヲ推測スベキ正當ノ事由ナキ場合ハ此ノ限ニアラズ

著作權ノ期間

第三節 著作權ノ存續期間ハ本法ニ定ムル反對ノ明文ナキ限り著作權者ノ生存間及其ノ死後五十年間存續スベシ

然レドモ發行セラレタル著作物ノ著作權者ノ死後二十五年ヲ經過シタル後若シ本條例實施ノ際尙著作權ノ存續スル著作物ニ付テハ三十年ヲ經過シタル後ニ於テハ任意ノ時期ニ於テ該著作物ヲ複製スルモノ其ノ複製者ガ該著作物複製ノ意思ヲ文書ヲ以テスル規定ノ通知ヲ爲シタルコト及著作權者ニ對シ若ハ其ノ利益ノ爲ニ規定ノ方法ニ依リ其ノ販賣價格ノ十「パーセント」ノ率ニ依リ計算シテ其ノ販賣セル著作物ノ印本ニ付使用料ヲ支拂ヒタルコトヲ立證スルニ於テハ之ヲ侵害ト看做サザルベシ但書ノ爲商務省ハ通知ノ形式及之ニ要スル細目並ニ料金を支拂ノ形式、時期及度數ヲ規定スル規則及(必要ナル場合ニ於テハ)料金を前拂ヲ命ジ又ハ其ノ他料金を支拂ヲ保證スル規則ヲ作成スルコトヲ得

強制許諾

第四節 樞密院司法委員會ガ既ニ公ニ發行若ハ興行セラレタル文學的、演劇的若ハ音樂的著作物ノ著作權者ノ死後任意ノ時期ニ於テ該著作物ノ著作權者ガ新規ノ發行ヲ爲サズ若ハ新規ノ發行ヲ許サズ又ハ其ノ公演ヲ許サズ仍テ其ノ拒絕ニ依リ該著作物ガ公衆ニ與ヘラズトノ訴ヲ受ケタルトキハ樞密院司法委員會ハ權利者ニ對シ適當ト認ムル條項ニ基キ適當ト認ムル條件ニ從ヒ其ノ場合ニ應ジ該著作物ヲ公ニ發行又ハ興行スルノ許諾ヲ許與スベキコトヲ命ズル

第五節 (1) 著作物ノ著作人ハ本條例ノ規定スル所ニ從ヒ第一著作權者トス

然レドモ

コトヲ得

(a) 版畫、寫眞若ハ肖像畫ノ場合ニ於テ印板若ハ其ノ他ノ原板ガ他人ノ注文ヲ受ケ其ノ注文ニ依リ多額ノ報酬ヲ得テ製作シタモノナルトキハ反對ノ契約ナキ限り注文者ヲ以テ第一著作權トス又

(b) 著作權者ガ雇傭契約若ハ年季契約ニ基キ他人ノ使用人ナル場合ニ於テ此ノ者ニ依リ使用セラレアル期間中ニ其ノ著作物ガ製作セラレタルトキハ反對ノ契約ナキ限り著作權者ヲ使用スル者ヲ以テ第一著作權者トス然レドモ著作物ガ新聞紙、雜誌若ハ之ト類似ノ定期刊行物ニ對スル論說若ハ其ノ他ノ寄稿ナル場合ニ於テハ反對ノ契約ナキ限り著作人ハ新聞紙、雜誌若ハ其ノ他類似ノ定期刊行物ノ一部タル以外ノ方法ニ依リ其ノ著作物ヲ發行スルコトヲ制限スルノ權利ヲ留保セルモノト看做ス

(2) 一切ノ著作物ノ著作權者ハ一般的ニ若ハ聯合王國又ハ自治領地又ハ其ノ他本條例ノ及ブ王陛下ノ領土ニ局限シテ著作權ノ全存續期間若ハ一期間中其ノ權利ノ全部若ハ一部ヲ讓渡スルコトヲ得又著作權中ノ任意ノ權能ヲ許與スルコトヲ得但シ右ノ讓渡若ハ許與ハ讓渡若ハ許與ノ目的タル著作權ノ所有者若ハ其ノ正當ニ認メラレタル代理人ニ依リ署名セラレタル文書ヲ以テセザレバ之ヲ有效ト爲スベカラズ

然レドモ著作權者ガ第一著作權者ナル場合ニ於テハ本法實施後ニ著作權者ノ爲シタル(遺誌ニ依ル場合ヲ除ク)一切ノ著作權ノ讓渡若ハ著作權中ノ權能ノ許與ハ著作權者ノ死後二十五年以後ニ於テハ讓受人若ハ被許與人ニ對シ該著作物ノ著作權ニ關スル何等ノ權利ヲ附與スル效力ヲ生ゼズ右期間ノ終リニ於テ享有スベキ著作權ノ繼承權ハ著作權者ノ死ニ

於テ反對ノ契約ニ拘ラズ著作權者ノ財産ノ一部トシテ其ノ私的法定代理人ニ歸屬ス著作權者ガ右ノ繼承權ノ處分ニ付締結シタル一切ノ契約ハ無効トス但シ本但書ハ編輯物ニ關スル著作權ノ讓渡若ハ編輯物ノ一部トシテ著作物ノ全部若ハ一部ヲ發行スルコトノ許諾ニハ一切之ヲ適用セザルモノト解スベシ

(3) 讓受人ガ著作權ノ一部讓渡契約ニ依リ著作權ニ包含セララルル何等カノ權利ヲ得タル場合本條例ノ意義ニ於テハ讓渡セラレタル權利ニ關シテハ讓受人ヲ以テ著作權者トシ讓渡セザル權利ニ關シテハ讓渡人ヲ以テ著作權者トス本法ノ規定ハ右ニ應ジテ效力ヲ有スルモノトス

民事ノ救濟

第六節 (1) 著作權ヲ侵害セラレタル場合ニ於テハ著作權者ハ本條例ニ異リタル規定ナキ限りハ差止若ハ禁止命令、損害賠償、不當利得返還其ノ他著作權侵害ニ對シ法律ガ現ニ附與シ若ハ將來附與スベキ一切ノ救濟方法ヲ採ルコトヲ得

(2) 著作權侵害ニ對スル訴訟ニ關スル一切ノ當事者ノ訴訟費用ハ裁判所ノ絶對的自由裁量ニ依リ之ヲ定ム

(3) 著作權侵害訴訟ニ於テハ著作物ハ著作權ノ存スル著作物ト推定シ原告ハ其ノ著作權者ト推定ス但シ被告ガ著作權ノ存在ヲ争ヒ若ハ場合ニ應ジテ原告ノ資格ヲ争フ場合ハ此ノ限ニアラズ而シテ此ノ如キ問題ガ係争點ナル場合ニ於テハ

(a) 著作物ノ著作人ノ氏名ト稱スル氏名ガ著作物ニ通常ノ方法ニ依リ印刷又ハ揭示セラレアル場合ハ其ノ氏名ヲ印刷又ハ揭示シタルモノヲ以テ反對ノ證據ナキ限り著作物ノ著作權者ト推定ス

(b) 氏名ガ印刷又ハ揭示セラレザルカ若ハ印刷又ハ揭示セラレタル氏名ガ著作ノ實名若ハ通稱ニアラズシテ著作物ノ出版者若ハ所有者ノ氏名ト稱スル氏名ガ著作物ニ通常ノ方法ニ依リ印刷又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ揭示セラレアル場合ハ其ノ氏名ヲ著作物ニ印刷又ハ揭示シタルモノヲ以テ反對ノ證據ナキ限り著作權侵害ニ對スル訴訟ノ爲ニ著作權者ト看做ス

第七節 著作權ノ存スル著作物若ハ其ノ主要部分ノ偽作印本ノ一切竝ニ該偽作印本ノ製作ノ用ニ供シタル又ハ供セントシタル一切ノ印板ハ著作權者ノ所有物ト看做ス從テ著作權者ハ其ノ所有權ノ回復若ハ其ノ換算ニ對スル訴訟ヲ提起スルコトヲ得

偽作物ヲ  
所有スル  
者ニ對ス  
ル著作權  
者ノ權利  
善意ノ偽  
作者ニ對  
スル損害  
賠償支拂  
義務等ノ  
免除  
建築物ノ  
場合ニ於  
ケル救濟  
ノ制限

第八節 著作物ノ著作權ノ侵害ニ對シ訴訟ガ提起セラレ被告ガ侵害ノ際著作權ノ存在ヲ知ラザリシコトヲ主張シ抗辯スル場合ニ於テハ被告ニシテ侵害ノ際著作權ノ存在ヲ知ラズ且之ヲ推測スル正當ノ事由ナカリシコトヲ立證シタルトキハ原告ハ侵害ノ中止若ハ禁止命令以外ノ如何ナル救濟ヲモ受クル資格ナキモノトス

第九節 (1) 著作權ヲ侵害シ又ハ建築完成ノ際ニ於テ著作權ヲ侵害スベキ建築物若ハ其ノ他ノ建物ノ建築ガ開始セラレタル場合ニ於テハ著作權者ハ右ノ建築物若ハ建物ノ建築ヲ制限スル中止若ハ禁止命令ヲ獲得スルコトヲ得ズ又ハ其ノ破壊ヲ命ズルコトヲ得ズ

(2) 著作物ノ偽作印本ヲ以テ著作權者ノ所有物ト看做シ又ハ即決ノ刑罰ヲ科スルガ如キ本條例ニ於ケル其ノ他ノ規定ハ本節ノ適用ヲ受クル場合ニハ之ヲ適用セズ

時効

第十節 著作權侵害ニ對スル訴訟ハ著作權侵害ノ時ヨリ三年ヲ經過シタル後ニ於テハ之ヲ提起スルコトヲ得ズ

即 決 救 濟

偽作印本  
其ノ他ノ  
處分ニ對  
スル刑罰

第十一節 (1) 何人ト雖故意ニ

- (a) 販賣若ハ貸貸ヲ目的トシテ著作權ノ存スル著作物ノ偽作印本ヲ製作スルモノ
- (b) 右著作物ノ偽作印本ヲ販賣シ又ハ貸貸シ若ハ商賣トシテ販賣若ハ貸貸ノ爲ニ陳列又ハ提供スルモノ
- (c) 商賣ノ目的ヲ以テ若ハ著作權者ニ侵害ヲ加フル迄ニ右著作物ノ偽作印本ヲ頒布スルモノ
- (d) 右著作物ノ偽作印本ヲ商賣トシテ公ニ展覽ニ供スルモノ
- (e) 右著作物ノ偽作印本ヲ販賣若ハ貸貸ヲ目的トシテ聯合王國ニ輸入スルモノ

右ノモノハ本條例ニ規定セル罪ヲ犯シタルモノトシ本節ニ違反シテ處分シタル印本一部ニ付四十「シリング」以下ノ罰金ノ即時判決ニ服スベシ但シ同一事件ニ關シテハ五十「パウンド」ヲ超過スルコトヲ得ズ再犯若ハ其ノ後ノ犯罪ノ場合ニ於テハ右ノ罰金又ハ二月以下ノ苦役ヲ伴フ若ハ伴ハザル監禁ニ處ス

(2) 何人ト雖著作權ノ存スル著作物ノ偽作印本ノ製作ノ用ニ供スル印板ヲ故意ニ製作又ハ占有スルモノ又ハ故意ニ私益ノ爲ニ著作權者ノ同意ヲ得ズシテ該著作物ヲ公ニ興行セシメタルモノハ本條例ニ規定セル罪ヲ犯シタルモノトシテ五十「パウンド」以下ノ罰金ノ即時判決ニ服スベシ再犯若ハ其ノ後ノ犯罪ノ場合ニ於テハ右ノ罰金又ハ二月以下ノ苦役ヲ伴フ若ハ伴ハザル監禁ニ處ス

(3) 右ノ訴訟ノ提起セラレタル裁判所ハ推定犯罪者ガ有罪ヲ宣告セラレタルト否ト問ハズ推定犯罪者ノ占有スル該著作物ノ印本若ハ印板ニシテ裁判所ニ於テ偽作印本ト認メ若ハ偽作ノ用ニ供スル印板ト認ムル一切ノ印本若ハ印

板ヲ破毀シ又ハ著作權者ニ交付スベキコトヲ命ジ又ハ其ノ他適當ト認ムル處分ヲ命ズルコトヲ得

(4) 本節ノ規定ハ音樂的著作權ニ關シテハ千九百二年ノ音樂的(即決裁判)著作權條例若ハ千九百六年ノ音樂的著作權條例ノ規定ヲ何等妨グズ

四季治安  
裁判所ニ  
對スル控  
訴

第十二節 何人ト雖本條例ノ以上ノ規定ニ依リ受ケタル即決有罪宣告ニ不滿ノ者ハ「イングランド」及「アイルランド」ニ於テハ四季治安裁判所ニ控訴スルコトヲ得「スコットランド」ニ於テハ即決裁判(スコットランド)條例ニ從ヒ控訴スルコトヲ得

即決救濟  
ニ關スル  
規定ノ適  
用範圍

第十三節 即決救濟ニ關スル本條例ノ規定ハ聯合王國ニノミ適用ス

### 印本ノ輸入

印本ノ輸入

第十四節 (1) 聯合王國外ニ於テ製作セラレタル著作權ノ存スル著作物ノ印本ニシテ之ヲ聯合王國內ニ於テ製作シタルトキハ著作權侵害タルベキモノ且右ニ關シ著作權者ガ自ラ若ハ代理人ニ依リ書面ヲ以テ稅關及國產稅務局吏員ニ對シ右印本ノ聯合王國ヘ輸入スベカラザル希望ヲ有スル旨ヲ通告シタルモノハ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ又本節ノ規定内ニ於テ一八七六年ノ關稅強化條例第四十二節中ニ包含セララルル禁止及制限ノ表中ニ含マルモノト看做シ從ツテ右ノ節ヲ適用ス

(2) 稅關及國產稅務局吏員ハ關稅法ニ依リ右印本ノ差押ヲ爲シ又ハ右印本ノ沒收ヲ目的トシテ差押以上ノ手續ヲトル以前ニ報告、條件若ハ其ノ他ノ事項ニ關シ本節ニ基ク規則ニ從フベキコトヲ要求シ而シテ該規則ニ依リテ右印本ガ本節ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタルモノナルコトヲ確認スルコトヲ得

(3) 稅關及國產稅務局吏員ハ本節ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル印本ノ差押及沒收竝ニ必要アル場合ニ於テハ差押及沒收ニ先立テ履行スベキ條件ニ付一般的若ハ特別の規則ヲ定ムルコトヲ得而シテ該規則ヲ以テ報告、通告、保證ノ與ヘラルベキコトヲ定メ竝ニ本節ノ目的ニ必要ナル證據及證據ノ檢證方法ヲ決定スルコトヲ得

(4) 右規則ハ本節ニ依リ其ノ印本ノ輸入ヲ禁止セラレタル一切ノ著作物ノ印本ニ適用スルコトヲ得又ハ該著作物ノ各種ニ付異リタル規則ヲ設クルコトヲ得

(5) 右規則ニ於テ告發者ヲシテ稅關及國產稅務局吏員ニ對シ其ノ告發ニ基キ爲サレタル差押及其ノ他差押ニ由ル一切ノ手續ニ關シテ蒙リタル出費及損害ヲ償還セシムルコトヲ規定スルコトヲ得又本條例ニ依リ廢止セラレタル法規ニ依ル通告ハ本節ニ依リ爲シタル通告ト看做ス旨ヲ規定スルコトヲ得

(6) 本節ノ前記數項ノ規定ハ一八七六年ノ關稅強化法ノ一部ヲ構成セルト同様ノ效力ヲ有ス但シ「アイル・オブ・マン」ハ右條例ノ如何ニ拘ラズ本節ノ意義ニ於テハ聯合王國ノ一部ト看做サズ

(7) 本節ハ必要ナル改正ヲ加ヘテ本條例ノ及「ブリテン」領土内ニ「ブリテン」領土外ニ於テ製作セラレタル著作物ノ印本ヲ輸入スルコトニ對シ之ヲ適用ス

### 圖書館ニ對スル書籍ノ納付

第十五節 (1) 聯合王國ニ於テ發行セラレタル一切ノ書籍ノ出版者ハ發行後一月以内ニ該書籍ノ印本一部ヲ自己ノ費用ニ於テ大英博物館ノ保管係ニ納付スベシ保管係ハ之ニ對シ受取證ヲ交付スベシ

(2) 出版者ハ又發行後十二月ノ滿期以前ニ請求書ガ提出セラレタルトキハ請求書受領ノ日ヨリ一月以内ニ若ハ發行

大英博物  
館及其  
他ノ圖書  
館ヘノ印  
本ノ納付

前ニ請求書が提出セラレタルトキハ發行後一月以内ニ請求書中ニ指名サレタル「ロンドン」ニ於ケル或ル保管所ニ對シ該書籍ノ印本一部ヲ以下ニ掲グル各圖書館ノ監督當局ニ宛テ又ハ當局ノ指揮ニ從ヒテ納付スベシ該圖書館ハ即チ「オックスフォード」ノ「ボドレー」圖書館、「ケンブリッジ」大學圖書館、「エチンバラ」ノ辯護士會圖書館及「ダブリ」ノ「トリニチ」學院圖書館並ニ本節ノ規定ニ從ヒ「ウエイルズ」國立圖書館トス

發行セラルベキ著作物ノ全號若ハ全部ヲ包含スルコトヲ得

(3) 大英博物館ノ保管係ニ納付スル印本ハ一切ノ附屬地圖及圖解ヲ伴ヒタル完全ナル書籍ノ印本ニシテ該書ノ最良本ノ出版セラレタルト同一ノ方法ニ於テ仕上ケ及彩色ガ爲サレタル印本ナルコトヲ要シ且又束ネ、綴ヂ、製本スルコトヲ要シ又該書籍ノ印刷セラレタル最良質ノ紙ヲ以テスルコトヲ要ス

(4) 本節ニ掲グル其ノ他ノ當局ニ納付スル印本ハ販賣目的トシテ書籍ノ印本ノ最大部數ヲ印刷シタル用紙ヲ以テスルコトヲ要シ且又販賣用ニ整備セラレタル書籍ト同様ノ條件ヲ具備スルモノナルコトヲ要ス

(5) 「ウエイルズ」國立圖書館ニ印本ヲ納付スベキ書籍ハ商務局ノ定ムベキ規則ニ於テ特記セラルルコトヲ得ルガ如キ種類ノ書籍ヲ包含スルコトヲ得ズ

(6) 本節ニ從フコトヲ怠リタルトキハ出版者ハ即決ニ依リ書籍ノ價格ニ五「パウンド」ヲ加ヘタル額ヲ超エザル罰金ニ處ス右罰金ハ書籍ヲ納付スベカリシ保管係若ハ當局ニ支拂フコトヲ要ス

(7) 本節ニ於テ「書籍」ナル名稱ハ書籍ノ一切ノ部分若ハ區分、小冊子、印刷紙、樂譜紙、地圖、圖面、獨立ニ發行シタル略圖若ハ表ヲ包含ス但シ書籍ノ再版若ハ後續版ニ付テハ其ノ本文若ハ附屬ノ地圖、繪草紙若ハ其ノ他ノ版畫

ニ増補若ハ變更ヲ加ヘタル場合ニ非ザレバ之ヲ包含セズ

### 特殊著作物ニ關スル特別規定

#### 共同著作物

##### 第十六節

(1) 共同著作物ノ場合ニ於テハ著作權ハ第一ニ死亡シタル著作物ノ生存間及其ノ死後五十年間又ハ最後ニ死亡シタル著作物ノ生存間ノ兩期間ニ付孰レカ一層長キ期間存続ス本條例ニ於ケル著作物ノ死後特定ノ年數ヲ經過シタル後ノ時期ニ關シテハ第一ニ死亡シタル著作物ノ死後之ト同様ノ年數ヲ經過シタル後ノ時期若ハ最後ニ死亡シタル著作物ノ死後ノ後ノ時期ト解シ孰レカ一層短キ時期トス強制許諾ニ關スル本條例ノ規定ニ關シテハ最後ニ死亡シタル著作物ノ死亡ノ時ヲ以テ著作物ノ死亡ノ時ニ代フルモノトス

(2) 共同著作物ノ場合ニ於テ共同著作物中ノ一人若ハ數人ガ本條例ニ規定セル著作權取得ノ條件ヲ履行セザルトキハ其ノ他ノ一人若ハ數人ノ著作物ヲ以テ本條例上右著作物ノ著作物ト看做ス

尤モ該共同著作權ノ存続期間ハ一切ノ著作物ガ前記ノ條件ヲ履行シタル場合ニ於ケル期間ト同一ナリトス

(3) 本條例ニ於テ「共同著作物」トハ二人若ハ其レ以上ノ著作物ノ協力ニ依リ著作シタル著作物ニシテ一人ノ分擔部分ガ他ノ一人若ハ數人ノ分擔部分ト區別セラレザルモノヲ謂フ

(4) 既婚婦人ト其ノ配偶者トガ著作物ノ共同著作物ナル場合ニ於テハ該婦人ノ該著作物ニ對スル權利ハ該婦人ノ妻有財産ヲ構成ス

#### 遺著

##### 第十七節

(1) 著作物ノ死亡シ際(共同著作物ニアリテハ最後ニ死亡シタル著作物ノ死亡ノ際若ハ其ノ直前)ニ著作權ノ存続シ而モ其ノ時以前ニハ未ダ發行セザル(演劇的著作物又ハ音樂的著作物ニアリテハ未ダ公演演奏又ハ興

行セザル、演述ニアリテハ未ダ公ニ口演セザル、文學的、演劇的若ハ音樂的著作物又ハ版畫ノ場合ニ於テハ著作權ハ最初ノ發行若ハ公ノ演奏、興行又ハ口演迄及其ノ後五十年間存續ス本條例第三節ノ但書ハ右著作物ノ場合ニ於テ前記發行若ハ公ノ演奏、興行若ハ口演ノ日ニ著作ノ死亡シタルガ如ク之ヲ適用ス

(2) 著作ノ死後ニ於ケル著作ノ原稿ノ所有ハ所有權者ノ遺言ニ依ル處分行爲ニ依リ獲得セラレ且又原稿ガ未ダ發行若ハ公ニ演奏、興行又ハ口演セザル著作物ニ屬スル場合ニ於テハ著作權ガ該原稿ノ所有者ニ屬スルコトノ一見シテ十分ナル證據ナリトス

政府ノ發  
行物ニ關  
スル規定

第十八節 王陛下若ハ官廳ノ指圖又ハ監督ノ下ニ本條例實施ノ前若ハ後ニ作成又ハ發行セラレタル著作物ニ關スル著作權ハ著作トノ合意ニ依ル場合ハ王位ノ權利作ハ特權ヲ害セザル範圍内ニ於テ王陛下ニ屬ス此ノ場合ニ於テハ著作權ハ著作物ノ第一發行ノ時ヨリ五十年間存續ス

機器ニ關  
スル規定

第十九節 (1) 音ヲ機械的ニ複製スルコトヲ得ル「レコード」、穿孔圓筒其ノ他ノ裝置ハ之ヲ音樂的著作物ト看做シ著作權ノ存スルコトヲ認ム但シ著作權ノ期間ハ該裝置ノ直接間接ニ由來シタル原盤ノ製作ノ時ヨリ五十年トス原盤製作ノ當時之ヲ所有シタルモノヲ以テ著作物ノ著作ト看做ス所有者ガ法人團體ナル場合ニ於テハ該法人ハ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土タル部分ニ營業所ヲ設立シオリタルトキハ本條例ニ於テハ該領土内ニ居住スルモノト看做ス

- (2) 本條例ノ及ブ王陛下ノ領土タル部分内ニ於テ音樂的著作物ヲ機械的ニ演奏スルコトヲ得ル「レコード」、穿孔圓筒其ノ他ノ裝置ヲ製作スル場合製作者ガ左ノ事項ヲ立證スルトキハ音樂的著作物ニ對スル著作權ノ侵害ト看做サズ
- (a) 右裝置ガ著作權者ニ依リ又ハ其ノ許諾若ハ默認ニ基キテ既ニ製作セラレタルコト

(b) 右製作者ガ右裝置製作ノ意思ニ關シ規定ノ通告ヲ爲シ且又製作者ガ販賣シタル右ノ一切ノ裝置ニ付以下ニ掲グル割合ニ於テ計算シタル著作物使用料金ヲ著作權者ニ對シ若ハ其ノ爲ニ規定ノ方法ニ依リ支拂ヒタルコト但シ

- (i) 本規定ハ複製セラルル著作物ヲ變更又ハ省略スルコトヲ何等許可スルモノニ非ズ但シ著作物ヲ複製スル裝置ガ同様ノ變更及省略ヲ受ケテ既ニ著作權者ニ依リ又ハ其ノ許諾若ハ默認ニ基キ製作セラレタル場合又ハ變更若ハ省略ガ著作物ヲ該裝置ニ寫調スルニ當然必要ナル場合ハ此ノ限ニアラズ
- (ii) 本規定ニ於テハ音樂的著作物ハ其ノ一部ヲナスガ如キ程度ニ緊密ニ之ト結合セル一切ノ歌詞ヲ包含スルモノト看做ス然レドモ音ヲ機械的ニ複製スルコトヲ得ル裝置ヲ包含スルモノト看做サズ

(3) 前記使用料金ヲ計算スル割合ハ規定通りノ方法ニ從ヒ計算セラレタル右裝置ノ普通小賣値段ニ付

- (a) 本條例實施後二年以内ニ製作者ノ販賣セル裝置ニ付テハ「パーセント」二分ノ一
- (b) 右期間經過後ニ販賣セル裝置ニ付テハ「パーセント」
- 尤モ其ノ結果裝置一箇ニ付支拂フベキ使用料金ハ如何ナル場合ニ於テモ右裝置ニ複製セラレタル著作權ノ存スル各箇ノ音樂的著作物ニ對シ半「パーセント」ヲ下ルコトヲ得ズ又前記ノ通り計算セラレタル使用料金ガ「ファージング」ニ滿タザル端數ヲ含ムトキハ此ノ端數ハ之ヲ「ファージング」トシテ計算ス
- 然レドモ本條例實施後七年ヲ經過シタル後ニ於テ右ノ割合ヲ以テモハヤ公正ナラズト認メタルトキハ何時ニテモ商務省ハ公ノ調査ヲ遂ゲタル後四圍ノ狀況ニ於テ正當ト認ムル程度ニ迄右ノ割合ヲ増減スルノ命令ヲ發スルコトヲ得但シ右ノ命令ハ單ニ假命令ニシテ議會ニ依リ確認セラレザル間ハ何等ノ效力ヲ有セザルモノトス然レドモ割合ノ改

正ニ關スル命令ガ發セラレ確認セラレタルトキハ其ノ改正ノトキヨリ十四年間ノ期間滿了以前ハ更ニ之ヲ改正スルコトヲ得ズ

- (4) 右ノ裝置ガ著作權ノ存スルニ簡若ハ其レ以上ノ著作物ヲ複製シ且著作物ノ著作權者ガ異ル人物ナルトキハ本節ニ從ヒ使用料金トシテ支拂ハルベキ金額ハ別段ノ契約ナキトキハ數人ノ著作權者間ニ於テ裁定ニ依リ決定セラルベキ割合ヲ以テ之ヲ分配スルモノトス
- (5) 音樂的著作物ヲ機械的ニ演奏スルコトヲ得ル裝置ノ製作ガ完了シタルトキハ本節ノ上ニ於テハ音樂的著作物ノ著作權者ハ規定ノ申込ヲ爲ス者トノ關係ニ於テハ規定ノ期間内ニ回答セザルトキハ右裝置ノ製作ニ許諾ヲ與ヘタルモノト看做ス
- (6) 本節ノ上ニ於テハ商務省ハ本節ニ從ヒ規定セラルベキ事項及通告ノ形式及通告中ニ與ヘラルベキ細目並ニ使用料金支拂ノ方法、時期、度數ヲ規定スル規則ヲ定ムルコトヲ得商務省ガ適當ト認ムル場合ニ於テハ該規則ハ使用料金ノ前拂ヲ請求シ又ハ其ノ他料金支拂ヲ保證スル規定ヲ包含スルコトヲ得
- (7) 前數項ノ規定ハ本條例實施前ニ公ニシタル音樂的著作物ニ對シ效力ヲ有ス但シ左ノ變更及補足ヲ受クルコトヲ要ス

- (a) 右著作物ノ著作權者ニ依ル又ハ其ノ承諾若ハ默認ニ依ル既往ノ製作ニ關スル條件及右著作物ノ變更若ハ省略ニ關スル制限ハ之ヲ適用セズ
- (b) 使用料金ヲ計算スベキ基準ノ割合トシテ五「パーセント」ノ割合ニ代フルニ二「パーセント」ニ分ノ一ヲ以テス然レドモ千九百十三年七月一日以前ニ販賣セラレタル裝置ニ付テハ之ト同一ノ著作物ヲ複製スル裝置ガ本條

例ノ及ブ王陛下ノ領土内ニ於テ千九百一一年七月一日以前ニ適法ニ製作セラレ又ハ販賣ニ供セラレタルトキハ何等使用料金ヲ支拂フヲ要セズ

- (c) 本條例實施前ニ音樂的著作物ニ關スル著作權ノ讓渡アリタルトキト雖該著作物ヲ機械的ニ演奏スルヲ得ル裝置ヲ製作シ又ハ製作ノ許可ヲ與フルコトニ付本條例ニ依リ與ヘラル一切ノ權利ハ著作權者若ハ其ノ法定代理人ニ屬シ讓受人ニハ屬セス從テ前記使用料金ハ右著作物ノ著作權者若ハ其ノ法定代理人ニ對シ又ハ其ノ利益ノ爲ニ支拂フコトヲ要ス
- (d) 本條例實施前ニ爲サレタル行爲ニ基キ又ハ之ト共ニ生ズル權利及利益ニ關シ本條例ニ規定セラルル救済ハ著作物ガ機械的ニ演奏セラレ得ル裝置ヲ製作シタル者ニ對シ其ノ製作ガ本條例實施ノ以前タルト以後タルトヲ問ハズ該裝置ノ販賣ヲ許可スルモノニ非ズ但シ本節ニ規定スル條件ニ從フ場合ハ此ノ限ニアラズ
- (e) 著作物ガ外國ニ關スル勅令ニ依リ著作權ノ許與セラレタル著作物ナル場合ハ斯クシテ許與セラレタル著作權ハ著作物ガ機械的ニ演奏セラレ得ル「レコード」、穿孔圓筒其ノ他ノ裝置ノ製作ニ關スル權利ヲ包含セス但シ右勅令ニ依リ規定セラレ得ル範圍内ニ於テハ此ノ限ニアラズ
- (8) 音ヲ機械的ニ複製スルコトヲ得ル「レコード」、穿孔圓筒其ノ他ノ裝置ガ本條例實施以前ニ其ノ製作ヲ完了シタル場合ニ於テハ右裝置ノ直接若ハ間接ノ基礎トナリタル原盤ノ製作ノ際ニ本條例ガ效力ヲ有シタルモノト看做シ之ト同一様式ニ依リ同一期間中本條例ノ實施ノ時ヨリ本條例ノ規定ニ拘ルコトナク之ニ關シ著作權ノ存在ヲ認ム然レドモ
- (i) 本條例實施ノ際右原盤ノ所有者タルモノヲ以テ右著作權ノ第一所有者トス

政治演説ニ關スル規定  
寫眞ニ關スル規定

(ii) 右装置ノ製作ガ他ノ装置ノ著作權ノ侵害ヲ構成シタル場合ニ於テ本規定ガ前者ノ装置ノ製作ノ際效力ヲ有シタル場合ハ本規定ハ該装置ニ對シ何等著作權ヲ許與スルモノト解スベカラズ

第二十節 公ノ會合ニ於テ口演シタル政治的性質ヲ有スル演説ノ報告ヲ新聞紙ニ掲載スルコトハ本條例ノ規定ノ如何ニ拘ラス右演説ノ著作權ノ侵害ヲ構成セザルモノトス

第二十一節 寫眞ニ關スル著作權ノ存續期間ハ寫眞ノ直接若ハ間接ノ基礎トナリタル種板ヲ製作シタル時ヨリ五十年間トス而シテ種板ノ製作セラレタル時ニ種板ヲ所有セルモノヲ以テ著作物ノ著作權ト看做シ所有者ガ法人團體ナル場合ニ於テハ該法人ガ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土タル部分内ニ營業所ヲ設立シアルトキハ該法人ハ本條例ノ上ニ於テハ王陛下ノ領土内ニ居住スルモノト看做ス

第二十二節 (1) 本條例ハ千九百七年ノ特許及意匠條例ニ從ヒ登録スルコトヲ得ル意匠ニハ適用セズ但シ其ノ如クシテ登録スルコトヲ得ル意匠ト雖何等カ工業的方法ニ依リ複製セラルベキ模型若ハ模様トシテ用ヒラザル又ハ其ノ用ニ供セラレザルモノハ此ノ限ニアラズ

(2) 千九百七年ノ特許及意匠條例第八十六節ニ依リ一般規則ヲ設ケ意匠ガ前記目的ニ利用セラルルモノト看做スベキ條件ヲ定ムルコトヲ得

第二十三節 王陛下ガ或ル外國ガ「ブリテン」著作權ノ著作物ニ對シ十分ナル保護ヲ與ヘズ又ハ與フルコトヲ保證セザリシコトヲ認メタル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土タル部分内ニ於テ初メテ公ニシタル著作物ニ著作權ヲ許與スル本條例ノ規定ハ勅令ニ特記セル期日以後ニ公ニセラレタル著作物ニハ之ヲ適用セザルコトヲ命ズルコトヲ得右著作物ノ著作權ハ右外國ノ臣民若ハ人民ニシテ王陛下ノ領土ニ居住セズ茲ニ於テ右ノ規定ハ右著作

エドワ  
ド第七世  
第七年  
依リ登録  
スルヲ得  
ル意匠ニ  
關スル規  
定

王陛下ノ  
領土ニ於  
テ始メテ  
公ニセラ  
レタル外  
國著作物  
ノ著作權

物ニ適用セザルモノトス

既存著作物

第二十四節 (1) 何人ト雖本條例實施ノ直前ニ本條例ノ別表第一ノ第一欄ニ特記セルガ如キ著作物ニ關スル權利若ハ右權利ニ關スル利益ニ對シ權利ヲ與ヘラレタルモノハ本法實施ノトキヨリ該表ノ第二欄ニ記載セル承繼權利若ハ該承繼權利ニ關スル同一利益ニ對シ權利ヲ享有シ其ノ他ノ權利若ハ利益ハ何等之ヲ享有セズ該承繼權利ハ著作物著作ノ際ニ本條例ノ實施アリテ其ノ著作物ガ本條例ノ下ニ著作權ニ對スル權利ヲ與ヘラレタリトセバ存續スベカリシ期間中存續スルモノトス

然レドモ

(a) 本條例實施ノ際本條例ノ別表第一ノ第一欄ニ特記セルガ如キ權利ノ存在スル著作物ノ著作權ガ本條例實施期日前ニ右權利ヲ讓渡シ又ハ之ニ關スル利益ヲ右權利ノ全期間中許與シタル場合ニ於テハ本條例ガ可決セラレザレバ右權利ガ消滅スベキトキニ際シ本節ノ與フル承繼權利ハ明約ナキ限りハ右著作物ノ著作權ニ移轉シ本條例實施前ニ許與セラレ尙存續スル利益ハ終止ス但シ右權利ガ消滅セル直前ニ右權利若ハ利益ノ所有者タリシモノニ其ノ自由意思ニ依リ左ノ權利中孰レカ一ヲ與フルモノトス

(i) 右權利ノ殘存期間中以下ニ掲グル通告ヲ爲シ報酬(協議調)ハザルトキハ裁定ヲ以テ決定スルコトヲ得(受ケテ右權利ヲ讓渡シ又ハ之ニ關スル利益ヲ許與スルノ權利又ハ何等讓渡若ハ許與ナキトキハ權利消滅ノ時ヨリ三年内ニ著作權者ノ請求アル場合ニ於テハ協議調ハザルトキハ裁定ヲ以テ決定スルコトヲ得ル使用料金ヲ著作權者ニ支拂ヒテ若ハ著作物ガ編輯物中ニ編入シタルモノニシテ右權利若ハ利益ノ所有者ガ該編輯物ノ所有者ナルトキハ何等ノ支拂ヲ爲サズシテ從來ノ通り著作物ヲ



引續キ複製又ハ演奏(上演)スルノ權利

前記通告ハ權利ノ消滅スル日前遅クトモ一年早クトモ六月ノ間ニ與ヘラルベク書留書狀ニテ著作家ニ宛テ送付セラルベシ又ハ相當ノ注意ニ拘ラズ著作家ヲ發見スルコト能ハザル場合ニ於テハ「ロンドン・ガゼット」及「ロンドン」ノ新聞二種ノ上ニ公告スルコトヲ要ス

(b) 或者ガ千九百十年七月二十六日以前ニ當時適法ナル方法ニ依リ複製若ハ演奏(上演)ニ關聯シ又ハ本條例ニシテ可決セラレザレバ複製若ハ演奏(上演)ガ適法ナルベキ時期ニ右ノ如キ著作物ノ複製若ハ演奏(上演)ノ爲若ハ之ヲ目的トセル或行爲ヲナシ之ニ依リ出費若ハ負擔ヲ蒙リタル場合ニ於テハ本節ノ規定ハ其ノ行爲ヨリ生ジ又ハ之ト關聯シテ生ズル上記ノ日時ニ存在シ且効力ヲ有スル權利若ハ利益ヲ何等減少又ハ侵害スルモノニ非ズ但シ本節ニ依リ右複製若ハ演奏(上演)ヲ妨止スルノ權利ヲ取得シタルモノガ協議調ハザルトキハ裁定ヲ以テ決定スベキ賠償ノ支拂ニ同意スル場合ハ此ノ限ニアラズ

(2) 本節ノ意義ニ於テハ「著作家」ナル名稱ハ死亡著作家ノ法定私的代理人ヲ包含ス

(3) 本條例第十九節第七項及第八項並ニ第三十三節ノ規定内ニ於テ著作權ハ本條例實施前ニ著作シタル著作物ニアリテハ本節ノ規定ニ依リ之ニ從フニ非ザレバ存續セザルモノトス

「ブリテン」領土ニ對スル適用

本條例ノ  
ブリテン  
領土  
ヘノ適用

第二十五節——(1) 本條例ハ明カニ其ノ適用ヲ聯合王國ニ制限シタル規定ノ外ハ王陛下ノ全領土ニ適用ス然レドモ自治領ニハ之ヲ及ボサズ但シ自治領ノ立法院ガ本條例ヲ何等ノ改正若ハ増補ヲ加ヘズ又ハ特ニ訴訟手續若ハ救済ニ關

シ又ハ自治領ノ事情ニ本條例ヲ適應セシムルニ必要トセラレ該立法院ニ依リ制定セララルルヲ得ルガ如キ改正若ハ増補ヲ加ヘテ本條例ヲ實施スル旨ヲ宣言シタル場合ハ此ノ限ニアラズ

(2) 大臣ガ「ロンドン・ガゼット」ニ公告セル告知ヲ以テ或自治領ガ著作ノ際「ブリテン」臣民ニシテ自治領外ニ居住シタル者若ハ「ブリテン」臣民ニアラズシテ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土タル部分ニ居住シタル者ノ著作物ガ本條例ノ許與スル權利ト事實上同一ノ權利ヲ右自治領内ニ於テ享有スルコトヲ得ル法律ヲ可決シタルコトヲ證明スルトキハ右自治領ヲ以テ右法律ガ効力ヲ有スル間本條例ノ許與セル權利ニ關シ本條例ノ及ブ領土ト看做ス而シテ右自治領ノ法律ニ於ケル權利主張ノ爲ノ救済若ハ外國ニ於テ製作セラレタル著作物ノ印本ノ輸入ニ對スル制限ガ本條例ニ於ケル規定ト異ル場合ト雖モ大臣ガ前記證明書ヲ交付スルハ適法ナリトス

自治領ノ  
立法權

第二十六節——(1) 自治領ノ立法院ハ議會ノ可決シタル著作權ニ關スル法律ノ全部又ハ一部(本條例ヲ含ム)ヲ該自治領内ニ効力ヲ有スル範圍内ニ於テ何時ニテモ廢止スルコトヲ得然レドモ其ノ廢止ハ廢止ノ際ニ存在スル法律上ノ權利ヲ侵害スルコトヲ得ズ該自治領ノ立法院ハ本條例ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル以上ハ本條例ヲ適用スル領土ヨリ之ヲ除外ス

(2) 本條例ノ適用ヲ受ケザル自治領ニ於テハ本條例ニ依リ廢止セラレタル法律ハ該自治領ノ立法院ガ之ヲ廢止スル迄ハ該自治領内ニ効力ヲ有スル範圍内ニ於テ引續キ効力ヲ有スルモノトス

(3) 本條例ノ適用ヲ受ケザル自治領ノ法律ガ著作物著作ノ際「ブリテン」臣民ニシテ該自治領外ニ居住セル著作家ノ著作物(發行セラレタルト發行セラレザルトヲ問ハズ)ニ對シ十分ナル保護ヲ該自治領内ニ於テ與フルコトヲ確信シタル場合ニ於テハ樞密院ハ相互保護ヲ與ヘンガ爲本條例ハ必要アル場合ニ勅令ニ特記セラルベキ部分ヲ除キ且又勅

令ニ含マルル條件ニ從ヒ著作物著作ノ際前記自治領ニ居住セル著作物並ニ該自治領ニ於テ初メテ發行セラレタル著作物ニ對シ本條例ノ支配ヲ受クル王陛下ノ領土タル部分ニ於テ之ヲ適用スル旨ヲ命令スルコトヲ得但シ右勅令ノ指定セルトコロ別トシテ「ブリテン」臣民ナルト否トヲ問ハズ本條例ノ支配ヲ受ケザル領土ニ居住セル著作物ノ著作物ハ本條例ノ下ニ於ケル保護ヲ享セズ但シ本條例ノ支配ヲ受クル王陛下ノ領土タル部分内ニ於テ初メテ發行シタル著作物ニ對シ本條例ニ依リ許與セラルル保護ハ此ノ限ニアラズ

然レドモ同様ノ勅令ハ自治領内ニ於テ何等ノ權利ヲ許與スルコトヲ得ズ但シ本條例ノ適用ヲ受クル自治領ノ總督府ハ樞密院ガ本號ノ前記規定ニ從ヒ王陛下ノ領土ノ其ノ他ノ部分内ニ於テ許與スルコトヲ得ル權利ト同様ノ權利ヲ命令ヲ以テ該領土内ニ於テ許與スルコトヲ得

本項ノ意義ニ於テ「本條例ノ支配ヲ受クル領土」ナル用語ハ本條例ノ適用上本條例ノ適用セラルル領土ト看做サルル領土ヲ含ム

補足的な法律ヲ可決スル一府領土立法府ノ權能ニ對スル適用

第二十七節 本條例ノ支配ヲ受クル「ブリテン」領ノ立法府ハ其ノ領土ニ適用スル範圍内ニ於テ本條例ノ規定ニ改正若ハ補足ヲ加フルコトヲ得但シ訴訟手續及救済ニ關スル改正及補足ヲ除外ス右ハ著作ノ際右領土ニ居住セルモノノ著作シタル著作物若ハ右領土ニ於テ初メテ發行セラレタル著作物ニ對シテノミ之ヲ適用ス

第二十八節 王陛下ハ勅令ヲ以テ本條例ヲ其ノ保護ノ下ニアル地域並ニ「サイブラス」島ニ及ボスコトヲ得本條例ハ同勅令ノ發布ト共ニ其ノ規定ニ從ヒ本條例ノ適用ヲ受クル該地域若ハ「サイブラス」島ヲ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土ノ一部ト看做シテ效力ヲ發生スルモノトス

第二編 國際著作權

本條例ヲ外國著作物ニ及ボス權能

第二十九節 (1) 王陛下ハ勅令ヲ以テ本條例(必要アル場合ニ勅令ニ特記セラルベキ部分ヲ除ク)ヲ左ノ如ク適用スル旨ヲ命ズルコトヲ得

- (a) 勅令ニ定ムル外國ニ於テ初メテ發行シタル著作物ニ對シ同著作物ヲ本條例ノ支配ヲ受クル王陛下ノ領土タル部分内ニ於テ初メテ發行セラレタルモノト看做シテ適用スルコト
- (b) 著作ノ際勅令ニ定ムル外國ノ臣民若ハ人民タリシモノノ著作シタル文學的、演劇的、音樂的及美術的著作物若ハ孰レカ其ノ一ニ對シ右著作物ヲ「ブリテン」臣民ト看做シテ適用スルコト
- (c) 勅令ニ定ムル外國ニ於ケル居住ニ付テ同居住ヲ本條例ノ支配ヲ受クル王陛下ノ領土ニ於ケル居住ト看做シテ適用スルコト

茲ニ於テ本條例本編及勅令ノ規定ニ從ヒ本條例ヲ適宜ニ適用ス然レドモ

- (i) 本節ニ從ヒ外國(王陛下ガ著作權ニ關シ條約ヲ締結シタル國以外ノ國)ニ關シ勅令ヲ發布スル以前ニ王陛下ハ本條例第一編ノ規定ニ從ヒ著作權ヲ享有スル著作物ノ保護ノ爲請求スルニ得策ナリト王陛下ニ於テ思料セラルル規定ヲ右外國ガ必要アル場合ニ造リ又ハ造ラント企テタルコトヲ確ムルコトヲ要ス
- (ii) 王陛下ノ前記領土タル部分内ニ於ケル著作權ノ期間ハ勅令ニ定ムル國ノ法律ノ許與スル期間ヲ超ユルコトヲ得ザル旨ヲ勅令ヲ以テ規定スルコトヲ得

(iii) 書籍ノ印本ノ納付ニ關スル本條例ノ規定ハ右外國ニ於テ初メテ發行シタル著作物ニハ之ヲ適用セズ但シ勅令ニ規定セル範圍ニ於テハ此ノ限ニアラズ

(iv) 本條例ニ依リ許與セラルル權利ノ享有ハ勅令ニ依リ(必要アル場合)規定セラルベキ條件及手續ノ履行ニ依ルコトヲ勅令ヲ以テ規定スルコトヲ得

(v) 著作權所有ニ關シ本條例ノ規定ヲ適用スルニ當リ勅令ヲ以テ外國ノ法律トノ關係上必要ナリト思料セラルル變更ヲ之ニ加フルコトヲ得

(vi) 既存著作物ニ關シ本條例ノ規定ヲ適用スルニ當リ勅令ヲ以テ必要ナリト思料セラルル變更ヲ之ニ加ヘ且又右ノ如ク適用セラレタル規定ハ翻譯物ノ製作又ハ輸入ヲ禁止スル權利ガ千八百八十六年ノ國際著作權條例第五節ニ依リ消滅シタル場合何等之ヲ復活セシムルモノト解スベカラザル旨ヲ規定スルコトヲ得

(2) 本節ニ基ク勅令ハ之ニ其ノ名ヲ掲ゲラレ又ハ記述セラレタル若干ノ諸國全部ニ及ブコトヲ得

第三十節 (1) 本條例第二編ニ基ク勅令ハ本條例ノ支配ヲ受クル王陛下ノ全領土ニ適用ス但シ自治領及其ノ他王陛下下ガ右勅令ヲ適用セザルヲ相當ト認メ勅令ニ特記セル領土ハ此ノ限ニアラズ

(2) 本條例ノ適用ヲ受クル自治領ノ總督府ハ樞密院ガ自治領以外ノ王陛下ノ領土ニ關シ本條例本編ニ基キ發スルコトヲ得ルト同様ノ命令ヲ該領地ニ關シ發スルコトヲ得而シテ本條例本編ノ規定ハ必要ナル變更ヲ加ヘテ適宜之ヲ適用スルコトヲ得

(3) 王陛下ガ自治領ニ非ザル領土ノ或ル一部ヲ或ル命令ノ規定ヨリ除外スルヲ相當ト認ムル場合ニ於テハ王陛下ハ同命令若ハ其ノ他ノ勅令ヲ以テ該命令及本條例本編ハ右部分ニ適用セザル旨ヲ宣言スルコトヲ得但シ該勅令ノ期日

フブリテ  
ニ對スル  
第二編  
適用

前既ニ取得シタル權利ニ對スル侵害ヲ防止スルニ必要ナル限度ニ於テハ此ノ限ニアラズ

第三編 附 則

第三十一節 何人ト雖本條例若ハ其ノ他ノ成文法ニ其ノ有効期間中從フニアラザレバ發行セラレタル發行セラレザルトト問ハズ文學的、演劇的、音樂的若ハ美術的著作物ニ付著作權若ハ之ト類似ノ權利ヲ附與セラレザルモノトス但シ本節ハ背任若ハ背信ヲ防止スル權利若ハ司法權ヲ廢止スルモノト解スベカラズ

第三十二節 (1) 樞密院ハ本條例若ハ本條例ニ依リ廢止セラレタル法規ニ基キ發セラレタル勅令ノ變更、廢止又ハ改正ヲ目的トシテ勅令ヲ發スルコトヲ得但シ本節ニ依リ發スル勅令ハ其ノ實施ノ際既ニ取得セル又ハ生ジタル權利若ハ利益ヲ侵害スルコトヲ得ズ而シテ右權利及利益ノ保護ノ爲ニ規定ヲ設クベシ

(2) 本條例ニ依リ發スル一切ノ勅令ハ其ノ發令後可及的速カニ「ロンドン・ガゼット」ニ公告シ且又兩院ニ公示セラレベシ而シテ本條例ニ規定セラレタル同一ノ效力ヲ有スルモノトス

第三十三節 本條例ノ規定ハ千七百七十五年ノ著作權條例ニ掲グル大學及專門學校ガ既ニ同法律ニ依リ所有スル一切ノ著作權ヲ何等剝奪スルモノニアラス但シ右著作權ノ侵害ニ對スル救済及制裁ハ本條例ニ依ルモノトシ右法律ニハ依ラザルモノトス

第三十四節 書籍ノ無償印本ノ納付ヲ受クル權利ノ喪失ニ對シ法律ニ依リ賠償トシテ本條例實施ノ直前ニ圖書館ニ支拂フベカリシ例年賠償金ハ引續キ之ヲ聯合王國ノ固定基金ニ課シ其ノ支拂ヲ爲スベキモノトス

然レドモ大藏會議局ハ前年度ノ賠償金ガ右圖書館ニ於ケル利用及保存ノ目的ヲ以テ書籍ノ購入ニ充當セラレタル確

大學ノ著  
作權ノ除  
外  
第十三章  
第五節  
第三十  
三節  
若シテ  
圖書館  
ノ賠償  
金ニ對  
スル  
ノ除外

勅令ニ關  
スル規定

慣習法上  
ノ權利ノ  
廢止

證ヲ得ルニアラザレバ右賠償金ヲ圖書館ニ對シ毎年支出スルコトヲ要セズ  
第三十五節——(1) 文脈ノ關係上他ノ意義ニ解セザルベカラザル場合ヲ除キ本條例ニ於テハ——

「文學的著作物」ハ地圖、海圖、圖面、一覽表及編輯著作物ヲ包含ス  
「演劇的著作物」ハ一切ノ朗誦用脚本、場面ノ配列若ハ演技ノ形式ガ文書若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ定メラレタル舞譜及無言劇竝ニ配列若ハ演技ノ形式若ハ表現セラレタル事件ノ組合セガ著作物ニ獨得ノ性質ヲ與フル一切ノ活動寫眞的著作物ヲ包含ス

「美術的著作物」ハ繪畫、圖畫、彫刻及美術工藝品竝ニ美術的建築著作物、版畫及寫眞ヲ包含ス  
「彫刻的著作物」ハ塑型及模型ヲ包含ス

「美術的建築著作物」ハ美術的性質若ハ意匠ヲ有スル一切ノ「ビルヂング」若ハ建造物ヲ（該性質若ハ意匠ニ付）意味シ竝ニ右ノ「ビルヂング」若ハ建造物用ノ一切ノ模型ヲ意味ス然レドモ本條例ニ依リ與ヘラルル保護ハ美術的性質若ハ意匠ニ極限セラレベク建築ノ手順若ハ方法ニハ及ボサレザルモノトス

「版畫」ハ「エツチング」、石版畫、木版畫、印畫、其ノ他寫眞ニアラザル類似ノ著作物ヲ包含ス

「寫眞」ハ寫眞石版畫、其ノ他寫眞ニ類似ノ方法ニ依リ製作シタル一切ノ著作物ヲ包含ス

「活動寫眞的著作物」ハ活動寫眞術ニ類似ノ方法ニ依リ製作シタル一切ノ著作物ヲ包含ス

「編輯著作物」ハ左ノ著作物ヲ意味ス

(a) 百科全書、辭書、年鑑、其ノ他類似ノ著作物

(b) 新聞紙、評論雜誌、雜誌、其ノ他類似ノ定期刊行物

(c) 異リタル著作者ニ依リ著作セラレ且其ノ分擔部分ノ明瞭ナル著作物若ハ異リタル著作者ノ著作物若ハ其ノ一部ノ編入セラレタル著作物

「偽作」(著作權ノ存スル著作物ノ印本ニ此ノ語ヲ適用スル場合)ハ本條例ノ規定ニ反シテ製作又ハ輸入セラレタル一切ノ複製(模造ヲ含ム)ヲ意味ス

「興行」ハ著作物ノ一切ノ聽覺的演出竝ニ著作物中ノ演技ノ一切ノ視覺的演出(機器ヲ以テスル演出ヲ含ム)ヲ意味ス

「口演」(講演ニ關スル場合)ハ機器ヲ以テスル口演ヲ包含ス

「印板」ハ著作物ノ印刷若ハ複製ノ用ニ供スル又ハ之ヲ目的トスル一切ノ「ステロ」版其ノ他、石版、木版、鑄型、紙型、轉寫版又ハ種版竝ニ「レコード」、穿孔圓筒、其ノ他著作物ノ聽覺的複製ノ用ニ供スル裝置ノ製作ノ用ニ供セラルル又ハ供セラルベキ原盤若ハ其ノ他ノ器具ヲ包含ス

「講演」ハ演說、演述及說教ヲ包含ス  
「自治領」ハ「カナダ」自治領、「オーストラリア」聯邦、「ニュー・ジールランド」自治領、南「アフリカ」聯邦及「ニューファウンドランド」ヲ意味ス

(2) 本條例ニ於テハ(著作權侵害ニ關スルモノヲ除ク)著作者、指定遺言執行人、管理人若ハ讓受人ノ同意若ハ默許ヲ得ズシテ公ニ發行若ハ興行シ又ハ公ニ口演セラレタルトキ、ハ著作物ニアリテハ公ニ發行若ハ興行シタルモノト看做サズ又演述ニアリテハ公ニ口演シタルモノト看做サズ

(3) 本條例ニ於テハ著作物ハ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土ノ一部内ト其ノ他ノ場所ニ於テ同時ニ發行セラレタル場合

ト雖王陛下ノ領土内ニ於テ初メテ發行セラレタルモノト看做ス但シ前記王陛下ノ領土ノ一部内ニ於ケル發行ガ單ニ外見上ニシテ公衆ノ正當ナル要求ヲ満足セシムルコトヲ目的トセザル場合ハ此ノ限ニアラズ尙又著作物ハ二箇所ニ於ケル發行ノ間隔ガ十四日若ハ勅令ニ依リ當分ノ間決定セラレベキ其レ以上ノ期間ヲ超過セザル場合ニ於テハ二箇所ニ於テ同時ニ發行セラレタルモノト看做ス

(4) 未發行著作物ノ場合ニ於テ著作物ノ製作ガ多大ノ期間以上ニ互リタル場合ハ著作物ガ其ノ期間中ノ大部分「ブリテン」臣民ナリシガ若ハ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土ノ部分ノ居住者タリシトキハ本條例ニ依リ著作權ヲ享有スルニ要スル條件ヲ履行シタルモノト看做ス

(5) 居住ニ關スル本條例ノ規定ニ於テハ著作物ノ著作者ハ本條例ノ及ブ王陛下ノ領土ノ部分ニ住所ヲ有スルトキハ右部分ノ居住者ト看做ス

廢止

第三十六節 本條例ノ規定ニ從ヒ第二表ニ記載セル法令ハ該表第三欄ニ特記セル範圍内ニ於テ之ヲ廢止ス然レドモ右廢止ハ本條例ガ王陛下ノ領土ノ部分ニ於テ實施セラレル迄ハ該部分ニ於テ其ノ效力ヲ生ゼズ

略稱及實施期日

第三十七節 (1) 本條例ハ千九百十一年著作權條例ト稱スルコトヲ得

(2) 本條例ハ左ノ期日ヨリ之ヲ實施ス

(a) 聯合王國ニ於テハ千九百十二年七月一日若ハ勅令ヲ以テ定ムルコトヲ得ル其レ以前ノ期日

(b) 本條例ノ及ブ自治領ニ於テハ該領土ノ立法府ノ定ムルコトヲ得ル期日

(c) 海峽群島ニ於テハ各島ノ議會ノ定ムルコトヲ得ル期日

(d) 本條例ノ及ブ其ノ他「ブリテン」領ニ於テハ該領内ニ於テ總督ノ發スル實施期日布告ニヨル

ドイツ國

○文學的及音樂的著作權法 (一九〇一年六月一日)

改正 一九一〇年五月二二日 一九三四年一月二三日

一 保護ノ條件

第一條 左ニ掲グル著作物ハ本法ノ條件ニ依リ保護ヲ受ク

一 文書ノ著作者及教化、教育若ハ娛樂ノ目的ニ供スル講演若ハ演述ノ著作者

二 音樂的著作物ノ著作者

三 學術的又ハ技術的圖解(可塑的著作物ヲ含ム)ニシテ其ノ主要目的ニ付美術的著作物ト看做スベカラザル著作物ノ著作者

舞譜及無言劇ハ演出ガ文書以外ノ方法ヲ以テ定メラレタル場合ト雖文書トシテ保護セラレ

第二條 著作物ヲ創作シタル者ヲ著作者ト看做シ著作物ヲ翻譯シタル者ヲ翻譯者ト看做シ其ノ他一切ノ方法ニ依リ著作物ヲ改作シタル者ヲ改作物ノ著作者ト看做ス

文學的若ハ音樂的著作物ニシテ演奏家ノ人的參加ニ依リ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機械的樂器ニ寫調セラレタル場合ニ於テハ右ノ如クシテ製作セラレタル樂器ハ著作物ノ改作ト看做スベシ寫調ガ穿孔、刻印、尖頭配列若ハ其ノ他之下類似ノ細工ニ依リテ行ハレ且其ノ細工ガ藝術活動ニ負フトコロアリト認メラルル場合亦同ジ前段ニ掲

グル場合ニ於テハ演奏家ヲ以テ後段ニ掲グル場合ニ於テハ寫調者ヲ以テ著作物ノ改作者ト看做スベシ

第三條 著作者ガ其ノ氏名ヲ題號ノ頁、献辭、序文若ハ卷尾ニ掲ゲザル著作物ニアリテハ出版者トシテ著作物ヲ公ニシタル公法人ヲ以テ著作者ト看做ス但シ反對ノ規定アル場合ハ此ノ限ニアラズ

第四條 著作物ガ數人ノ共同著作者ノ分擔的勞作ヨリ成ル場合(編輯物)ニ於テハ發行者(Herausgeber)ヲ以テ該著作物全體ノ著作者ト看做ス而シテ發行者ノ氏名ガ示サレザルトキハ出版者(Verleger)ヲ以テ其ノ著作者ト看做ス

第五條 文書ガ音樂的著作物ノ臺本ナル場合又ハ圖解ヲ伴フ場合ニ於テハ該創作物ノ各ノ著作者ヲ以テ夫々著作者ト看做ス

第六條 數人ノ共同著作者ガ共同著作物ヲ創作シ各個人的勞作ガ區別セラレザル場合ニ於テハ其ノ間ニ民法ニ依リ著作者トシテ各部分ニ付共有存在スルモノトス

第七條 出版セラレタル著作物ノ題號ノ頁、献辭、序文若ハ卷尾ニ著作者ノ氏名ノ記載アルトキハ其ノ氏名ヲ以テ實際ノ著作者ト推定ス數人ノ共同著作者ノ作品ヨリ成ル著作物ニ關シテハ篇首若ハ篇尾ニ其ノ氏名ヲ明示スルヲ以テ足ル

著作者ノ實名ト異ル氏名ヲ冠シ又ハ其ノ氏名ヲ冠セズシテ出版セラレタル著作物ニ在リテハ其ノ發行者ニ於テ又ハ發行者ガ示サレザルトキハ出版者ニ於テ著作者ノ權利ヲ保全スルコトヲ得

出版ノ前若ハ後ニ公ニ興行又ハ口演セラレタル著作物ニ在リテハ興行若ハ口演ヲ告知シタルトキ著作者トシテ示サレタル者ヲ以テ著作者ト推定ス

第八條 著作者ノ權利ハ其ノ相續人ニ移轉ス

法律ニ依リ相續ガ國庫若ハ其ノ他ノ法人ニ移轉スル場合ニ於テハ被相續人ニ屬スル權利ハ其ノ死亡ト共ニ消滅ス

右ノ權利ハ制限ヲ附シ又ハ附セズシテ之ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得讓渡ハ亦一定ノ地域ニ之ヲ限定スルコトヲ得

第九條 著作權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ讓受人ハ反對ノ契約ナキ限り著作物自體、其ノ題號若ハ著作者ノ氏名ニ増減若ハ其ノ他如何ナル變更モ一切之ヲ加フルノ權利ヲ有セザルモノトス

權利者ガ善意ヲ以テ其ノ承諾ヲ拒否シ得ザル變更ハ之ヲ許スモノトス

第十條 著作者ノ權利若ハ其ノ著作物ハ著作者ノ許諾ナキ限り著作者自身ニ對スル強制執行手續ノ目的物タルコトヲ得ズ右ノ許諾ハ法定代理人ヨリ之ヲ與フルコトヲ得ザルモノトス著作者ノ相續人ニ對スル強制執行ハ著作物ガ出版セラレタル場合ニ限り其ノ同意ナクシテ之ヲ爲スコトヲ許スモノトス

## 二 著作者ノ權利

第十一條 著作者ハ著作物ヲ複製シ且營利ノ目的ヲ以テ之ヲ頒布スルノ權利ヲ專有ス該專屬權ハ之ヲ貸與ニ及ボサズ且又著作物ノ根本内容ガ公衆ニ傳達セラレザル限り傳達ヲ爲スノ權利ハ著作者ノミ之ヲ有ス

演劇脚本若ハ音樂的著作物ノ著作權ハ之ヲ興行シ又ハ演奏スルノ專屬權ヲモ含ム

文書若ハ講演ガ出版セラレザル限り著作者ハ之ヲ公ニ口演スルノ專屬權ヲ有ス

第十二條 第十一條ノ規定ニ依リ著作物自體ニ關シ著作者ニ屬スル專屬權ハ著作物ノ種々ノ改作ニ及ブモノトス  
特ニ著作者ノミ左ノ行爲ヲ爲スノ權利ヲ有ス

一 其ノ著作物ヲ他ノ國語若ハ同一國語中ノ他ノ方言ニ翻譯スルコト尙韻文ヲ以テ爲サル翻譯ハ著作者ノ許可ヲ

- 二 著作物ヲ原語ニ翻譯シ直スコト
- 三 物語ヲ戯曲ノ形式ニ又ハ演劇的著作物ヲ物語ノ形式ニ複製スルコト
- 四 音樂的著作物ノ拔萃ヲ爲シ並ニ音樂的著作物ヲ一若ハ數樂器又ハ一若ハ數聲部ヲ目的トシテ編曲スルコト
- 五 著作物ヲ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機械的樂器特ニ取換ヘ得ベキ圓盤、板、圓筒、蠟管及其ノ他同種ノ機器附屬物ニ寫調スルコト
- 六 活動寫眞若ハ其ノ他類似ノ方法ニ依リ原著作物ノ内容ヲ再現スル象形的演出ノ爲ニ文書ヲ利用スルコト
- 第十三條 第十二條第二項ニ依リ著作者ニ屬スル專屬權ノ制限内ニ於テ他人ノ著作物ヲ自由ニ利用スルコトヲ得但シ獨特ノ著作物ヲ作ルコトヲ要ス
- 第十四條 明カニ旋律ヲ借リテ新著作物ノ基礎ニ用フルガ如キ音樂的著作物ノ利用ハ總テ之ヲ禁ズ
- 一 其ノ著作物ヲ他ノ國語若ハ他ノ方言ニ翻譯スルコト
- 二 物語ヲ演劇ノ形式ニ又ハ演劇的著作物ヲ物語ノ形式ニ複製スルコト
- 三 音樂的著作物ヲ編曲スルコト但シ編曲ガ單ニ拔萃ニ止リ又ハ他ノ旋律若ハ音域ニ轉調スルニ在ルトキハ此ノ限ニアラズ
- 四 音ヲ機械的ニ複製スルノ目的ヲ以テ著作物ヲ利用スルコト(第十二條二項五號)
- 五 活動寫眞的複製ノ目的ヲ以テ文書ヲ利用スルコト(第十二條二項六號)

第十五條 權利者ノ許諾ナキ著作物ノ複製ハ其ノ方法ノ如何ヲ問ハズ一部タルト數部タルトヲ問ハズ不法ナリトス  
尤モ個人的使用ノ爲ニ著作物ヲ複製スルコトヲ得但シ複製ガ財産的利益ヲ目的トセザルコトヲ要ス

第十六條 法典、法律、命令、公ノ性質ヲ有スル文書及決定並ニ其ノ他公用ノ爲ニ作成セラレタル書類ノ複製ハ適法ナリトス

第十七條 左ニ掲グル複製ハ適法ナリトス

- 一 公開ノ討論中ニ含マレタル講演若ハ演述ヲ新聞紙若ハ雜誌上ニ複製スルコト
- 二 裁判所、議會、政治的會議、市町村會議及聖職者會議ニ於テ爲サレタル講演若ハ演述ヲ複製スルコト
- 尤モ專ラ同一著作物ノ演述ヲ包含セル編輯物中ニ演述ヲ複製スルコトハ不正ナリトス
- 第十八條 新聞紙ノ獨立ノ記事ヲ他ノ新聞紙ニ轉載スルコトハ該著作物ガ著作權留保ノ記載ナキ場合ハ適法ナリトス  
但シ其ノ意味ヲ變形セザルコトヲ要シ且出所ヲ明記スルコトヲ要ス
- 學術的、技術的及娛樂的性質ヲ有スル著作物ノ轉載ハ權利留保ノ記載ナキモ之ヲ禁ズ
- 新聞紙及雜誌ニ掲載シタル實生活ノ雜報及時事ノ記事ハ轉載自由ナリトス
- 第十九條 左ニ提グル行爲ハ適法ナリトス

- 一 公表済ノ文書、講演若ハ演述ノ章包若ハ小部分ヲ獨立ノ文學的著作物中ニ引用スルコト
- 二 既刊ノ獨立ノ短文若ハ獨立ノ詩篇ヲ獨立ノ學術的著作物中ニ轉載スルコト
- 三 數人ノ著作物ノ著作權ヲ輯録シ且其ノ性質上音樂的演奏ノ爲ニ利用セラレルコトヲ目的トスル編輯物中ニ既刊ノ獨立ノ詩篇ヲ轉載スルコトヲ得

四 數人ノ著作物ヲ著作物ヲ輯録シ且其ノ性質上宗教、學校若ハ教育ノ用ニ供シ又ハ特別ノ文學上ノ目的ニ供スル編輯物中ニ既刊ノ獨立ノ短文、獨立ノ詩篇若ハ文書ノ小部分ヲ轉載スルコト、特別ノ文學上ノ目的ニ供スル編輯物ニアリテハ著作物ノ生存中ハ其ノ個人的承諾ヲ得ルヲ要ス其ノ承諾ハ著作物ガ編輯物出版者ノ計畫ノ通知ヲ受ケタル後一月以内ニ何ラノ拒絕ヲモ表明セザルトキハ之ヲ與ヘタルモノト看做ス

第二十條 既刊ノ詩ノ小部分若ハ短キ詩篇ヲ新ナル音樂的著作物ノ臺本トシ且之ヲ連結シテ複製スルコトハ適法ナリトス著作物ノ演奏ノ爲ニ詩ヲ單獨ニ複製スルコトヲ得但シ其ノ複製ハ専ラ聽衆ノ用ニ供スルコトヲ要ス其ノ性質上作曲ノ用ニ供セラルルコトヲ目的トスル詩ノ複製ハ不正ナリトス

臺本ガ音樂的著作物ノ機械的複製(第十二條二項五號)ト結合シテ複製セラレントスルトキハ第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二十一條 左ニ掲グル行爲ハ適法ナリトス

- 一 既刊ノ音樂的著作物ノ樂句ヲ獨立ノ文學的著作物ニ引用スルコト
- 二 既刊ノ短キ樂譜ヲ獨立ノ學術的著作物ニ挿入スルコト
- 三 若干ノ音樂的著作物ヲ輯録シ且其ノ性質上音樂學校以外ノ諸學校ニ於テ教育用ニ供スベキ編輯物中ニ既刊ノ短キ樂譜ヲ轉載スルコト

第二十二條 音樂的著作物ノ著作物ガ第三者ニ對シ機械的複製(第十二條二項五號)ノ目的ヲ以テ營利的ニ著作物ヲ複製スルコトヲ許可シタルトキハ國內ニ主タル工業所若ハ住所ヲ有スル一切ノ第三者ハ該著作物ノ發行後ハ著作物ニ對シ適正ノ報償ヲ支拂ヒテ同様ノ許諾ヲ與フルコトヲ請求スルコトヲ得著作物ハ第三者ニ複製權ト共ニ其ノ享有ス

ル專屬的權能ヲ移轉シタルト否トヲ問ハズ其ノ請求ヲ承諾スベキモノトス其ノ許諾ハ國內ニ於ケル頒布並ニ著作物ガ著作物ノ機械的複製ニ對シ保護セラレザル諸國家ニ對スル輸出ニ關スル限り其ノ效力ヲ生ズベシ相互主義ガ保證セラレオトルモノト看做サル國家ニ對スル關係ニ關シテハ總理大臣ハ「帝國法律官報」ニ挿入セラルベキ布告ヲ以テ國內ニ工業所モ住所モ有セザル第三者ガ該許可ヲ請求スルノ權利ヲ有スベキ範圍ヲ決定シ且該許諾ガ該國家ニ對スル輸出ニ關シテモ亦效力ヲ有スル旨ヲ命令スルコトヲ得ベシ

第一項ノ規定ハ保護ヲ受クル文書ニシテ臺本トシテ音樂的著作物ニ伴ヒ且機械的複製ノ目的ヲ以テ第三者ガ營利的ニ複製スルコトヲ著作物ニ依リ許諾セラレタルモノニモ等シク之ヲ適用ス尤モ音樂的著作物ノ著作物ハ臺本ノ著作物ニ代リ許諾ヲ與フルノ權利及義務ヲ有ス但シ臺本ノ著作物ニ對シ報酬ノ適正ナル分配ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條ノ二 第二十二條ニ依リ與ヘラレタル許諾ニ基キ製作セラレタル機械的樂器ハ同條第一項第二段ニ定ムル制限ヲ附シテ之ヲ著作物ノ公ノ演奏ノ爲ニ利用スルコトヲ得右ニ關シテハ何ラ特別ノ許諾ヲ要セス著作物ガ本規定施行ノ前又ハ後ニ演奏專屬權ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ著作物ハ第三者ニ對シ報酬ノ適正ナル分配ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ規定ハ著作物ガ進ンデ第三者ニ機械的複製ノ目的ヲ以テ著作物ヲ複製スルコトヲ許諾スル場合ト雖モ亦之ヲ適用ス

第二十二條ノ三 著作物ガ機械的複製專屬權ノ一部ヲ讓渡シタルトキハ第二十二條ニ規定セル許諾ハ依然トシテ著作物ニ非ザレバ之ヲ與フルコトヲ得ズ制限ナキ讓渡ノ場合ニ於テハ許諾ハ讓受人ニ於テ之ヲ與フベキモノトス

第二十二條ノ四 許諾請求權ノ要求ヲ爲ス訴求ニ關シテハ著作物ガ「ドイツ」ニ普通裁判籍ヲ有セザル場合ニ於テハ「ライプツヒ」市ノ裁判所ニ於テ之ヲ管轄ス



假處分ハ民事訴訟法第九百三十五條及第九百四十條ニ規定スル條件ヲ具備セザル場合ト雖モ之ヲ命ズルコトヲ得  
第二十三條 専ラ文書ノ内容ヲ説明スル目的ヲ以テ既刊ノ著作物ノ獨立ノ圖解ヲ之ニ附加スルコトハ適法ナリ

第二十四條 第十九條乃至第二十三條ニ定ムル他人ノ著作物ノ複製ハ複製シタル部分ニ何ラノ變更ヲ加ヘザル場合ニ  
限リ適法ナリトス尤モ複製ノ目的上必要トスル限度ニ於テハ文書ノ翻譯竝ニ單ニ拔萃若ハ他ノ旋法若ハ音域ヘノ移  
調又ハ第十二條ニ指定シタル樂器ヘノ改作ヲ構成スルニ止ル音樂的著作物ノ編曲ハ之ヲ爲スコトヲ得獨立ノ作品、  
獨立ノ詩篇又ハ文書ノ小部分ニシテ學校用ノ編輯物ニ挿入セラレタル場合ニ於テハ其ノ使用上必要トスル變更ハ之  
ヲ爲スコトヲ得但シ著作人ノ生存中ハ其ノ個人的承諾ヲ受ケタルコトヲ要ス其ノ承諾ハ著作人ニシテ變更案ノ通知  
ヲ受ケタル後一月以内ニ何ラノ拒絕ヲモ表明セザルトキハ之ヲ與ヘタルモノト看做ス

第二十五條 第十九條乃至第二十三條ノ規定ニ從ヒ他人ノ著作物ヲ利用スル者ハ出所ヲ明記スルノ義務ヲ有ス

第二十六條 第十六條乃至第二十一條、第二十三條及第二十四條ノ條件ニ依リ權利者ノ承諾ナクシテ他人ノ著作物ヲ  
複製スルコトヲ得ル權能ハ之ヲ頒布シ公ニ興行、演奏及口演ヲ爲スコトヲ得ルノ權能ヲ含ム

第二十七條 營利ヲ目的トセズ且聽衆ガ無償ニテ聽取シ得ル場合ニ於テハ既刊ノ音樂的著作物ノ公ノ演奏ニ對シテハ  
權利者ノ承諾ヲ要セス尙又左ニ掲グル場合ニ於テハ權利者ノ承諾ナキ同様ノ演奏ヲ爲スコトヲ得  
一 音樂的祭典ヲ除キ民間ノ祭典ニ於テ演奏ヲ爲ス場合

二 其ノ收入ガ専ラ慈善事業ニ供セラレ且演奏者ガ其ノ協力ニ對シ何ラノ報酬ヲ受ケザル場合  
三 演奏ガ協會ニ依リ組織セラレ其ノ會員(家族ヲ含ム)ノミ聽衆トシテ許サルル場合

右ノ規定ハ歌劇若ハ其ノ他臺本ヲ伴フ音樂的著作物ノ上演ニハ之ヲ適用セズ

第二十八條 數人ノ權利者アルトキハ公ノ演奏ヲ爲ス爲ニハ各權利者ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス  
尤モ歌劇若ハ其ノ他臺本ヲ伴フ音樂的著作物ニアリテハ其ノ上演若ハ演奏ヲ組織スル者ハ音樂的部分ノ著作權ヲ有  
スル者ノミノ承諾ヲ得ル義務ヲ有ス

### 三 保護ノ期間

第二十九條 著作權ノ保護ハ著作人ノ死後五十年間存續シ且如何ナル場合ニ於テモ著作物ノ最初ノ公表後十年間少ク  
トモ存續スルモノトス著作人ノ死後五十年ノ期間滿了迄公表ガ行ハレザルトキハ著作權ハ著作物ノ所有者ニ移リタ  
ルモノト推定ス

第三十條 著作物ノ著作權ガ數人ノ共同著作人ノ共有ニ屬スルトキハ期間ノ滿了ガ著作人ノ死亡ヲ標準トスル場合ニ  
於テハ最後ノ生存者ノ死亡ニ依リ保護期間ヲ決定スベシ

第三十一條 最初ノ公表ノ際第七條第一項及第三項ノ規定ニ依リ著作人ノ實名ガ明示セラレザル著作物ニ關シテハ其  
ノ保護ハ公表ノ時ヨリ五十年ヲ經過スルニ至リテ終了ス

著作人ノ實名ガ五十年ノ期間内ニ第七條第一項及第三項ノ規定ニ依リ明示セラレ又ハ權利者ニ依リ第五十六條ニ定  
ムル登録ノ申請ガ爲サレタルトキハ第二十九條ノ規定ヲ適用スベシ著作物ガ著作人ノ死後初メテ公表セラレタルト  
キ亦同ジ

第三十二條 著作權ガ第三條及第四條ノ規定ニ依リ法人ニ屬スルトキハ其ノ保護ハ公表ノ時ヨリ五十年ヲ經過スルニ  
至リテ終了ス尤モ著作物ガ著作人ノ死後初メテ公表セラレタルトキハ其ノ保護ハ第二十九條ニ定ムル期間ノ滿了ニ

至リテ終了ス

六〇

第三十三條 間隔ヲオキテ公表セラルル數卷ヨリ成ル著作物竝ニ叢書ヲ成シテ公表セラルル報告若ハ記録書ニ關シテハ各卷、各報告若ハ各記録書ハ保護期間ノ計算ニ付之ヲ獨立ノ著作物ト看做ス

冊號ヲ逐ヒテ公表セラルル著作物ニアリテハ保護期間ハ最終ノ分本ノ公表ノ時ヨリ起算ス

第三十四條 保護期間ハ著作ノ死亡シタル年又ハ著作物ノ公表セラレタル年ノ末日ヨリ起算ス

第三十五條 本法ニ依リ許與セララルル保護ガ著作物ガ出版セラレ若ハ其ノ他ノ方法ニ依リテ公表セラレタル事實又ハ著作物ノ根本内容ガ公衆ニ傳達セラレタル事實ニ依據スル場合ニ於テハ權利者ノ爲シタル公表若ハ公示ニ限り其ノ效力ヲ有スルモノトス

#### 四 著作權ノ侵害

第三十六條 何人ト雖モ故意又ハ過失ニ依リ他人ノ著作物ヲ複製シ若ハ業トシテ之ヲ頒布シ又ハ其ノ根本内容ヲ公衆ニ傳達シ因テ著作ノ專屬權ヲ侵害シタル者ハ權利者ニ對シ損害賠償ノ責ヲ負フ

第三十七條 何人ト雖モ故意又ハ過失ニ依リ他人ノ著作物ヲ公ニ上演、演奏若ハ口演シ因テ著作ノ專屬權ヲ侵害シタル者ハ權利者ニ對シ損害賠償ノ責ヲ負フ何人ト雖モ故意又ハ過失ニ依リ第十二條ニ依リ禁止セラレタル演劇的改作物ヲ公ニ上演シ又ハ第十二條ノ條件ニ依リ違法トセラレタル象形的複製物ヲ公ニ展覽ニ供シタル者モ右ト同様ノ義務ヲ負フ

第三十八條 左ニ掲グル者ハ三千「マルク」以下ノ罰金ニ處ス

一 何人ト雖モ法律ノ許シタル以外ノ場合ニ於テ權利者ノ許諾ナクシテ其ノ著作物ヲ故意ニ複製シ又ハ業トシテ頒

布スル者

二 何人ト雖モ法律ノ許シタル以外ノ場合ニ於テ權利者ノ許諾ナクシテ故意ニ其ノ演劇的著作物、音樂的著作物若ハ第十二條ノ條件ニ依リ違法トセラレタル演劇的改作物ヲ公ニ上演若ハ演奏シ又ハ第十二條ノ條件ニ依リ違法トセラレタル象形的複製物ヲ公ニ展覽ニ供シ又ハ著作物ヲ其ノ出版前ニ公ニ口演シタル者

著作物自體、其ノ題號又ハ著作ノ氏名ニ變更ヲ加フル限リニ於テ權利者ノ許諾ヲ必要トスル場合ニ於テハ三百「マルク」以下ノ罰金ニ處スベキモノトス

完納スルコトヲ得ザル罰金ヲ禁錮ノ刑ニ換フルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ刑期ハ第一項ニ定ムル場合ニ於テ六月、第二項ニ定ムル場合ニ於テ一月ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

第三十九條 何人ト雖モ故意ニ且權利者ノ許諾ナクシテ其ノ著作物ノ根本内容ヲ其ノ公表ニ先立チ公衆ニ傳達シタル者ハ千五百「マルク」以下ノ罰金ニ處ス完納スルコトヲ得ザル罰金ヲ禁錮ノ刑ニ換フルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ刑期ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ザルモノトス

第四十條 裁判所ハ權利者ノ請求ニ基キ罰金ノ外ニ權利者ニ對シ六千「マルク」以下ノ賠償金 (Buss) ヲ仕拂フベキコトヲ宣告シ又其ノ宣告ヲ受ケタル者ハ連帶債務者トシテ支拂ノ責ニ任ズベキコトヲ宣告スルヲ得ルモノトス賠償金ノ宣告アリタルトキハ爾後損害賠償ニ關スル一切ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十一條 第三十六條乃至第三十九條ニ指示シタル行爲ハ著作物ノ一部分ノミヲ複製、頒布、公示、上演、演奏、展覽若ハ口演シタルニ止ル場合ト雖モ亦違法トス

第四十二條 違法ニ製作又ハ頒布セラレタル印本竝ニ専ラ違法ノ複製ノ用ニ供シタル鑄型、木版、石版、鉛版ノ如キ

器具ハ之ヲ破毀ス著作物ノ一部分ノミヲ違法ニ製作又ハ頒布シタルニ止マルトキハ其ノ部分及其ノ製作ノ用ニ供シタル器具ヲ破毀スルモノトス

右ノ破毀ハ偽作ノ印本ノ製作若ハ頒布ニ關シタル者並ニ其ノ相續人ノ所有ニ屬スル一切ノ印本及器具ニ及ブベシ右ノ破毀ハ偽作ノ印本ノ製作若ハ頒布ヲ爲シタル者ニ於テ犯罪ノ意圖モナク過失モナキ場合ト雖モ尙且之ヲ宣告スベキモノトス製作行爲ガ未ダ完了セザルトキ亦同ジ

所有者ニ對シ有效ニ破毀ノ宣告ガ爲サレタル後直チニ之ヲ執行スベシ所有者ガ費用ヲ負擔スルニ於テハ其ノ印本及器具ハ破毀以外ノ方法ニ依リ之ヲ廢止スルコトヲ得ベシ

第四十三條 權利者ハ偽作ノ印本竝ニ偽作用ノ器具ノ破毀ニ代フルニ其ノ全部又ハ一部ヲ製作費ノ總額ヲ超ヘザル公正ナル賠償ヲ支拂ヒテ讓渡ヲ受ケンコトヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 何人ト雖モ第十八條第一項又ハ第二十五條ノ規定ニ反シテ其ノ利用シタル出所ヲ明記スルコトヲ怠リタル者ハ百五十「マルク」以下ノ罰金ニ處スベシ

第四十五條 第三十八條、第三十九條及第四十四條ニ定ムル場合ハ告訴ヲ待テ起訴スルモノトス告訴ハ之ヲ取下グルコトヲ得ベシ

第四十六條 違法ニ製作又ハ頒布セラレタル印本竝ニ専ラ違法ノ複製ノ用ニ供シタル器具ノ破毀ハ民事訴訟又ハ刑事訴訟ニ依リ之ヲ請求スルコトヲ得

第四十七條 印本又ハ器具ノ破毀ハ權利者ノ特別ノ告訴ニ依ルニ非ザレバ刑事訴訟ニ於テ之ヲ宣告スルコトヲ得ザルモノトス尤モ右ノ告訴ハ破毀ノ時迄ハ之ヲ取下グルコトヲ得ベシ

權利者ハ單獨ノ訴訟ニ於テ印本又ハ器具ノ破毀ヲ請求スルコトヲ得其ノ場合ニ於テハ權利者ガ原告タリ得ルコトヲ示シテ刑事訴訟法第四百七十七條乃至第四百七十九條ヲ適用ス

第四十八條 第四十六條及第四十七條ノ規定ハ第四十三條ニ依リ認メラレタル權利ヲ主張スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 各聯邦ニ裁判所及檢事ノ請求ニ基キ諮問ヲ受ケタル問題ニ付意見ヲ呈スル義務ヲ有スル専門家會ヲ設置スルモノトス

専門家會ハ當事者ノ請求ニ基キ損害賠償ニ關スル紛争、印本又ハ器具ノ破毀並ニ第四十三條ニ依リ認メラレタル權利ノ認定尙又第二十二條ニ定ムル場合ニ於テ許諾請求權ノ要求ニ付仲裁判斷人トシテ判定スルコトヲ得

帝國總理大臣ハ専門家會ノ組織及職務ニ關スル規定ヲ定ムルモノトス

右専門家會ノ會員ハ會員ノ同意及會長ノ許可ナキトキハ専門家トシテ裁判所ノ諮問ヲ受クルコトヲ得ズ

第五十條 偽作行爲ニ對スル損害賠償ノ訴訟及刑事訴訟ノ時効ハ三年ヲ以テ完成ス

時効ハ偽作ノ印本ノ頒布ヲ始メタル日ヨリ起算ス

第五十一條 印本ノ違法ノ頒布行爲及違法ノ演奏若ハ講演ノ開催行爲ニ對スル損害賠償ノ訴訟及刑事訴訟ノ時効ハ三年ヲ以テ完成ス第三十六條及第三十九條ニ定ムル場合亦同ジ

時効ハ最終ニ不法行爲ヲ犯シタル日ヨリ起算ス

第五十二條 違法ニ製作又ハ頒布セラレタル印本竝ニ専ラ違法ノ複製ノ用ニ供シタル器具ノ破毀ニ關スル請求ハ同印本又ハ器具ノ存スル限り之ヲ受理スベキモノトス

第五十三條 第四十四條ニ依リ罰セラルベキ行爲ノ時効ハ其ノ著作物ノ最初ノ公表ノ日ヨリ起算ス

五 終局規定

六四

- 第五十四條 帝國ニ屬スル者ハ既ニ公ニシタル著作物及未ダ公ニセザル著作物一切ニ付保護ヲ享有ス
- 第五十五條 帝國ニ屬セザル著作物ハ「ドイツ」國領土内ニ於テ出版セル一切ノ著作物ニ付保護ヲ享有ス但シ其レ以前ニ著作物自體又ハ一ノ翻譯物ヲ外國ニ於テ出版セシメタルトキハ此ノ限ニアラズ第二條第二項ニ依リ許與セラルル保護ニ關シテハ出版ニ代フルニ樂器ノ複製ヲ以テ標準トス
- 右ノ著作物ハ右ト同様ノ條件ニ從ヒ其ノ「ドイツ」國領土内ニ於テ一ノ翻譯物ヲ出版シタル一切ノ著作物ニ付保護ヲ享有ス此ノ場合ニ於テ翻譯物ハ之ヲ原著物ト看做ス
- 第五十六條 第三十一條第二項ニ定ムル登録ヲ爲スベキ登録籍ハ「ライプツヒ」市役所ニ之ヲ設備スベシ同市役所ハ申請者ノ資格ノ調査及登録ノ爲ニ届出デタル事實ノ確實性ノ調査ヲ爲スノ義務ヲ有スルコトナク登録ヲ爲スモノトス登録ヲ拒絶セラレタルトキハ當事者ハ帝國總理大臣ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
- 第五十七條 帝國總理大臣ハ登録簿ノ管理ニ關スル規定ヲ制定スルモノトス登録簿ハ各人之ヲ閱覽スルコトヲ得登録簿ノ抄本ハ之ガ交付ヲ受クルコトヲ得ルモノトス抄本ハ請求ニ依リ之ニ認證ヲ與フベキモノトス
- 登録ハ「ドイツ」出版業者取引新聞 (Börsenblatt für den deutschen Buchhandel) ニ之ヲ公告スベシ同新聞紙ニシテ發行ヲ停止セル場合ハ帝國總理大臣ノ指定スル他ノ新聞紙ニ之ヲ公告スベシ
- 第五十八條 登録簿上ノ登録ニ關スル申請書、調書、證明書其ノ他ノ書類ハ印紙稅ヲ免除ス
- 一切ノ登録、登録證明書並ニ其ノ他登録簿ノ抄本ニ付テハ「マルク」五十「ペニヒ」ノ手數料ヲ徵收スルモノトス尙

申請者ハ登録公告費ヲ支拂フベシ

- 第五十九條 訴訟又ハ反訴ヲ以テ本法ノ規定ニ基キ權利ヲ主張スル民事訴訟ニ於テハ裁判所構成法施行法第八條ノ規定ニ依ル終審ノ裁判並ニ判決ハ帝國最高法院ノ管轄トス
- 第六十條 本法實施ノ際未ダ公ニセラレザル遺著ハ從前ノ保護期間ガ既ニ滿了シタル場合ト雖モ第二十九條ニ定ムル保護期間ヲ享有スルモノトス
- 第六十一條 本法實施ノトキ迄演奏權ヲ留保セザリシ音樂的著作物ハ其ノ後留保ノ記載ヲ爲スコトヲ得ベシ其ノ行爲ニ依リ本法ガ違法ノ演奏ニ對抗シテ許與スル保護ヲ享有スルコトヲ得ベシ尤モ演奏ニ際シ權利留保ノ記載アル樂譜ヲ用キザルニ於テハ該著作物ハ既往ノモノトシテ著作物ノ許諾ナクシテ之ヲ演奏スルコトヲ得ベシ
- 右ノ規定ニ依リ保護セラルル著作物ヲ公ニ演奏スルノ專屬權ハ著作物ニ屬ス
- 第六十二條 保護ヲ受クル著作物ノ著作物ノ專屬權ハ本法施行前ニ創作セラレタル著作物ニ關シテモ尙本法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ定ム尤モ翻譯若ハ其ノ他ノ改作又ハ學校用トシテ數人ノ著作物ヨリ成ル編輯物ニシテ其ノ全部又ハ一部ガ本法施行前適法ニ出版セラレタルトキハ之ヲ複製シ頒布シ公ニ上演又ハ演奏スルノ權利ハ該翻譯、改作若ハ編輯ヲ爲シタル者ノ爲引續キ之ニ變更ヲ加フルコトナシ
- 第六十三條 本法ニ依リ明カニ違法トセララル複製ニシテ本法實施以前ニ許可セラレタルモノニアリテハ既ニ製作中ナル印本ノ印刷ハ之ヲ完成スルコトヲ得ベシ鑄型、木版、石版、鉛版等ノ如キ現存スル器具ハ六月間ノ期間滿了迄尙之ヲ利用スルコトヲ得ベシ右ノ規定ニ依リ製作セラレタル印本並ニ本法施行前既ニ完成シタル印本ハ之ヲ頒布マ

ルコトヲ得

六五

第六十三條ノ二 第十二條第二項第五號ノ規定ハ千九百九年五月一日以前ニ於テ既ニ「ドイツ」國內ニ於テ適法ニ機械的複製ノ用ニ供スル機器ニ寫調スル爲ニ利用セラレタル音樂的著作物ニ對シテハ之ヲ適用セズ尙又第六十三條ノ規定ヲ準用スルモノトス本條ノ規定ニ依リ頒布ヲ許サルル複製物ハ公ノ演奏ニモ等シク之ヲ利用スルコトヲ得ベシ

第二十二條ノ規定ハ同條ノ施行前ニ創作セラレタル文學的及音樂的著作物ニ對シ既ニ機械的複製ニ對抗シ保護ヲ享有シタル限度ニ於テ亦之ヲ適用ス尤モ著作ガ機械的複製ノ爲ニ著作物ヲ利用スルノ專屬權ヲ有シ之ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ讓受人ハ引續キ著作者並ニ第三者ニ對シ從前ノ規定ニ依リ右著作物ノ利用ヲ爲ス權能ヲ有ス此ノ場合ニ於テ著作ガ從前ノ制度ニ基キ專屬的權能ヲ讓渡スルコトナク保護著作物ヲ機械的複製ノ爲ニ利用スルコトヲ他人ニ許諾シタルトキハ第三者モ亦之ニ依リ同様ノ許諾ヲ受クルノ權利ヲ與ヘラルルモノト爲スベカラズ

第六十四條 本法ハ千九百二年一月一日ヨリ之ヲ實施ス文書其ノ他ノ著作權ニ關スル千八百七十年六月十一日ノ法律第一條乃至第五十六條、第六十一條及第六十二條ハ本法實施ノ日ヨリ之ヲ廢止ス然レドモ右諸條ハ造形美術的著作物、寫眞、圖畫及模型ノ著作權ニ關スル帝國法律中ニ其ノ適用ヲ明言セラレタル範圍内ニ於テ尙存續スルモノトス

○造形美術及寫眞術的著作物ニ關スル著作權法 (一九〇七年) 二月九日

改正 一九一〇年五月二二日、一九三四年二月一三日  
一九四〇年五月二二日

第一章 保護ノ條件

第一條 造形美術及寫眞術的著作物ノ著作者ハ本法ノ附與スル保護ヲ享有ス

第二條 工藝ノ生産物ハ之ヲ造形美術的著作物中ニ包含ス建築著作物ニ付テモ之ガ美術的目的ノ下ニ創造セララルル限リニ於テ亦同ジ

工藝ノ生産物並ニ前項ニ指示セル種類ノ建築著作物ノ爲ノ下圖モ亦造形美術的著作物ト看做ス

第三條 寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物モ亦寫眞的著作物ト看做ス

第四條 造形美術的著作物ト看做サルベキ下圖ニ對シテハ千九百一年六月十九日附文學的及音樂的著作物ニ關スル著作權法ヲ適用スベカラズ

第五條 著作者ノ氏名ヲ冠セザル著作物ヲ出版者ノ資格ニ於テ發行スル公法人ハ反對ノ契約ナキ限り之ヲ該著作物ノ著作者ト看做ス

第六條 著作物ガ數人ノ共同著作者ノ個別的勞作ヲ以テ構成セララルル場合(編輯著作物)ハ發行者(Herausgeber)ヲ以テ又發行者ノ氏名ナキトキハ出版者(Verleger)ヲ以テ著作物總體ノ著作者ト看做ス

第七條 造形美術的著作物ガ寫眞的著作物ト結合セル場合ハ各創作物ノ著作者ハ其ノ合體以後ト雖モ其ノ資格ヲソノママ保持ス造形美術的若ハ寫眞的著作物ガ文學的若ハ音樂的著作物又ハ保護ヲ受クル工藝上ノ圖ト結合セル場合亦同ジ

第八條 數人ノ共同著作者ガ一著作物ニ協力シ且各個ノ勞作ガ辨別シ得ザル場合ハ民法ニ基キ各人ノ間ニ各部分ニ付著作者トシテ共有關係存ス

第九條 著作者ノ氏名ガ著作物上ニ表示セラレ若ハ特異ノ符號ヲ以テ標示セラレオル場合ハ之ヲ以テ該著作物ノ實際

ノ著作ト推定ス

著作ノ氏名以外ノ氏名ヲ冠シ又ハ著作ノ氏名ヲ冠セズシテ出版セラレタル著作物ニ關シテハ發行者ニ於テ若シ又發行者ノ氏名ナキトキハ出版者ニ於テ著作ノ權利ヲ保全スルコトヲ得

第十條 著作ノ權利ハ其ノ相續人ニ移轉ス

相續ガ法律ニ基キ國庫若ハ其ノ他ノ法人ニ移ル場合ハ被相續人 (de cuius) ニ屬スル權利ハ其ノ死亡ト俱ニ消滅ス右ノ權利ハ制限ヲ附シ若ハ附セズシテ第三者ニ移轉スルコトヲ得移轉ハ之ヲ一定ノ地域ニ限定スルコトヲ得著作物ノ讓渡ハ反對ノ契約ナキ限り著作權ノ讓渡ヲ包含セズ

第十一條 著作ハ新聞紙、雜誌、其ノ他ノ定期刊行物上ニ公ニスル爲ニ受諾シタル著作物ヲ自由ニ處分スルノ權利ヲ保有ス但シ四圍ノ事情ニ依リ出版者ガ右著作物ヲ複製及頒布スルノ特權ヲ獲得スルモノト看做サルコト明白ナル場合ハ此ノ限ニアラズ

出版者ガ右ノ著作物ヲ複製及頒布スルノ特權ヲ獲得シタル場合ハ著作者ハ反對ノ契約ナキ限り右著作物ヲ其ノ發行ノ年ノ終末ヨリ計算シテ一年ヲ經過シタル後ニ自由ニ處分スルコトヲ得ルモノトス

右ノ時効ハ定期刊行物ナラザル編輯物中ニ掲ゲラレタル著作物ニ之ヲ適用ス但シ著作者ハ其ノ著作物ニ對スル報酬ニ付何等ノ權利ヲ有セザルコトヲ要ス

第十二條 著作ノ權利ノ移轉セル場合讓受人ハ移轉セラレタル權能ノ行使ニ際シ反對ノ契約ナキ限り著作物自體、其ノ題號若ハ著作者ノ名稱ニ對シ變更ヲ加フルノ權利ヲ有セザルモノトス著作權者ガ善意ヲ以テ其ノ同意ヲ拒絕スル能ハザル變更ハ之ヲ許スモノトス

第十三條 第三者ハ著作者ノ同意ナキ限り著作者ノ氏名若ハ符號ヲ著作物上ニ記入スルコトヲ得ズ

第十四條 著作者ノ權利ハ著作者ノ許諾ナキ場合著作者自身ヲ對象トスル強制執行手續ノ目的トナルコトヲ得ズ此ノ許諾ハ法定代理人之ヲ與フルコトヲ得ザルモノトス

著作者ノ相續人ニ對スル強制執行ハ著作物若ハ其ノ複製物ガ發行セラレタル場合ヲ除キ相續人ノ同意ナクシテ之ヲ行フコトヲ得ズ

同様ノ規定ハ專ラ著作物ノ複製ヲ目的トスル鑄型、版、石版石其ノ他ノ器具ヲ對象トスル強制執行ニ之ヲ適用ス

## 第二章 著作者ノ權利

第十五條 著作者ハ著作物ヲ複製シ業トシテ頒布シ機械的若ハ光學的裝置ヲ用キテ業トシテ展覽ニ供スル (Vortragen) ノ特權ヲ有ス右ノ特權ハ貸與ヲ包含セズ單ナル模寫 (Nachbildung) モ亦複製ト看做ス建築著作物及同著作物ノ爲ノ下圖ニ關スル場合模寫的建築ニ付亦同ジ

既ニ存スル著作物ノ模寫ニ依リ別個ノ造形美術的若ハ寫眞的著作物ヲ創造スルモノハ何人ト雖モ第一項ニ掲グル權利ヲ有ス尤モ原著作物ノ著作者モ亦原著作物ノ保護ヲ享有スル場合ハ該著作者ノ同意ナクシテ右ノ權利ヲ行使スルヲ得ザルモノトス

第十五條ノ二 活動寫眞術若ハ之ト類似ノ方法ニ依リ製作セラレタル著作物ガ演出裝置若ハ表現セラレタル事件ノ結合ニ依リ原著作物ト看做サルベキ場合ハ著作權ハ右ノ表現セラレタル筋ノ改變セル形式ニ依リ造形的製作ニ及ブ著

作者ハ其ノ著作物ヲ公ニ展覽ニ供スルノ特權ヲ有ス

第十六條 著作物ノ自由利用ハ之ガ原著物創造ノ起緣タル場合ハ適法トス

第十七條 方法ノ如何ヲ問ハズ著作權者ノ許諾ナクシテ行ハレタル一切ノ複製ハ違法トス著作物ノ複製ガ一部ナルカ數部ナルカハ問ハザルモノトス

第十八條 個人的使用ヲ目的トシ且無償ニテ行ハレタル複製ハ適法トス尤モ建築著作物ノ範圍ニ於ケル複製ハ之ヲ除ク

肖像ニアリテハ之ヲ註文シタル者及其ノ權利承繼人ハ反對ノ契約ナキ限り該著作物ヲ複製スルヲ得肖像ガ造形美術的著作物ナル場合ハ第一項ノ制限内ニ於テ寫眞術ニ依ルニ非ザレバ著作物ノ生存中ハ之ヲ複製スルコトハ適法ナラザルモノトス

複製物ニ原著物ノ著作物ノ氏名若ハ其ノ他ノ表示ヲ記入シ混同ヲ生ズルガ如キ事態ヲ惹起スルヲ得ズ

第十九條 單獨ノ著作物ガ本文ヲ説明セントスル唯一ノ目的ヲ以テ獨立ノ學術的勞作物又ハ學校用若ハ教育用ニ充テラレタル文書中ニ挿入セラルル場合ニ於テハ其ノ複製及頒布ハ適法トス此ノ權能ハ未ダ恒久的ニ發行セラレズ若ハ公ニ展覽ニ供セラレザル著作物ニ及バズ

右ノ如ク他人ノ著作物ヲ利用スル者ハ何人ト雖モ出所ガ著作物ニ示サレタル場合ハ之ヲ明示スルヲ要ス

第二十條 道路及廣場ニ固定セル著作物ヲ油繪若ハ素描術又ハ寫眞術ニ依リ複製スルコトハ適法トス該複製物ハ建築著作物上ニ附屬セシムルコトヲ得ズ

建築著作物ノ複製ノ權能ハ同著作物ノ外觀以外ニ及ブコトナシ

本法ノ許容スル複製物ノ頒布及展覽モ亦適法トス

第二十一條 第十九條及第二十條ニ定ムル他人ノ著作物ノ複製ハ複製セラレタル著作物ニ何等ノ變更ヲモ加ヘザル條件ニ限り適法トス尤モ著作物ヲ別個ノ大キサヲ以テ複製スルコト竝ニ複製方法ノ齎ス變更ヲ之ニ加フルコトヲ得

第二十二條 肖像ハ當人ノ許諾ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ公ニ頒布若ハ展覽ニ供スルヲ得ズ疑ヒアル場合ハ當人ガ「モデル」ニ立チタル爲ニ報酬ヲ得タルトキハ右ノ許諾ガ與ヘラレタルモノト看做ス當人ノ死後ニ於テハ十年ヲ經過スル迄其ノ近親ノ許諾ヲ必要トスベシ本法ノ上ニ於テハ當人ノ遺配偶者及遺兒ヲ以テ又配偶者、子ナキトキハ其ノ父母ヲ以テ近親ト看做ス

第二十三條 左ニ掲グルモノハ第二十二條ニ定ムル許諾ナクシテ頒布シ及展覽ニ供スルヲ得ベシ

- 一 現代史ノ領域ニ屬スル肖像
  - 二 人物ガ單ニ風景若ハ何等カノ場所ノ附屬トシテ現ルル畫
  - 三 當人ガ參加シタル集合、行列、其ノ他之ト類似ノ出來事ヲ表現スル畫
  - 四 註文ニ依ラスシテ製作セラレタル肖像但シ其ノ頒布及展覽ガ美術上ノ高尚ナル利益ニ役立ツコトヲ要ス
- 然レドモ右ノ權能ハ「モデル」ノ正當ナル利益又ハ「モデル」死亡セルトキハ其ノ近親ノ正當ナル利益ヲ害スルオソレアル場合ハ肖像ノ頒布及展覽ニ及バザルモノトス

第二十四條 司法及公安ノ行政ニ關スル場合ハ官廳ハ著作權者若ハ當人又ハ其ノ近親ノ同意ナクシテ肖像ヲ複製シ公ニ頒布シ及展覽ニ供スルコトヲ得

### 第三章 保護ノ期間

- 第二十五條 造形美術的著作物ノ著作権ノ保護ハ著作物ノ死後五十年ヲ以テ滿了ス  
著作権ガ第五條及第六條ニ基キ法人ニ屬スル場合ハ保護ハ著作物ノ發行ノ日ヨリ五十年ヲ以テ滿了ス尤モ著作物ガ著作物ノ死後初メテ發行セラレタル場合ハ保護ハ第一項ニ定ムル期間ヲ以テ滿了ス
- 第二十六條 寫眞的著作物ノ著作権ノ保護ハ著作物ノ發行ノ日ヨリ二十五年ヲ以テ滿了ス尤モ著作物ガ著作物ノ死亡前ニ發行セラレザル場合ハ保護ハ其ノ死亡ノ日ヨリ二十五年ヲ以テ滿了ス
- 第二十七條 著作物ノ著作権ガ數人ノ共同著作物ノ共有ニ屬スル場合保護期間ノ滿了ハ著作物ノ死亡ニ依ルトキハ最後ニ生キ殘レル者ノ死亡ヲ以テ決定セラレベシ
- 第二十八條 期間ヲ置キテ發行セラルル若干部分ヨリ成ル著作物竝ニ一組ツツ發行セラルル紙片若ハ帳面ニ關シテハ各部分、各紙片若ハ各帳面ハ期間ノ計算ニ付之ヲ獨立ノ著作物ト看做ス  
冊號ヲ追ヒ發行セラルル著作物ニ關シテハ期間ハ最終ノ分本ノ發行ノ日ヨリ之ヲ起算ス
- 第二十九條 期間ハ著作物ノ死亡ノ年若ハ著作物ノ發行ノ年ノ末ヨリ之ヲ起算ス
- 第三十條 本法ニ依リ許與セララルル保護ガ著作物ガ發行セラレタル事實ニ依據スル場合ニ於テハ著作権者ノ實行シタル發行ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

### 第四章 著作権ノ侵害

- 第三十一條 何人ト雖モ故意若ハ過失ニ依リ著作物ノ特權ヲ侵害シテ著作物ノ複製、頒布ヲ業トシ又ハ機械的若ハ光學的裝置ヲ以テスル展覽ヲ業トスルモノハ著作権者ノ損害ヲ賠償スルノ責ニ任ズ公ノ展覽ガ活動寫眞術若ハ之ト類似ノ方法ニ依リ行ハレタル場合ハ此ノ公ノ展覽ヲ職業的展覽ト看做ス
- 第三十二條 何人ト雖モ法律ノ認ムル以外ノ場合ニ於テ故意ニ且著作物ノ許諾ナクシテ著作物ノ複製、頒布ヲ業トシ又ハ機械的若ハ光學的裝置ヲ以テスル展覽ヲ業トスルモノハ三千「マルク」以下ノ罰金ニ處ス公ノ展覽ガ活動寫眞術若ハ之ト類似ノ方法ニ依リ行ハレタル場合ハ此ノ公ノ展覽ヲ職業的展覽ト看做ス  
著作權者ノ許諾ガ著作物自體、其ノ題號若ハ著作物ノ氏名ニ加ヘラレタル變更ニ對シ特ニ必要ナリシ場合ハ罰金ハ三百「マルク」以下トナスコトヲ得
- 罰金ガ完納スベカラザルガ故ニ禁錮ニ變更セラルベキ場合ハ禁錮ノ期間ハ第一項ニ定ムル場合ニ於テハ六月及第二項ニ定ムル場合ニ於テハ一月ヲ超ユルヲ得ザルモノトス
- 第三十三條 左ノ掲グル者ハ一千「マルク」以上ノ罰金ニ處ス  
一 何人ト雖モ第十八條第三項ノ規定ニ反シ且故意ニ著作物ノ著作物ノ氏名若ハ其ノ他ノ表示ヲ複製物上ニ記入スル者  
二 何人ト雖モ第二十二條及第二十三條ノ規定ニ反シ且故意ニ肖像ヲ頒布シ若ハ公ノ展覽ニ供スル者  
罰金ガ完納スベカラザルガ故ニ禁錮ニ變更セラルベキ場合ハ禁錮ノ期間ハ二月ヲ超ユルヲ得ザルモノトス
- 第三十四條 何人ト雖モ第十三條ノ規定ニ反シ且故意ニ著作物上ニ著作物ノ氏名若ハ符號ヲ記入スル者ハ三百「マルク」以下ノ罰金ニ處ス



罰金が完納スベカラザルガ故ニ禁錮ニ變更セラレベキ場合ハ禁錮ノ期間ハ一月ヲ超ユルヲ得ザルモノトス

第三十五條 裁判所ハ被害者ノ請求ニ基キ罰金ノ外ニ賠償金(Damages)トシテ六千「マルク」以下ノ金額ヲ被害者ニ對シ支拂フベキコト及其ノ宣告ヲ受ケタルモノハ連帶債務者トシテ支拂ノ責ニ任ズベキコトヲ宣告スルヲ得ルモノトス賠償金ノ宣告アリタルトキハ爾後損害賠償ニ關スル一切ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十六條 第三十一條及第三十二條ニ指示シタル行爲ハ著作物ガ單ニ一部ニ付複製、頒布セラレ及展覽ニ供セラレタル場合ト雖モ違法トス

第三十七條 違法ニ製作、頒布セラレ若ハ展覽ニ供セラレタル印本竝ニ鑄型、版、石版石ノ如キ專ラ違法ノ複製若ハ展覽ノ用ニ供セル器具ハ之ヲ破毀スベシ違法ニ頒布セラレ若ハ展覽ニ供セラレタル肖像竝ニ之ガ複製ノ用ニ供セル器具ニ付亦同ジ單ニ著作物ノ一部ガ違法ニ製作、頒布セラレ若ハ展覽ニ供セラレタル場合ハ破毀ハ右ノ部分及之ヲ複製スルノ用ニ供セル器具ニ限り行ハルベキモノトス

右ノ破毀ハ著作物ノ製作、頒布、公ノ展覽若ハ陳列ニ參與シタル人物若ハ其ノ相續人ノ所有物タル一切ノ印本及器具ニ及ブモノトス

右ノ破毀ハ著作物ノ製作、頒布、公ノ展覽若ハ陳列ヲ爲シタル者ニ於テ犯罪ノ意圖ナク且過失ナカリシ場合ト雖モ之ヲ宣言スベキモノトス製作行爲ガ未ダ完了セザル場合亦同ジ

右ノ所有者ニ對シ宣告セラレタル判決ガ執行力ヲ發生シタル後直チニ破毀ヲ行フモノトス同人ガ費用ヲ負擔スル場合ハ印本及器具ハ破毀以外ノ方法ニ依リ之ヲ廢止スルヲ得ベシ  
前掲ノ諸規定ハ建築著作物ニ之ヲ適用セズ

第三十八條 被害者ハ偽作ノ印本及器具ノ破毀ニ代ヘテ最高額製作費ノ總額ニ等シキ公正ナル賠償金ト引換ヘニ其ノ全部若ハ一部ノ讓受ヲ請求スルコトヲ得

第三十九條 第三十七條第一項ニ基キ編輯著作物若ハ若干ノ著作物ヲ結合シテ構成シタル叢書ガ其ノ一部ニ限り破毀セラレベキ場合ニ於テハ破毀ニ服スベキ印本ノ所有者ハ被害當事者ニ對シ賠償ヲ支拂ヒテ其ノ破毀ヲ免レ且右印本ノ頒布ヲ業トスルノ權能ヲ認メラレンコトヲ請求スルヲ得該請求ハ所有者ガ故意ニ若ハ過失ニ依リ著作物ノ特權ヲ侵害シタルトキハ之ヲ受理シ得ザルモノトス

裁判所ハ破毀ガ適當ノ損失ヲ所有者ニ蒙ラシムベキ場合ハ右ノ請求ヲ承認スルコトヲ得然ルトキ裁判所ハ公正ニ情狀ヲ酌量シテ賠償額ヲ決定スルモノトス

右ノ諸規定ハ第二十二條及第二十三條ノ規定ニ反シテ頒布セラレ若ハ展覽ニ供セラレタル肖像ノ破毀ニハ適用セズ  
第四十條 何人ト雖モ第十九條第二項ニ反シ利用シタル出所ノ明示ヲ怠リタル者ハ百五十「マルク」以下ノ罰金ニ處ス  
第四十一條 第三十二條、第三十三條及第四十條ニ定ムル場合ニ於テハ告訴ヲ待テ之ヲ起訴スルモノトス告訴ハ之ヲ取下グルヲ得ベシ

第四十二條 印本及器具ノ破毀ハ民事訴訟若ハ刑事訴訟ニ依リ之ヲ請求スルヲ得ベシ  
第四十三條 印本若ハ器具ノ破毀ハ著作權者ノ特別ノ告訴ニ依ルニ非ザレバ刑事訴訟ニ於テ之ヲ宣告スルヲ得ザルモノトス尤モ告訴ハ破毀ノ時迄之ヲ取下グルコトヲ得ベシ

被害者ハ單獨ノ訴訟ニ於テ印本若ハ器具ノ破毀ヲ請求スルコトヲ得其ノ場合ニ於テハ被害者ガ自ラ民事原告人ヲ以テ任ズルヲ得ベキ意味ニ於テ刑事訴訟法第四百七十七條乃至第四百七十九條ヲ適用スベキモノトス

第四十四條 第三十八條ニ依リ認メラルル權利ヲ主張スル場合ハ第四十二條及第四十三條ヲ準用スベシ

第四十五條 破毀ノ訴訟ガ既ニ開始セラレタルトキハ第三十九條ニ掲グル請求ハ同訴訟中ニ之ヲ表明スルコトヲ要ス  
訴訟ガ未ダ繫屬中ナラザルトキハ印本破毀ノ請求ニ關スル管轄裁判所ニ對スル民事訴訟ニ依ルニ非ザレバ右ノ請求ヲ提出スルヲ得ズ

所有者ハ假處分ニ依リ保證金ヲ供託シテ破毀ヲ免レ且業トシテ印本ヲ頒布スルヲ得處分ガ民事訴訟ニ依リ行ハルベキ場合ハ假命令ニ關スル規定ヲ適用スベキモノトス

所有者ガ被害當事者ニ對シ賠償金ヲ支拂ヒテ破毀ヲ避ケ且業トシテ印本ヲ頒布スルノ權能ヲ裁判所ヨリ與ヘラレザル場合ニ於テ所有者ガ假處分ニ基キ既ニ印本ヲ頒布シタルトキハ被害當事者ニ對シ損害賠償ヲ行フベキモノトス  
裁判所ハ公正ニ情狀ヲ酌量シテ右賠償金ノ額ヲ定ムルモノトス

第四十六條 各聯邦ニ裁判所及檢事ノ請求ニ基キ諮問ヲ受ケタル問題ニ付意見ヲ呈スル義務ヲ負フ專門家會ヲ設置スルモノトス

專門家會ハ當事者ノ請求ニ基キ損害賠償ノ要求、印本若ハ器具ノ破毀竝ニ第三十八條ニ依リ附與セラルル權利ノ認定ニ付仲裁判斷人トシテ協議判定スルヲ得

帝國總理大臣ハ專門家會ノ組織及職務ニ關スル規定ヲ制定スルモノトス

右專門家會ノ會員ハ會員ノ同意及會長ノ許可ナクシテ專門家トシテ裁判所ノ諮問ヲ受クルコトヲ得ズ

第四十七條 偽作行爲ニ對スル損害賠償ノ訴訟及刑事訴訟ノ時効ハ三年ヲ以テ完成ス

時効ハ複製ノ完了シタル日ヨリ之ヲ起算ス複製ガ印本ノ頒布ヲ目的トシテ行ハレタル場合ハ時効ハ印本ノ毀布ガ開

始セラレタル日ヲ以テ之ヲ起算スベシ

第四十八條 著作物ノ頒布若ハ展覽ノ違法行爲ニ對スル損害賠償ノ訴訟及刑事訴訟竝ニ肖像ノ違法ノ頒布若ハ違法ノ公ノ陳列ニ對スル刑事訴訟ノ時効ハ三年ヲ以テ完成ス

時効ハ最終ノ違反行爲ガ完了シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第四十九條 第四十條ニ基キテ罰スベキ行爲ノ時効ハ第一頒布ノ行ハレタル日ヨリ之ヲ起算ス

第五十條 印本及器具ノ破毀ニ關スル請求ハ此ノ種ノ印本若ハ器具ノ存スル限り之ヲ受理スベシ

## 第五章 終局規定

第五十一條 帝國國民ハ其ノ一切ノ著作物ニ付公ニセラレタルト否トヲ問ハズ著作權者ニ附與セラレタル保護ヲ享有ス帝國ニ屬セザル者ハ「ドイツ」領内ニ於テ公ニセラレタル著作物ノ各ニ付保護ヲ享有ス但シ其レ以前ニ外國ニ於テ著作物ヲ公ニセシメタル場合ハ此ノ限ニアラズ

第五十二條 訴訟若ハ反訴ヲ以テ本法ニ基キ權利ヲ主張スル民事訴訟ニ於テハ裁判所構成法施行法第八條ノ規定ニ依ル終審ノ審議及判決ハ之ヲ帝國裁判所ニ附託ス

第五十三條 本法實施ノ際ニ於ケル保護著作物ノ著作權者ノ特權ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ定ム本法ノ規定ハ其ノ實施ノ際ニ未ダ公ニセラレザル寫眞的著作物ニ對シ從前ノ保護期間ガ既ニ經過シタルトキト雖モ之ヲ適用ス

何人ト雖モ其ノ營業ニ於テ商品ノ指示、裝飾、若ハ廣告ノ爲本法ノ實施ニ先立テ著作物ヲ適法ニ利用シタルモノハ同様ノ目的ヲ以テ引續キ之ヲ利用スルヲ得ベシ

公ニセラレタル著作物ニシテ本法ノ實施ニ先立テ機械的若ハ光學的裝置ヲ用キテ業トシテ展覽ニ供セラレタルモノハ許可ナキ展覽ニ對シテ保護ヲ享有セズ

第五十四條 本法ニ依リ違法ヲ宣セラレタル複製ニシテ其レ以前ニ於テ認容セラレタル場合ハ鑄型、版、石版石ノ如キ現存ノ器具ハ三年ノ期間滿了迄尙之ヲ利用スルヲ得ベシ製作ガ開始セラレタル器具ハ之ト同一期間中ニ之ヲ完成シ且利用スルヲ得ベシ右ノ規定ニ基キテ製作セラレタル印本竝ニ本法實施以前ニ既ニ完成セル印本ノ頒布ハ之ヲ許ス

第五十五條 本法ハ千九百七年七月一日ヨリ之ヲ實施ス千八百七十六年一月九日附造形美術的著作物ノ著作權ニ關スル法律(帝國官報四頁參照)第一條乃至第十六條、第二十條及第二十一條竝ニ千八百七十六年一月十日附不法複製ニ對スル寫眞ノ保護ニ關スル法律(帝國官報八頁參照)ハ同日ヲ以テ其ノ效力ヲ失フ

○出版權ニ關スル法律(一九〇一年) 改正 一九一〇年五月二二日

第一條 著作者ハ文學的若ハ音樂的著作物ニ關スル出版契約ニ依リ出版者ニ對シ出版者ガ自己ノ爲ニ著作物ヲ複製及頒布スル爲著作物ヲ交付スル義務ヲ負フ出版者ハ右著作物ヲ複製及頒布スル義務ヲ負フ

第二條 契約期間中著作者ハ著作權期間中第三者ニ對シテ禁止セラレタル著作物ノ一切ノ複製及頒布ヲ爲サザルコトヲ要ス

然レドモ著作者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ引續キ著作物ヲ複製及頒布スルコトヲ得

- 一 他ノ國語若ハ他ノ方言ニ依ル翻譯物ノ形式ヲトル場合
  - 二 演劇ノ形式(物語ノ場合)若ハ物語ノ形式(演劇的著作物ノ場合)ヲトル場合
  - 三 編曲ノ形式(音樂的著作物ノ場合)ヲトル場合但シ編曲ハ單ナル拔萃又ハ他ノ旋法若ハ音域ヘノ移調ナラザルコトヲ要ス
  - 四 音ヲ機械的ニ複製スル爲ニ著作物ヲ利用スルコトヲ目的トスル場合
  - 五 活動寫眞術其ノ他之ト類似ノ方法ニ依リ原著作物ノ要素ヲ複製スル造形的製作ノ爲ニ著作物ヲ利用スルコトヲ目的トスル場合(文書若ハ圖解ノ場合)
- 著作者ハ著作物ガ出版セラレタル年ノ末日ヨリ起算シテ二十年ヲ經タル後ハ著作物ヲ其ノ全集版中ニ複製及頒布スルコトヲ得
- 第三條 編輯物中ニ挿入セル寄稿(Bericht)ニシテ之ニ付著作者ガ何等報酬請求權ヲ有セザルモノニ關シテハ著作者ハ右寄稿ガ出版セラレタル年ノ末日ヨリ起算シテ一年後ハ之ヲ別途ニ利用スルコトヲ得
- 第四條 出版者ハ單獨ノ著作物ヲ全集版若ハ編輯物中ニ利用シ又ハ全集版若ハ編輯物ノ一部ヲ分離シテ別ニ出版スルコトヲ得ズ尤モ出版者ハ著作權期間中何人ト雖モ許サレタル範圍内ニ於テ右ト同様ノ利用ヲ爲ス權限ヲ有ス
- 第五條 出版者ハ單ニ一回ノミノ出版(auflage)ヲ爲ス權利ヲ有ス數回ノ出版ヲ爲ス許可ヲ得タルトキ疑ヒアル場合ニ於テハ各出版毎ニ前版ニ對スルト同様ノ契約ヲ適用スルモノトス
- 部數ニ關シ契約ナキ場合ハ出版者ハ一千部製作スルコトヲ得複製ノ開始前ニ著作者ニ對シテ行ヒタル申告中ニ其レ以下ノ部數ヲ示シタルトキハ出版者ハ其ノ部數ノ他ハ製作スルコトヲ得ズ

第六條 慣例ノ餘部印本ハ適法ノ部數ニ算入セズ無料印本ニ付亦同ジ但シ其ノ部數ハ適法ノ部數ノ二十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

損害ヲ蒙リタル印本ノ代用若ハ補足ニ利用セラレザル餘部印本ハ出版者之ヲ頒布スルコトヲ得ザルモノトス

第七條 出版者ノ所藏ニ係ル印本ガ破損シタルトキハ出版者ハ之ヲ取替フルコトヲ得但シ前以テ其ノ旨ヲ著作者ニ豫告スルコトヲ要ス

第八條 反對ノ契約ナキ限り著作者ハ第二條乃至第七條ニ依リ出版者ノ利益ノ爲著作物ノ複製及頒布ヲ爲サザル義務ヲ負フ範圍内ニ於テ出版者ニ對シ著作物ヲ複製及頒布スル權利(出版權)ヲ附與スルヲ要ス

第九條 出版權ハ著作物ガ出版者ニ交付セラレタル時ニ發生シ契約ノ目的ヲナス諸關係ノ終止シタル時ニ消滅ス

出版者ハ出版權ノ保護上必要ナル限りニ於テ著作者及第三者ニ對シ著作權保護ノ爲ニ定メラレタル法律手段ヲトルコトヲ得

第十條 著作者ハ著作物ヲ複製ニ適スル狀態ニテ出版者ニ交付スル義務ヲ有ス

第十一條 完成シタル著作物ニ關シ出版契約アリタル場合ハ直チニ之ヲ交付スルコトヲ要ス

著作物ガ出版契約ノ締結後ニ產出セラレベキ場合ハ該著作物ノ交付ニ關スル期間ハ該著作物ノ所期ノ目的ニ基キ又右ニ關スル表示ナキトキハ著作者ガ其ノ手段ニ從ヒ勞作スルコトニ依リ著作物ヲ創作スルヲ得ベキ期間ニ基キ之ヲ計算スルモノトス交付ニ關スル右期間ノ決定ニハ契約締結ノ際出版者ガ知リタルカ若ハ當然知リタルベキ場合ノ外ハ著作者ガ其ノ他ノ領域ニ於テ企テタル勞作ハ之ヲ計算ニ入レザルモノトス

第十二條 著作者ハ複製ガ完了スル迄著作物ニ變更ヲ加フルコトヲ得出版者ハ新版ヲ製作スル以前ニ著作者ニ對シ著作物ニ變更ヲ加フル機會ヲ提供スルコトヲ要ス尤モ變更ハ出版者ノ正當ナル利益ヲ何等害セザル範圍内ニ於テ之ヲ許スモノトス

著作者ハ第三者ニ右ノ變更ヲ委任スルコトヲ得

著作者ハ複製ノ開始セラレタル後ニ通常ノ限度ヲ超ユル變改ニ着手スル場合ハ其レニ依リ生ズル費用ヲ償還スル義務ヲ負フ但シ發生シタル情狀ニ依リ其ノ變更ガ正當ト認メラルル場合ハ此ノ限ニアラズ

第十三條 出版者ハ著作物自體、其ノ題號若ハ著作者ノ表示ニ對シ何等ノ附加、削除其ノ他ノ改訂ヲ加フベカラズ然レドモ著作者ガ善意ニ依リ拒否スベカラザル變更ハ之ヲ許ス

第十四條 出版者ハ所期ノ目的ニ適スル慣例ノ方法ニ依リ著作物ヲ複製及頒布スル義務ヲ負フ出版者ハ出版業ノ慣例及習慣ヲ遵守シ且著作物ノ對象及内容ヲ考慮シテ印本ノ形式及外觀ヲ決定スルモノトス

第十五條 出版者ハ完全ナル著作物ヲ受取リタル後ニ於テハ其ノ複製ヲ開始スルモノトス著作物ガ一部分ツツ發行セラルル場合ハ出版者ハ著作者ヨリ一定ノ順序ニ從ヒ公表スベキ部分ヲ交付ヲ受ケタルトキハ直チニ其ノ複製ニ着手スルヲ要ス

第十六條 出版者ハ契約若ハ第五條ニ依リ製作ヲ許可セラレタル部數ノ製作ヲ爲ス義務ヲ負フ出版者ハ豫備部數ガ絶版セザル爲適當ノ時期ニ處置ヲ講ズベシ

第十七條 新版ノ製作ヲ許可セラレタル出版者ハ其ノ權利ヲ行使スル義務ヲ負ハザルモノトス該權利ノ行使ニ關シテ著作者ハ出版者ニ對シ公正ナル期間ヲ定ムルコトヲ得期間ノ滿了後出版ガ適當ノ時期ニ行ハレザリシ場合ハ著作者

ハ契約ヲ解除スルコトヲ得出版者ガ右版ノ製作ヲ拒否スルトキハ期間ヲ定ムルニ及バズ

第十八條 契約締結後ニ於テ著作物ノ發行ガ所定ノ目的ヲ最早實現スルヲ得ザルトキハ出版者ハ契約ヲ破棄スルヲ得報酬ヲ受クベキ著作物ノ權利ハ之ニ依リ害セラルルコトナシ

出版契約ガ編輯物ニ挿入セラルベキ著作物ニ關スル場合ニシテ且該編輯物ガ發行セラレザル場合ニ付亦同ジ

第十九條 編輯物ノ新印本ガ製作セララルトキハ出版者ハ發行者ノ同意ヲ得テ編輯物中ニ若干ノ著作物ヲ挿入セザルコトヲ得

第二十條 出版者ハ校正刷ヲ訂正スル義務ヲ負フ出版者ハ校正刷一部ヲ適宜ノ時ニ著作物ニ對シ校正ノ爲提出スルヲ要ス

著作者ガ情狀ニ適セル期間内ニ出版者ニ對シ異議ヲ提出セザリシトキハ校正刷ハ著作物ニ依リ是認セラレタルモノト看做ス

第二十一條 出版者ハ一切ノ版ニ付著作物ノ發賣セララルル型録値段ヲ決定スルモノトス出版者ハ著作物ノ正當ナル利益ヲ害セザル範圍内ニ於テ右ノ値段ヲ引下グルコトヲ得右ノ値段ヲ引上グル爲ニハ一切ノ場合ニ於テ著作物ノ同意ヲ要ス

第二十二條 出版者ハ著作物ニ對シ取極ノ印稅ヲ支拂フ義務ヲ有ス著作物ガ報酬ト引換ニアラザレバ交付スルヲ得ザルコトガ情狀ニ依リ明白ナル場合ハ印稅ハ暗黙裡ニ契約セラレタルモノト看做ス

印稅ノ總額ガ定メラレザル場合ハ金員ヲ以テスル適當ナル印稅ガ既ニ取極メラレタルモノト認ムルモノトス

第二十三條 印稅ハ著作物ガ交付セラレタル際ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス印稅ノ總額ガ決定セラレズ若ハ發行ノ範圍特

ニ枚數ニ依ル場合ハ著作物ガ複製セラレタル後直チニ之ヲ支拂フベキモノトス

第二十四條 印稅ガ實行ニ基キテ取極メララルル場合ハ出版者ハ前商業年度ニ關スル會計ヲ毎年著作物ニ提出シ又検査上必要ナル限りニ於テ其ノ帳簿ノ披見ヲ許スベシ

第二十五條 文學的著作物ノ出版者ハ百部ニ付一部ヲ無償ニテ著作物ニ交付スル義務ヲ負フ尤モ其ノ部數ハ最低五部最高十五部トスルモノトス同様ニ出版者ハ著作物ニ對シ其ノ請求ニ基キ上製一部ヲ交付スルヲ要ス

音樂的著作物ノ出版者ハ著作物ニ對シ無償ニテ慣例ノ部數ヲ交付スル義務ヲ負フ

編輯物中ニ掲ゲラルル著作物ニ關シテハ出版者ハ無償印本トシテ別刷ヲ交付スルコトヲ得

第二十六條 出版者ハ其ノ營業上ニ於テ行ハルル最低ノ賣價ニテ著作物ノ豫備印本ヲ著作物ニ對シ著作物ガ之ヲ請求スル限りニ於テ讓渡スルコトヲ要ス

第二十七條 出版者ハ著作物ヲ複製シタル後ハ其ノ原稿ヲ還付スル義務ヲ負フ但シ著作物ハ複製ノ開始前ニ其ノ還付ヲ留保シタルコトヲ要ス

第二十八條 出版者ノ權利ハ著作物及出版者間ノ取極ニ於テ讓渡性ヲ除外セザル限り之ヲ讓渡スルコトヲ得然レドモ出版者ハ著作物ノ同意ナキ場合ハ單獨ノ著作物ノミニ關スル契約ニ依リ其ノ權利ヲ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス右ノ同意ハ重大ナル理由ニ依ルニアラザレバ之ヲ拒否スルコトヲ得ザルモノトス出作者ガ著版者ニ對シ右ニ付釋明ヲ要求スル場合ニ於テ著作物ガ要求ヲ受ケタル後二月以内ニ出版者ニ對シ正式ノ拒否ヲ表明セザルトキハ右ノ同意ハ之ヲ許與シタルモノト看做ス

出版者ノ負擔スル著作物ノ複製及頒布ハ其ノ權利承繼人ニ於テ亦之ヲ行フコトヲ得出版者ニ對シ著作物ノ複製及頒

布ノ任ヲ負フ場合ハ權利承繼人ハ出版契約ニ依リ契約シタル一切ノ義務ヲ連帶債務者トシテ出版者ト共ニ著作權者ニ對シ負フベキモノトス然レドモ其ノ負擔ハ損害賠償ノ支拂ニ關スル既ニ確定セル義務ニハ及バズ

第二十九條 出版契約ガ一定ノ版數若ハ部數ニ限定セラルル場合ハ契約關係ハ其ノ版數若ハ部數ガ絶エタルトキニ於テ消滅ス

出版者ハ著作權者ニ對シ其ノ請求ニ基キ版數若ハ一定ノ部數ガ絶エタルヤ否ヤニ付届出ヅル義務ヲ負フ

出版契約ガ期限附ニテ締結セラレタル場合出版者ハ其ノ期限ノ滿了後ニ於テ尙存在スル印本ヲ頒布スルコトヲ得ズ

第三十條 著作物ノ全部若ハ一部ガ適當ナル時ニ交付セラレザル場合ハ出版者ハ契約ノ實施ヲ要求スル權利ヲ主張スル代リニ著作權者ニ對シ其ノ交付ニ付適當ナル期間ヲ定メ且其ノ期間ガ滿了シタルトキハ義務ノ引受ヲ拒否スベキ旨ヲ表明スルコトヲ得著作物ガ適當ナル時ニ交付セラレバカラザル結果ヲ生ズルトキハ著作物ガ契約ニ依リ交付セラレベキ時間以前ト雖モ出版者ハ直チニ右期間ヲ定ムルコトヲ得尤モ右期間ハ前記時期以前ニ消滅セザル様之ヲ計算スルコトヲ要ス該期間ガ滿了シ又著作物ガ適當ノ時ニ交付セラレザリシ場合ハ出版者ハ契約ヲ解除スル權利ヲ有ス然レドモ著作物ノ交付ヲ要求スル權利ヲ有セズ

著作物ヲ適當ノ時ニ産出スベカラザル場合若ハ著作權者ガ其ノ複製ヲ拒否スル場合又ハ契約ノ即時解除ガ出版者ノ特殊利益ニ依リ正當トセラルル場合ハ期間ノ決定ヲ要セザルモノトス

著作物ヲ適當ノ時ニ交付セザル行爲ガ出版者ニ對シ輕微ノ損害ヲ生ゼシムルニ止マル場合ハ解約ノ理由ナキモノトス

右ノ規定ハ著作權者ガ附連帶ニアルトキハ出版者ニ屬スル權利ヲ害スルコトナシ

第三十一條 前條ノ規定ハ著作物ガ契約ニ依リ必要ナル性質ヲ有セザル場合ニ於テ之ヲ準用ス

過失ガ著作權者ノ責ニ歸スベキ情狀ニ基ク場合ハ出版者ハ前條ニ定ムル解約ノ代リニ不履行ニ對スル損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條 著作物ガ契約通り複製若ハ頒布セラレザル場合ハ第三十條ノ規定ヲ著作權者ノ爲ニ準用ス

第三十三條 著作物ガ出版者ニ交付セラレタル後偶然ノ事故ニ依リ消滅シタル場合ハ著作權者ハ報酬ヲ要求スル權利ヲ保有ス尙又兩當事者ハ其ノ契約ヨリ免除セララル

然レドモ著作權者ハ殘存スル資料若ハ其ノ他ノ要綱ヲ以テ多大ノ勞苦ヲシテ再ビ之ヲ製作スルコトヲ得ル場合ハ別ニ本質的部分ニ於テ第一著作物ト同一ナル著作物ヲ出版者ノ請求ニ基キ公正ナル價金ヲ受ケテ交付スル義務ヲ負フ著作權者ガ之ト同様ノ著作物ヲ無償ニテ適當ノ期間内ニ交付スル申出ヲ爲シタル場合ハ出版者ハ消滅シタル著作物ノ代リニ之ヲ複製シ頒布スル義務ヲ負フ各當事者ハ著作物ガ交付セラレタル後ニ於テ他方當事者ノ責ニ歸スベキ情狀ノ結果消滅シタル場合ハ右權利ヲ等シク主張スルコトヲ得

出版者ガ著作物ノ引取ノ催告ヲ受ケタル事實ハ之ヲ交付ト看做ス

第三十四條 著作權者ガ著作物ヲ完成スル以前ニ死亡シ且又其著作物ノ一部分ガ既ニ出版者ニ交付セラレタルトキハ出版者ハ著作權者ノ相續人ニ届出ヲ爲シテ交付ヲ受ケタル部分ニ關スル契約ヲ維持スルコトヲ得

相續人ハ出版者ニ對シ前項ニ定ムル權利ノ行使ニ付適當ノ期間ヲ決定スルコトヲ得出版者ガ其ノ期間ノ滿了以前ニ契約ヲ維持スル意志ヲ届出デザルトキハ右權利ハ消滅ス

右ノ規定ハ著作權者ノ責ニ歸スベカラザル其ノ他ノ情狀ノ結果著作物ヲ完成スルヲ得ザル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條 著作者ハ複製ノ既ニ開始セララル迄ハ契約締結ノ際ニ豫知スベカラズ且又著作者ガ事態ヲ一層良好ニ認識シ批判シ得タリトセバ著作物ノ發行ヲ斷念セザルヲ得ザルベキ情狀ニ依リ契約ヲ解除スルコトヲ得出版者ガ新版ヲ製作スル權利ヲ有スル場合ハ本規定ヲ右新版ニ準用ス

著作者ガ前項ニ依リ契約ヲ解除スル場合ハ出版者ニ惹起シタル費用ヲ償還スル義務ヲ負フ著作者ハ解除ノ日ヨリ一年以内ニ他所ニ於テ著作物ヲ出版スル場合ハ契約不履行ニ對スル損害賠償ノ責ヲ負フ但シ著作者ガ出版者ニ對シ其ノ後ニ於テ契約ノ履行ヲ申出デ出版者ガ其ノ申出ヲ拒否シタル場合ハ此ノ限ニアラズ

第三十六條 出版者破産シタル場合ハ著作物ガ其ノ手續開始前ニ既ニ交付セラレタル場合ト雖モ破産法第十七條ノ規定ヲ適用ス

破産管財人ガ契約ノ履行ヲ要請シ且又契約ニ基ク權利ヲ第三者ニ讓渡スルトキハ讓受人ハ契約ニ依リ課セラレタル義務ニ付財團ニ代ルモノトス然レドモ財團ハ讓受人側ニ於ケル右義務ノ不履行ノ場合ハ讓受人ノ補償スベキ損害ニ對シ責ニ任ズルモノトス右ハ檢索ノ利益ヲ拋棄シタルベキ保障タルモノトス破産手續ノ終結ノ場合ハ右ニ付責ニ任ズベキ財團ニ對シ著作者ノ主張スルヲ得ル權利ハ之ヲ保障スベシ

手續開始ノ際ニ著作物ノ複製ガ未ダ開始セラレザリシトキハ著作者ハ契約ヲ解除スルコトヲ得

第三十七條 契約ニ依リ解除權ニ關スル民法第三百四十六條乃至第三百五十六條ノ規定ハ第十七條、第三十條、第三十五條及第三十六條ニ定ムル解除權ニ之ヲ準用ス解除ガ他當事者ノ責任ニ非ザル情狀ニ依リ生ジタル場合ハ其ノ者ハ不當利得返還ニ關スル規定ノ制限内ノ外ハ責ヲ負ハザルモノトス

第三十八條 解除ガ法律ニ依ルト契約約款ニ依ルトヲ問ハズ著作物ノ全部若ハ一部ノ交付後ニ於テ行ハレタルトキハ

契約ノ部分的維持ハ情狀ニ基クモノトス

疑アル場合ハ契約ハ出版者ガ最早處分スルヲ得ザル印本、著作物中ノ以前ノ部分若ハ既ニ公ニセラレタル版ニ及ブ限リニ於テ存積スルモノトス

契約ガ維持セララル範圍内ニ於テ著作物ハ報酬ノ中之ニ相當スル部分ヲ請求スルコトヲ得

右ノ規定ハ契約ガ其ノ他ノ方法ニ依リ解除セラレタル場合亦之ヲ適用ス

第三十九條 著作權ノ存セザル著作物ニ關シ契約ガ締結セラレタルトキハ著作者ハ出版者ニ對シ出版權ヲ獲得セシムル義務ヲ有セズ

然レドモ著作者ニシテ右著作物ガ既ニ他處ニ於テ出版又ハ公表セラレタルコトヲ詐欺ニ依リ秘スル場合ハ權利ノ瑕疵ヲ保障スル販賣者ノ義務ニ關スル民法ノ規定ニ準用セシムルコトヲ要ス

著作者ハ第二條ノ規定ニ從ヒ(恰モ著作權ノ存スル如ク看做シ)右著作物ノ複製及頒布ヲ爲サザルコトヲ要ス本制限ハ出版者ニ依ル右著作物ノ發行ノトキヨリ六月後ニ廢止セララルモノトス

第四十條 前條ニ定ムル場合ニ於テハ一切ノ第三者同様出版者ハ自己ノ發行シタル著作物ヲ變更ヲ加ヘズ若ハ形式ヲ變更シテ再ビ複製スル權利ヲ保有ス本規定ハ新版其ノ他ノ印本ノ製作ガ契約ニ從ヒ特別報酬ノ支拂ニ依ル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十一條 第四十二條乃至第四十六條ノ反對規定ノ制限内ニ於テ本法ハ勞作物ガ新聞紙、雜誌其ノ他ノ定期編輯物中ニ公表スルコトヲ目的トシテ引受ケラレタル場合亦之ヲ適用ス

第四十二條 著作者ハ其ノ勞作物ヲ自由ニ處分スル權利ヲ保有ス但シ出版者ガ著作物ヲ複製及頒布スル特權ヲ取得ス

ルト看做サルル事由アル場合ハ此ノ限ニアラズ

出版者ガ右ト同様ノ勞作物ヲ複製及頒布スル特權ヲ取得シタルトキハ著作人ハ發行ガ行ハレタル年ノ末ヨリ起算シテ一年後ヨリ及勞作物ガ新聞紙ノ爲ニ交付セラレタル場合ハ發行後直チニ自由ニ之ヲ處分スルコトヲ得ベシ

第四十三條 公ニセラルベキ勞作物ヲ包含スル編輯物ノ部數ニ關シテハ出版者ニ對シ何等ノ制限ヲ加フルコトナシ第二十條第一項ノ第二段ハ適用スベカラズ

第四十四條 勞作物ガ著作人ノ氏名ヲ掲ゲズシテ公表セラルルトキハ出版者ハ同種類ノ編輯物ニ慣習上加ヘラルル變更ヲ其ノ本文ニ對シ加フルコトヲ得

第四十五條 勞作物ガ出版者ニ交付後一年以内ニ發行セラレザル場合ハ著作人ハ契約ノ解除ヲ通告スルコトヲ得著作人ノ報酬請求權ハ之ガ爲ニ害セラルルコトナシ

出版者ガ著作人ニ對シ其ノ勞作物ヲ公表スベキコトヲ決定シタル場合ニ限り著作人ハ其ノ勞作物ノ複製及頒布若ハ報酬ノ請求權ヲ主張スルコトヲ得

第四十六條 勞作物ガ新聞紙ニ掲ゲラルル場合ハ著作人ハ其ノ無償印本ヲ要求スルコトヲ得ズ

出版者ハ出版者間ニ於テ決定セル價格ニ依リ印本ヲ著作人ニ讓渡スル義務ヲ有セズ

第四十七條 委任者ガ勞作物ノ内容並ニ主題ノ取扱方法ヲ精確ニ指定セル案ニ依リ或者ガ勞作物創作ノ任ヲ引受ケタル場合委任者ハ疑アル場合ハ右著作物ヲ複製若ハ頒布スル義務ヲ有セズ

著作人ノ仕事ノ本質ガ單ニ百科全書的企畫ニ對スル協力若ハ他人ノ勞作物若ハ編輯物ニ對スル補助的若ハ補足的勞作ニ存スル場合亦同ジ

第四十八條 本法ノ規定ハ出版者ト契約ヲ締結シタル者ガ勞作物ノ著作人ニアラザル場合亦之ヲ適用ス

第四十九條 訴訟若ハ反訴ニ依リ本法ニ基キ權利ヲ主張スル民事訴訟ニ於テハ裁判所構成法施行法第八條ノ意味ニ於ケル終審ノ訴訟手續及決定ハ帝國大審院ニ之ヲ附託ス

第五十條 本法ハ千九百二年一月一日ヨリ之ヲ實施ス



フランス共和国

○千七百九十一年一月十三日—十九日ノ緊急命令

—劇場及脚本ノ上演權並ニ音樂的著作物ノ演奏權

第一條 一切ノ公民ハ劇場ノ設立ニ先立テ其ノ場所ノ市町村役場ニ前以テ届出ヅルコトニ依リ公開ノ劇場ヲ設立シ一切ノ種類ノ脚本ヲ上演セシムルコトヲ得ベシ(一)

第二條 死亡シテ五年(二)以上ヲ經タル著作物ノ著作物ハ公有物ニシテ一切ノ舊特權ハ之ヲ廢止シ差別ナクアラユル劇場ニ於テ上演スルコトヲ得

第三條 現存著作物ノ著作物ハ著作物ノ正式ニシテ文書ヲ以テセル同意アルニ非ザレバ「フランス」ノ全領土内ニ於ケル如何ナル公開ノ劇場ニ於テモ之ヲ上演スルコトヲ得ズ然ラザレバ其ノ興行ノ總收入ハ著作物ニ沒收セラル

第四條 第三條ノ規定ハ舊規定ノ如何ヲ問ハズ既ニ上演セラレタル著作物ニ之ヲ適用ス但シ俳優及現存シ若ハ死亡シテ五年(二)ヲ經ザル著作物間ニ證書ヲ取交シタルコトアルベキトキハ此ノ證書ヲ實行スルモノトス

第五條 著作物ノ相續人若ハ譲受人ハ著作物ノ死後五年間(二)其ノ著作物ノ所有權者タルベシ

註 (1)本條ニ規定スル劇場ノ自由ハ千八百六十六年六月八日ノ勅令ニ依リ禁止セラレ、其後千八百六十四年一月六日ノ命令ニ依リ復活セラレタリ

(2)本條ニ規定セラレタル所有權ノ存續期間ハ千八百四十四年八月三日、千八百五十四年四月八日ト逐次改正ヲ受ケ千八百六十六年七月十四日ノ命令ヲ以テ五十年ト規定セラレタリ

○千七百九十一年七月十九日—八月六日ノ緊急命令

—劇場及脚本ノ上演權並ニ音樂的著作物ノ演奏權

第一條 興行物ニ關スル去ル一月十三日ノ命令第三條及第四條ノ規定ニ從ヒ現存著作物ノ著作物ハ同期日以前ニ上演セラレタルモノト雖モ又版刻若ハ印刷セラレタルト否トニ拘ラズ著作物又ハ著作物ノ死後五年未滿ノ著作物ニ付テハ其ノ相續人若ハ譲受人ノ正式ニシテ文書ヲ以テスル同意アルニ非ザレバ王國ノ全領土内ニ於ケル何レノ公開的劇場ニ於テモ之ヲ上演スルコトヲ得ズ然ラザレバ著作物又ハ其ノ相續人若ハ譲受人ノ利益ノ爲ニ其ノ興行ノ總收入ハ沒收セラレベシ

第二條 著作物ト興行者トノ間ノ契約ハ完全ニ自由ニシテ市町村吏員其ノ他如何ナル官吏モ前記ノ著作物ニ課税シ又ハ協定シタル價格ヲ輕減若ハ増加スルコトヲ得ザルベシ且著作物若ハ其ノ權利承續人ト興行者トノ間ニ協定セラレタル著作物ノ報酬ハ興行者ノ債權者之ヲ差押ヘ又ハ差止ムルコトヲ得ザルベシ

○千七百九十三年九月一日ノ緊急命令

—劇場及脚本ノ上演權並ニ音樂的著作物ノ演奏權

第一條 國民議會ハ演劇脚本ニ關スル千七百九十二年八月三十日ノ法律ヲ廢止ス

第二條 千七百九十一年一月十三日及七月十九日並ニ千七百九十三年七月十九日ノ各法律ハ其ノ一切ノ規定ヲ前記著作物ニ適用ス

第三條 興行物ノ取締ハ引續キ市町村ニ專屬スベシ興行者若ハ其ノ社員ハ一冊ノ帳簿ヲ備付ケ各脚本ノ上演回数ヲ證明スル爲演ゼラルル脚本ヲ上演ノ都度之ニ記入シ且係警察官ヨリ檢印ヲ受クルノ義務ヲ有スルモノトス

○千七百九十三年七月十九日—二十四日ノ緊急命令(千九百二年三月十一日ノ法律ニ依リ補足)

— 著作者、作曲家、畫家及圖案家ノ所有權

第一條 一切ノ種類ノ文書ノ著作者、作曲家、建築家、彫像家、繪畫若ハ圖案ヲ版刻セシムル畫家及圖案家ハ其ノ生存間共和國ノ領土内ニ於テ其ノ著作物ヲ販賣シ販賣セシメ頒布スルノ特權ヲ有シ且其ノ全部又ハ一部ノ所有權ヲ讓渡スルノ特權ヲ有スルモノトス

著作物ノ價值及用途ノ如何ヲ問ハズ前項ノ權利ハ裝飾的彫刻家及裝飾的圖案家ニモ屬スルモノトス

第二條 著作者ノ死後ニ於テハ其ノ相續人若ハ讓受人ハ十年間(一)右ト同様ノ權利ヲ享有ス

第三條 治安官(2)ハ著作者、作曲家、畫家若ハ圖案家及其ノ他ノ者、其ノ相續人若ハ讓受人ノ請求ニ基キ其ノ利益ノ爲ニ著作者ノ正式ニシテ文書ヲ以テセル許可ナクシテ印刷又ハ版刻セラレタル出版物ノ一切ノ印本ヲ押收セシムルノ義務ヲ有スルモノトス

第四條

第五條

第六條

第七條 文學的若ハ版刻的著作物又ハ其ノ他美術ニ屬スル一切ノ精神的若ハ天才的著作物ノ著作者ノ相續人ハ十年間

(5)其ノ著作物ノ排他的所有權ヲ享有スルモノトス

註 (1)本條ニ規定セラレタル期間ハ其ノ後千八百十年二月五日ノ命令、千八百五十四年四月八日ノ命令ヲ以テ逐次改正ヲ受ケ、千八百六十六年七月十四日ノ法律ニヨリ五十年ト規定セラレタリ

(2)共和曆三年草月二十五日(千七百九十五年六月十三日)ノ命令ニ依リ「警察官及警察官オラザル所ニ於テハ治安裁判官」ト改正セラレタリ

(3)本條ハ偽作者及偽作物ノ販賣人ニ關シ眞實ノ著作者ニ對スル賠償金額ヲ規定セルモノニシテ、共ニ千八百十年ノ刑法第四百二十五條乃至第四百二十九條ヲ以テ改正セラレタリ

(4)本條ハ納本ニ關スル規定ニシテ千九百二十五年五月十九日ノ法律第二十二條ニ依リ廢止セラレタリ

(5)千八百十年二月五日ノ命令、千八百五十四年四月八日ノ命令ヲ以テ逐次改正ヲ受ケ、千八百六十六年七月十四日ノ法律ニ依リ五十年ト規定セラレタリ

○共和曆十三年芽月一日(千八百五年三月二十二日)ノ勅令

— 遺著作物ノ所有權

第一條 相續若ハ其ノ他ノ名義ニ於テ遺稿ヲ所有スル者ハ著作者ト同様ノ權利ヲ有シ著作者ノ排他的所有權及其ノ存續期間ニ關スル各法律ノ規定ヲ之ニ適用ス尤モ遺稿ハ之ヲ別箇ニ印刷スルコトヲ要シ既ニ公ニセラレ且公有ニ歸シタル著作物ノ新版ニ添付スルコトヲ得ズ

第二條 司法大臣及内務、治安警察各大臣ハ各其ノ所管ニ從ヒ本勅令ノ實施ニ任ズベシ

○共和歷十三年芽月七日(千八百五十五年三月二十九日)ノ勅令

—教會ノ書籍ノ印刷

第一條 教會ノ書籍、時禱及祈禱ハ司教管區ノ司教ノ與フル許可ニ依ルニ非ザレバ之ヲ印刷若ハ再版ニ附スルコトヲ得ズ右ノ許可ハ書籍ノ各部ノ冒頭ニ原文ノマ、引證シ印刷セラルベキモノトス

第二條 右ノ許可ヲ得ルコトナクシテ教會ノ書籍、時禱及祈禱ヲ印刷若ハ再版ニ附セシメタル印刷業者、出版業者ハ千七百九十三年七月十九日ノ法律ニ從ヒ起訴セラルベシ

第三條 司法大臣及治安警察、宗教各大臣ハ各其ノ所管ニ從ヒ本勅令ノ實施ニ任ズベシ

○千八百六十六年六月八日ノ勅令(抄録)

—劇場及遺作ノ脚本及音樂的著作物ノ上演、演奏權

第三篇 著 者

第十條 著作者並ニ興行者ハ相互契約ヲ以テ一定ノ金額ニ依リ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ著作者ニ支拂フベキ報酬ヲ兩者間ニ決定スルノ自由ヲ有ス

第十一條 地方官憲ハ右契約ノ實施ヲ嚴重ニ監視スベシ

第十二條 演劇脚本ノ遺著作物ノ所有者ハ著作者ト同一ノ權利ヲ有シ且共和曆第十三年芽月一日ノ勅令ニ規定セラレタル如ク著作者ノ所有權及其ノ存續期間ニ關スル諸規定ヲ之ニ適用ス

○千八百九十九年二月二十日ノ勅令

—圖書館及其ノ他ノ公共營造物ノ稿本ノ公刊

第一條 外務省記録課ノ稿本及帝國圖書館、縣立圖書館、市町村立圖書館若ハ其ノ他國家的營造物ノ有スル稿本ハ之ガ其ノ所屬保管所内ニ現存スルモノナルト若ハ其ノ保管所ヨリ竊取セラレタルモノナルト又ハ其ノ原本ガ舊規定ノ條件ニ依リ其ノ保管所ニ納付セラレザリシモノナルトヲ問ハズ總テ國家ノ所有ニシテ之ヲ許可ナクシテ印刷ニ附シ且公ニスルコトヲ得ズ

第二條 右ノ許可ハ外務省記録課所屬稿本ノ謄寫、拔萃若ハ引用ヲ爲ス著作物ヲ公ニスルコトニ關シテハ外務大臣ニ依リ及其ノ他前條ニ掲ゲタル公共營造物ノ一ニ所屬スル稿本ノ謄寫、拔萃若ハ引用ヲ爲ス著作物ヲ公ニスルコトニ

關シテハ内務大臣ニ依リ之ヲ與フ  
第三條 外務大臣及内務大臣ハ各其ノ所管ニ從ヒ本勅令ノ實施ニ任ズベシ

○千八百十年二月五日ノ勅令(抄録)

——印刷業及出版業ニ關スル規定

第六篇 所有權及其ノ保障

第三十九條 (一)

第四十條 内國人タルト外國人タルトヲ問ハズ總テ印刷若ハ版刻セラレタル著作物ノ著作者ハ印刷業者若ハ出版業者  
又ハ其ノ他一切ノ他人ニ其ノ權利ヲ讓渡スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ讓受人ハ著作者又ハ前條ニ規定シタル權利  
承繼人ニ對シ之ニ代ルベキ地位ト資格ヲ得ルモノトス

第七篇

第一節 出版業者ニ關スル輕罪並ニ其ノ處罰及檢證方法

第四十一條 左ノ場合ニ於テハ刑法ノ規定ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ國家ノ爲ニ沒收及罰金ノ刑ヲ課ス

一、.....  
七、偽作ナル場合即チ著作者若ハ出版者又ハ其ノ權利承繼人ノ承諾ヲ得ズシテ印刷セラレ且之ニ損害ヲ與フル著作

物ナル場合

第四十二條 且又右ノ最後ノ場合ニ於テハ著作者若ハ出版業者又ハ其ノ權利承繼人ニ對シ損害賠償ヲ爲スノ義務ヲ發  
生シ且偽版又ハ偽作ノ印本ハ其ノ利益ノ爲ニ沒收セラレベシ

第四十三條 輕罪裁判所若ハ重罪裁判所ハ其ノ場合ニ應ジ且法律ニ從ヒ刑罰ヲ宣告シ及損害賠償ヲ裁定ス

第二節 輕罪及違警罪ノ檢證方法

第四十五條 輕罪及違警罪ハ印刷業及出版業ノ検査官、警察官ニ依リ且又外國ヨリ到來スル書籍ニ關シテハ稅關吏ニ  
依リ之ヲ檢證スベシ

註 (1)本條ハ著作者、其ノ寡婦及其ノ子女ニ對シ所有權ノ存續期間ヲ規定シタルモ、千八百六十六年七月十四日ノ法律ニ依リ廢止  
セラレタリ

○千八百十年二月十二日ノ刑法(抄録) (1)

第四百二十五條 著作所有權ニ關スル法律及規則ヲ無視シテ全部若ハ一部印刷又ハ版刻セラレタル一切ノ文書、樂譜、  
圖案、繪畫若ハ其ノ他一切ノ製作物ハ偽作トシ而シテ一切ノ偽作ハ輕罪トス

第四百二十六條 偽作物ノ販賣並ニ「フランス」國ニ於テ印刷セラレタル後外國ニ於テ偽作セラレタル著作物ヲ「フラ  
ンス」國領土内ニ輸入スルコトハ同種ノ犯罪トス

第四百二十七條 偽作者及輸入者ニ對スル刑罰ハ百「フラン」以上二千「フラン」以下ノ罰金トシ販賣者ニ對スル刑罰ハ二十五「フラン」以上五百「フラン」以下ノ罰金トス  
 偽版ノ沒收ハ偽作者ニ對スルト同様輸入者及販賣者ニ對シ等シク之ヲ宣告スベシ  
 偽作物ノ印板、鑄型若ハ原型モ同ジク之ヲ沒收ス  
 第四百二十八條 著作所有權ニ關スル法律及規則ヲ無視シテ演劇脚本ヲ其ノ劇場ニ於テ上演セシメタル一切ノ座頭、興行者及技藝家協會ハ五十「フラン」以上五百「フラン」以下ノ罰金ニ處シ且其ノ收入ヲ沒收スベシ  
 第四百二十九條 前四條ニ定ムル場合ニ於テ沒收物ノ收益若ハ沒收シタル收入ハ所有權者ニ之ヲ交付シ其ノ蒙リタル損害ノ程度ニ應ジ之ヲ賠償スベシ其ノ賠償金ノ殘餘又ハ沒收セラレタル物ヲ賣却セズ且收入ヲ差押ヘザリシ場合ニ於テハ賠償金ノ全部ハ之ヲ通常ノ方法ニ依リ決定ス

第四百六十三條

刑法ニ依リ禁錮ノ刑若ハ罰金ノ刑ノ宣告セラレタル一切ノ場合ニ於テ情狀酌量ノ餘地アルトキハ再犯ノ場合ト雖モ輕罪裁判所ハ禁錮ハ六日以下ニ又罰金十六「フラン」以下ニ之ヲ輕減スルノ權限ヲ有ス尙輕罪裁判所ハ其ノ刑罰ノ中何レカ一ヲ別箇ニ宣告シ且禁錮ヲ罰金ニ代エルコトヲ得ベシ但シ如何ナル場合ト雖モ刑罰ハ違警罪ノ刑以下タルコトヲ得ズ

註 (1) 刑法第四百二十五條乃至第四百二十九條ハ千七百九十一年一月十三日ノ法律(第三條)、千七百九十三年七月十九日ノ法律(第四、五條)及千八百十年二月五日ノ勅令(第四十一條以下)ノ規定ニ代ルモノナリ

○千八百十二年十月十五日ノ勅令抄録

佛蘭西劇場ノ監督、組織、管理、會計、取締リ及規律

第七十二條 (1)

第七十三條 著作者ハ其ノ脚本ガ舞臺稽古ニカケラレタルトキヨリ無料入場ノ權利ヲ享有シ五幕及四幕ノ著作物ニ付テハ最初ノ上演後三年間、三幕ノ著作物ニ付テハ二年間、一幕及二幕ノ脚本ニ付テハ一年間右權利ヲ保有ス劇場ニ保存セララルル五幕若ハ四幕ノ脚本二本、三幕ノ脚本三本又ハ一幕ノ脚本四本ノ著作者ハ其ノ生存間無料入場ノ權利ヲ有ス

註 (1) 本條ハ千八百五十九年十一月二十九日ノ命令ニ依リ左ノ如ク規定セラレタリ。

○千八百五十九年十一月二十九日ノ命令

總收入額ニ於ケル著作者ノ配當ハ一晚一五%ニシテ左表ニ從ヒ一興行ヲ構成スル著作物間ニ新舊同等ニ分配セラル

脚本一本	一五%
對等ナル脚本二本(七・五%宛)	一五%
四幕若ハ五幕	一五%
一幕若ハ二幕	四%
四幕若ハ五幕	九%
一幕若ハ二幕	一五%
三幕	六%

三幕	.....	一〇%
一幕若ハ二幕	.....	一五%
對等ナル脚本三本(五%宛)	.....	一五%
四幕若ハ五幕	.....	八%
一幕若ハ二幕	.....	三・五%
一幕若ハ二幕	.....	三・五%
四幕若ハ五幕	.....	七%
三幕	.....	五%
一幕若ハ二幕	.....	三%
三幕	.....	七%
一幕若ハ二幕	.....	四%
一幕若ハ二幕	.....	四%
三幕	.....	五・五%
三幕	.....	五・五%
一幕若ハ二幕	.....	四%
一幕若ハ二幕	.....	四%

然レドモ著作者及俳優ハ前表ニ定メラレタル著作者ノ權利ヲ減ゼザル範圍内ニ於テ合意的ニ右ト全ク異ル契約ヲ爲スコトヲ得

○千八百十四年六月六日ノ命令(抄録)

—海軍省ノ納本制度

第十二條 軍艦及商船ノ安全ハ精確ナル海圖ニ依ルモノナルヲ以テ何人ト雖モ千七百八十六年六月十日ノ樞密院ノ決議ノ規定ニ從ヒ許可ナクシテ之ヲ公ニスルコトヲ得ズ該決議ハ前記海圖ノ肉筆圖面ニ其ノ構成ニ關スル明細書ヲ添附シテ海軍省ニ提出シ其ノ検査ヲ受クベキコトヲ命令シ而シテ之ニ違背シタルトキハ六百「フラン」ノ罰金竝ニ海圖、草案、校正刷及刻版ノ差押及沒收ノ刑ヲ課スルモノナリ(1)

註 (1)「フラン」ニ於テハ個人ガ此ノ種ノ出版ヲ行フコト永ク絶エタレバ、本條ハ有名無實ノ規定トナレル由、千八百三十九年ノ Droit d'Auteur (1333頁)所載本命令ノ註ニ見エタリ

○千八百四十一年五月六日ノ法律(抄録)

—税 關

第四篇規 則

第八條 書籍業ニ於ケル偽作物ハ千八百三十二年二月九日ノ法律ニ依リ禁制品ニ許與セラレタル免稅通過ヨリ之ヲ除外スベシ

所有權ガ外國ニ於テ確立セラレタル「フランス」語ノ著作物若ハ「フランス」人ノ公有ニ歸シタル著作物ノ外國版ナル「フランス」語ノ著作物ハ總テ引續キ免稅通過ヲ享有シ又確定セル税金ヲ支拂ヒ且著作物ノ題號、印刷ノ場所及年月日、冊數ヲ記載シタル出所證明書ヲ提出スルノ條件ニ依リ輸入ヲ許可セラルベシ而シテ右書籍ハ假綴若ハ綴合セラ

爲スヲ要シ紙片ノ形ニ於テ提出スルヲ得ザルモノトス  
外國ヨリ到來スル書物ハ如何ナル言語ニ依ルモノト雖モ勅令ニ依リ指定セラレタル稅關事務所ニ提出スルニ非ザレバ輸入許可若ハ免稅通過ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス  
提出セラレタル書籍ニ付偽作或ハ司法上ノ有罪判決ノ推定生ジタル場合ニ於テハ許可ヲ中止シ書籍ハ之ヲ稅關ニ抑留スベシ而シテ右ノ次第ヲ內務省ニ照會シ內務大臣ハ四十日以内ニ申渡スベシ

本條ニ包含セラレタル規定ハ複製ガ活版術、石版術若ハ版刻術ノ方法ニ依リ爲サレタル一切ノ著作物ニ之ヲ適用スベシ

「フランス」ニ於テ印刷セラレタル出版物ノ全部若ハ一部ハ內務大臣ノ明白ナル許可ニ依ルニ非ザレバ之ヲ逆輸入スルコトヲ得ズ右ノ許可ハ出版者ノ申請ニ基キ許與セラルルモノニシテ出版者右ノ許可ヲ得ル爲ニハ權利者ガ逆輸入ニ同意ヲ與ヘタルコトヲ證スルコトヲ要スルモノトス

○千八百四十二年十二月十三日ノ命令

——書籍業ノ輸入及免稅通過

第八條 千八百四十一年五月六日ノ法律ニ依リ免稅通過ヨリ除外セラレタル書籍業ニ於ケル偽作物ハ之ヲ稅關倉庫ニ受取ルコトヲ得ザルモノトス

註 書籍業ニ於ケル偽作物ハ千八百九十二年一月十一日ノ稅關法(A表)第四百七十三號ニ依リ禁止セラル、而シテ右ハ單ニ千八百八十一年五月七日ノ法律(A表)第四百十六號ノ寫ニ他ナラズ。右兩法律ノB表、第五百八十一號(千八百八十一年)及第六百五十六號(千八百九十二年)ハ尙、偽作物ノ輸出ヲ禁ジタリ。(Droit d'Auteur 一八九三年、一三五頁第三欄)

○千八百五十二年三月二十八日—三十一日ノ大統領令(法律)

——外國ニ於テ公ニセラレタル著作物ノ文學的及美術的所有權

第一條 外國ニ於テ公ニセラレ且刑法第四百二十五條ニ掲ゲラレタル著作物ノ「フランス」領土ニ於ケル偽作ハ輕罪ヲ構成ス

第二條 偽作物ノ販賣、輸出及送達ニ付亦同ジ該著作物ノ輸出及送達ハ「フランス」國ニ於テ印刷セラレタル後外國ニ於テ偽作セラレタル著作物ノ「フランス」領土輸入ト同種ノ輕罪ナリ

第三條 前二條ニ定ムル輕罪ハ刑法第四百二十七條及第四百二十九條ニ從ヒ禁止セラルベシ同法第四百六十三條ハ之ヲ適用スルコトヲ得ベシ

第四條 (1)

註 (1) ポール・オラニエ曰ク、本條(第四條) 然レドモ「フランス」ニ於テ公ニセラレタル著作物ニ關シ特ニ千七百九十三年七月十九日ノ法律第六條ニ依リ要請セラルル條件ノ履行ヲ爲サザレバ其ノ訴追ハ之ヲ受理セザルベシ」ハ納本ニ關スル千九百二十五年五月十九日ノ法律第二十二條ニ依リ廢止セラレタルハ明瞭ナリ。(Paul Ougnier: Le Droit d'Auteur P. 350)

○千八百六十六年七月十四日—十九日ノ法律

——著作者、作曲家若ハ美術家ノ相続人及權利承繼人ノ權利ノ存續期間ニ關スル法律

第一條 從來ノ法律ニ依リ著述家、作曲家若ハ美術家ノ相続人、非正系相続人、受贈者若ハ受遺者ニ許與セラルル權利ノ存續期間ハ著作者ノ死後五十年ニ之ヲ延長ス  
右五十年ノ期間中遺族タル配偶者ハ其ノ夫婦財產制ノ如何ニ拘ラズ又配偶者ノ爲ニ共通財產制ヨリ生ズベキ權利ノ如何ニ關セズ單ニ先ニ死亡セル著作者ガ生前爲若ハ遺言ヲ以テ未ダ處分セザリシ權利ノミヲ享有ス  
尤モ著作者ガ遺留分權利者ヲ殘シタル場合ニ於テハ右ノ享有ハ民法第九百十三條及第九百十五條(1)ノ定ムル割合及區別ニ從ヒ右權利者ノ爲ニ之ヲ減少ス

右ノ享有ハ死亡ノ際配偶者ニ對スル夫婦別居ノ宣言存スル場合ニ於テハ生ズルコトナシ右ノ享有ハ配偶者ガ新ニ婚姻ヲ結ビタル場合ニ於テハ消滅ス遺留分權利者及其ノ他ノ相続人若ハ承繼人ノ權利ハ右五十年ノ期間中ハ尙民法典ノ規定ニ依リ規定セラルルモノトス  
專屬權ハ相續方國家ニ歸屬シタルトキハ債權者ノ權利及豫メ著作者若ハ其ノ代理人ノ同意ヲ得タル讓渡契約ノ履行ヲ害セザル範圍内ニ於テ消滅ス

第二條 本新法ノ規定ニ反スル從來ノ法律ノ規定ハ總テ之ヲ廢止ス

註 (1) 民法第九百十三條及第九百十五條ハ左ノ如シ

第九百十三條 贈與ハ生前爲ニ依ルト遺言ニ依ルトヲ問ハズ財產處分者ガ其ノ死亡ニ際シ唯一人ノ嫡出子ノミヲ殘シタル場合ニ於テハ右財產處分者ノ財產ノ二分ノ一、二人ノ嫡出子ヲ殘シタル場合ハ其ノ三分ノ一、三人若ハ其レ以上多數ノ嫡出子ヲ殘シタル場合ハ其ノ四分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ザルベシ

第九百十五條 贈與ハ生前爲ニ依ルト遺言ニ依ルトヲ問ハズ嫡出子ヲ缺ク死亡者ガ父系及母系ニ於ケル各一人若ハ數人ノ尊屬親ヲ殘シタル場合ニ於テハ財產ノ二分ノ一、一系統ノミニ於テ數人ノ尊屬親ヲ殘シタル場合ニ於テハ其ノ四分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ズ

右ノ如ク尊屬親ノ爲ニ留保セラレタル財產ハ法律ガ承繼ヲ命ズル順序ニ從ヒ尊屬親之ヲ收ムルモノトス傍系親ト競争スル分割ガ確定ノ財產持分ヲ尊屬親ニ與ヘザルガ如キ一切ノ場合ニ於テ尙尊屬親ノミガ右ノ留保ニ權利ヲ有スベシ

○千八百九十五年二月九日ノ法律

——美術ニ關スル詐欺



第一條 左ニ掲グル者ハ一年以上五年以下ノ禁錮及十六「フラン」以上三千「フラン」以下ノ罰金ニ處ス但シ必要アルトキハ損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

- 一 繪畫、彫刻、圖案、版畫又ハ音樂ニ關スル著作物ニ詐欺手段ヲ以テ僭稱シタル氏名ヲ記載シ又ハ表示シタル者
- 二 前掲著作物ニ詐欺手段ヲ以テ且著作者ノ個性ニ關シ購買者ヲ欺ク目的ヲ以テ著作者ノ署名又ハ其ノ使用スル記號ヲ模倣シタル者

第二條 前條ト同一ノ刑罰ハ右ノ氏名、署名若ハ記號ヲ附シタル物ヲ故意ニ隱匿、販賣若ハ流布シタル一切ノ商人又ハ委託販賣者ニ之ヲ適用ス

第三條 違法ノ物ハ沒收シ之ヲ原告ニ交付シ又ハ原告ニ於テ受領ヲ拒ムトキハ之ヲ破毀ス

第四條 本法ハ公有ニ歸セザル著作物ニ之ヲ適用ス但シ刑法第四百二十三條(一)ノ適用アル其ノ他ノ著作物ニ付テハ此ノ限ニアラズ

第五條 刑法第四百六十三條ハ第一條及第二條ニ掲ゲタル場合ニ之ヲ適用ス

註 (1)本條は貴金屬、寶石類、其ノ他一切ノ商品ニ關スル詐欺に對スル刑罰ヲ規定シタルモノナルガ、千九百五年八月一日ノ法律ヲ以テ廢止セラレタリ

### ○千九百十年四月九日ノ法律

——美術的著作物ノ複製ニ關スル著作者ノ權利ノ保護

單一箇條 美術的著作物ノ讓渡ハ反對ノ契約ナキトキハ其ノ複製權ノ讓渡ヲ伴フコトナシ

### ○千九百十七年十一月十日ノ法律

——機械的樂器ノ製造販賣ニ關スル千八百六十六年五月十六日ノ法律ヲ廢止スル法律

第一條 機械的樂器ニ關スル千八百六十六年五月十六日ノ法律(一)ハ之ヲ廢止ス

第二條 然レドモ本法施行前ニ機械的樂器ニ寫調セラレタル樂曲ヲ此ノ種ノ機器ニ依リ複製スルコトハ適法ナリ高サ十種(〇・一〇米)直徑五種(〇・〇五米)ヲ超ヘザル圓筒ヲ以テスル「ボワト・ア・ミュージック」ト稱スル玩具又ハ之

ト類似ノ機器ニ依リ樂曲ノ一部ヲ複製スルコトハ引續キ作曲家若ハ其ノ權利承繼人ノ許可ヲ一切受クルヲ要セズ  
第三條 本法公布後二月以内ニ機械的樂器ノ製造者及此ノ種ノ機器ニ用フル部分品ノ製造者若ハ發行者ハ本法公布前ニ其ノ寫調シタル樂曲又ハ其ノ運用シタル營業財產ノ一部ヲ爲ス樂曲ノ精確ニシテ完全ナル目錄ヲ美術大臣ニ届出ツルモノトス

美術省ハ右ノ樂曲ノ一覽表ヲ定メ之ヲ官報ニ公告スベシ一覽表ニ記載ナキ場合ニ於テハ一切ノ樂曲ハ前掲第二條ニ定メラレタル免除ノ利益ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス但シ製造業者ニシテ右ノ樂曲ガ右ノ表ヨリ不當ニ除去セラレタルモノナルコトヲ證明セル場合ハ此ノ限ニアラズ著作者ニ於テハ右ノ表ニ記載セル樂曲ガ本法公布前ニ寫調ノ目的物タラザリシコトヲ證明スルノ權利ヲ保留スルモノトス

第四條 本法ノ規定ニ對スル違反ハ刑法第四百二十五條以下ノ規定ノ適用ヲ受ク  
註 (1)千八百六十六年五月十六日ノ法律

單一箇條 私有ニ屬スル樂曲ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ノ製造及販賣ハ刑法第四百二十五條以下ト合體シテ千七百九十三年七月十九日ノ法律ノ規定シ且罰スル音樂的剽竊ノ事實ヲ構成セズ

○千九百二十年五月二十日(千九百二十二年十月二十七日改正)ノ法律

——美術家保護ノ爲美術品ノ公賣ニ料金ヲ課スル法律

第一條 美術家ハ其ノ著作物ノ中公賣ニ附セラレベキモノニ對シ不可讓渡性ノ追求權ヲ有スルモノトス但其ノ場合ニ於テハ繪畫、彫刻、圖案ノ如キ該著作物ガ原著作物ニシテ且著作者ノ個性的創意ヲ表現シタルモノナルコトヲ要ス右ト同一ノ權利ハ千八百六十六年七月十四日ノ法律ニ依リ指定セラレタルガ如キ美術家ノ相續人及權利承繼人ニモ屬スベシ而シテ其ノ期間ハ現行法ニ依ル美術的所有權ノ存續期間ニ同ジ  
追求權ハ美術家、其ノ相續人及權利承繼人ガ本法施行前ニ美術的所有權ノ讓渡ニ承諾ヲ與ヘタル場合ト雖モ其ノ讓渡ノ事實ニ拘ラズ之ヲ行使スルモノトス

第二條 追求權ノ率ヲ左ノ如ク定ム  
五十フラン乃至一萬フラン 百分ノ一  
一萬フラン乃至二萬フラン 百分ノ一・五

二萬フラン乃至五萬フラン 百分ノ二  
五萬フラン以上 百分ノ三  
該料金ハ各著作物ノ達シタル賣價ヨリ之ヲ徵收スルモノトス  
本法ニ依リ制定セラレタル追求權ハ後ニ掲グル第三條ノ定ムル行政命令ノ公布ヲ待チテ其ノ日ヨリ假處分トシテ之ヲ行使スルモノトス  
最低價格ニ達シタルトキハ追求料金算定ノ基準ニ控除ハ一切之ヲ設ケザルベシ而シテ其ノ追求料金ノ算定ハ截然タル區切毎ニ依ラズシテ價格ノ合計總額ニ基キ且其ノ價格ノ最高部分ニ適用スベキ率ニ依リ之ヲ確定スルモノトス  
從テ著作物ガ各段階ヲ超ユル毎ニ追求料金ノ控除ハ到達シタル百分率ヲ全體ニ付享有スルノ權利ヲ得ルモノトス  
第三條 本法公布ノ日ヨリ六月以内ニ行政命令ヲ以テ美術家、其ノ相續人及權利承繼人ガ美術品ノ公賣ニ際シテ前掲第一條及第二條ノ規定ニ於テ認メラレタル權利ヲ主張スルニ必要ナル條件ヲ定ムベシ

○千九百二十四年五月三十一日ノ大統領令

——公賣ニ移レル美術品ノ賣價ニ關スル追求料金ノ徵收

第一條 公賣ニ移レル美術品全體中ノ一部分若ハ若干部分ノミガ千九百二十年五月二十日ノ法律ノ適用ヲ受クル場合ニ於テハ追求料金ハ賣價ノ總額ヨリ之ヲ徵收ス

第二條 數人ノ美術家ガ共同著作シタル場合ニ於テハ徵收セラレタル料金ハ反對ノ契約ナキ限り右法律ノ利益ヲ請求シタル者ニ平等ニ分配セラレ

第三條 前條ニ掲グル契約ハ千九百二十年十二月十七日ノ命令第一條ノ規定スル形式ヲ以テ之ヲ公告シ又ハ該命令第二條ニ定ムル形式ヲ以テ且其ノ定ムル期間内ニ之ヲ通告スルニ非ザレバ官公吏ニ對シテ效力ヲ發生セザルモノトス

第四條 國廳保管官、司法大臣及國民教育美術技術教育大臣ハ各其ノ所管ニ從ヒ本令ノ實施ニ任ズルモノトス本令ハ之ヲ官報ニ公告シ且法令全書ニ挿入スベシ

○千九百二十五年五月十九日ノ法律

— 納 本 —

第一條 一切ノ性質ノ印刷物（書籍、定期刊行物、小冊子、木版畫、銅版畫、繪葉書、地圖、其ノ他）、音樂的著作物、公然發賣セラレタル又ハ複製ノ爲ニ讓渡セラレタル寫眞的著作物、活動寫眞的著作物、著音器吹込ニ依ル著作物及一般ニ多數複製セラレタル書寫術ニ依ル一切ノ著作物ハ第十一條（豪華ナル著作物、豪華ナル銅版畫及木版畫、音樂的出版物）及第十二條（新版、重版）ノ規定ノ制限内ニ於テ二部納本スルコトヲ要ス納本ハ一方印刷者若ハ製作者ニ於テ他方出版者ニ於テ之ヲ履行スベシ

第二條 右ノ著作物ニハ印刷者若ハ製作者ノ氏名、其ノ住所並ニ創作若ハ出版ノ年ヲ表示スルコトヲ要ス書籍ノ新版ニモ同様ニ其ノ出版セラレタル年ヲ表示スルコトヲ要ス

第三條 左ニ掲グルモノハ納本ヲ要セズ

招待狀、着荷案内、引札、名刺等ノ書簡及「カード」、冒頭辭句刷込ノ書簡及封筒ノ如キ所謂簡易印刷物  
計算書、證書、目錄、帳簿等ノ雛型、書式及作方等ノ如キ所謂管理用印刷物  
物價表、能書、符牒紙、見本帳ノ如キ所謂商業用印刷物  
投票用紙並ニ未ダ印刷セザル「テイトル・ド・ビュブリカシオン」  
金融上ノ有價證券

A 印刷者若ハ製作者ニ依ル納本

第四條 第一條ニ掲グル書寫術ニ依ル著作物ノ印刷者若ハ製作者ハ第十一條及第十二條ノ規定ノ制限内ニ於テ其ノ印刷者若ハ製作者ニ關シテハ印刷ノ完了後直チニ之ヲ履行スルコトヲ要ス

第五條 發賣セラレタル又ハ複製ノ爲ニ讓渡セラレタル一切ノ性質ノ寫眞ニハ製作者若ハ複製權ノ讓受人ノ氏名又ハ記號並ニ創作年ノ記載ヲ附スルコトヲ要ス

脆弱ナル又ハ消滅シ易キ材料（硝子、セルロイド、其ノ他）ニ燒着セラレタル寫眞畫ハ紙ニ印刷シタル寫眞畫ヲ以テ之ニ代フ活動寫眞「フィルム」ニ關シテハ其ノ納本ハ題號、別名及解説ト共ニ一主題若ハ一情景ニ付一影像ノミニテ可ナリトス

第六條 納本ハ「セーヌ」縣ニ關シテハ直接「パリ」ノ内務省納本掛ニ對シ之ヲ爲シ其ノ他ノ縣ニ關シテハ縣及郡ニ所屬

ノ該收納所ニ對シ之ヲ爲スモノトス

第七條 納本ニハ左記事項ヲ記載シタル年月日及署名人ノ届出書ニ通テ添附スルモノトス

- 一 著作物ノ題號、木板畫、寫眞等ニ關シテハ其ノ名稱及主題
- 二 印刷部數
- 三 匿名ノ記載若ハ著作者ノ氏名
- 四 印刷依頼者ノ氏名、住所及肩書
- 五 印刷完了ノ年月日

第八條 納本ヲ收受シタル納本掛員ハ納本者ニ對シ受領證ヲ交付ス

B 發行者ニ依ル納本

第九條 出版ヲ行フ一切ノ人、自ラ其ノ著作物ヲ出版スル著作者若ハ印刷セラレタル著作物ノ主タル保管者ニシテ其ノ氏名又ハ商號ヲ表示セル書寫術ニ依ル製作物ヲ發賣又ハ頒布スル者ハ第十二條ノ規定ノ制限内ニ於テ發賣又ハ頒布シタル月ノ内ニ國立圖書館ニ完全ナル印本一部ヲ納本スルコトヲ要ス

納本ハ「セーヌ」縣ニ於テハ直接國立圖書館ニ之ヲ爲シ其ノ他ノ縣ニ於テハ無料郵便ノ方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得納本ニハ左記事項ヲ記載シタル年月日及署名人ノ届出書ニ通テ添附スルモノトス

- 一 著作物ノ題號
- 二 著作者、印刷者若ハ製作者及出版者ノ氏名

- 三 發賣ノ年月日
  - 四 著作物ノ價格
  - 五 印刷部數
  - 六 書籍ニ關シテハ種ニ依ル判形
  - 七 頁數並ニ本文外ノ枚數
  - 八 印刷完了ノ年月日
- 納本者ニ對シテハ右ノ表記ヲ寫シタル受領證ヲ交付ス
- 國立圖書館ニ送付スル爲ニ定期刊行物ヲ一括シ得ル條件並ニ脆弱ナル刊行物及製作物ヲ同圖書館ニ送付スルノ條件及方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス
- 第十條 外國ニ於テ製作セラレタル書寫術ニ依ル製作物ヲ共同出版者又ハ主タル保管者ノ名義ヲ以テ「フランス」ニ於テ發賣シ豫約シ又ハ頒布スル書籍商、出版者又ハ委託販賣業者ハ第九條ニ定ムル條件ニ從ヒ印本二部ヲ以テ其ノ納本ヲ爲スコトヲ要ス納本ハ直接國立圖書館ニ之ヲ爲シ圖書館ハ其ノ受領證ヲ交付スルモノトス
- 「フランス」ニ於テ發賣、豫約又ハ頒布セラルル製作物ニハ前掲第二條及第五條ニ於テ規定シタル事項ヲ規載スルコトヲ要ス

C 特別規定

第十一條 印刷部數僅少ニシテ且番號ヲ附シタル所謂豪華ナル著作物及印刷部數百部以下ニシテ且番號ヲ附シタル美術的木板畫ハ完全ニシテ缺クルトコロナキ状態ニアルモノナルコトヲ條件トシテ單ニ印本一部ノミヲ以テ其ノ納本

ヲ爲スコトヲ得

右ノ一部納本ハ出版者ニ於テ又ハ著作家ガ其ノ藝術ノ產物ヲ直接ニ販賣スル場合ハ著作家ニ於テ直接國立圖書館ニ之ヲ爲スモノトス

第一條、第四條及第九條ノ規定ノ例外トシテ音樂的出版物ハ發行者ノミ發賣後三月以内ニ其ノ印本二部ヲ納本スルコトヲ要ス納本ハ直接國立圖書館ニ之ヲ爲シ圖書館ハ其ノ一部ヲ保管シ他ノ一部ヲ巴里國立音樂學校附屬圖書館ニ送付スルコトヲ保證ス右ノ納本ニハ第七條ノ規定ニ從ヒ作成セラレタル屆書ヲ添付スルコトヲ要ス

第十二條 既ニ納本セラレタル著作物ノ新版毎ニ各印制者及發行者ヨリ第七條及第九條ニ列舉セラレタル表記並ニ印刷番號若ハ版番號及納本ノ年月日ヲ記載シタル屆書二通ヲ送付スルモノトス若シ右ノ新版ガ通常ノ正誤又ハ印刷若ハ版ノ順位番號以外ノ變更アルモノニ非ザル場合ニ於テハ其ノ屆書ニ更ニ印本ヲ添附セザルモノトス之ト異ル場合ニ於テハ納本ハ第四條及第九條ノ規定ニ從ヒ之ヲ爲スベシ

音樂的出版物ノ新版ハ更メテ届出ヅルノ要ナシ

第十三條 版刻師若ハ寫眞師ニシテ其ノ保存セル原版又ハ種板一箇ヲ基トシテ注文ニ應ジテ刷畫ヲ印刷スル者ハ納本ニ附隨スル屆書中ニ印刷番號ノ制限ナキ旨ヲ記載スルコトヲ要ス其ノ後ノ印刷ニ關シテハ更ニ何ラノ届出モ納本モ之ヲ爲スヲ要セズ

第十四條 第四條及第九條(1)ノ條件ニ從ヒ印刷者若ハ製作者ニ依リ納本セラレタル印本ハ之ヲ受納シタル掛員ニ依リ納本ノ日ヨリ遅クモ一月以内ニ國立圖書館ニ轉送セラルルモノトス國立圖書館ハ出版者ニ依リ納本セラレタル印本ヲ受納シタルトキハ二部ノ中一部ヲ他ノ公共營造物ニ之ヲ配ルモノトス

「パリ」又ハ地方ノ各種公共營造物間ニ於テ右ノ如ク處分シ得ベキ印本ノ分配ハ國民教育大臣命令ニ依リ之ヲ定ムベシ

第十五條 印刷者ニ依リ爲サレタル屆書二通ノ中一通ハ内務大臣ニ依リ國立圖書館ニ轉送セラレ製作者、出版者若ハ輸入著作物ノ保管者ニ依リ爲サレタル屆書二通ノ中一通ハ國立圖書館ニ依リ内務大臣ニ轉送セラルルモノトス

### D 納本ニ關スル制裁

第十六條 一切ノ虚偽若ハ不完全ノ届出並ニ一般ニ納本義務アル者ノ本法ノ規定ノ一ニ對スル違反ハ之ヲ十六「フラン」乃至三百「フラン」ノ罰金ニ處ス

再犯ノ場合ニ於テハ罰金額ハ一千「フラン」ニ達スルコトヲ得尙又納本義務ヲ有スル印本ヲ納本セズ又ハ納本シタルモ完全ナラザル一切ノ納本義務者ニ對シテハ納本收納所ガ右者ニ對シ書留郵便ヲ以テ督促シタルモ其ノ效ナキ場合ニ於テハ納本セラレザル出版物若ハ製作物ノ取引ニ於ケル購入費支拂ノ刑ヲ課スルコトヲ得右ニ關シ納本收納所ハ職權ヲ以テ之ヲ行フノ權利ヲ有ス

第十七條 一切ノ違犯者ハ納本收納所ノ請求ニ依リ直接之ヲ輕罪裁判所ニ召喚ス  
職權ヲ以テ購入シタル印本ノ入手費ノ支拂命令ハ總テ納本收納所ノ爲ニ之ヲ宣告ス  
納本收納所ニ依リ行使セラルル訴權ハ發行ノ日ヨリ三年ノ期間ノ滿了後時効ニ因リ消滅ス

### E 納本ノ效力

第十八條 本法ニ依リ規定セラレタル納本ハ單ニ權利ノ認定的價值ヲ有スルモノトス

納本ハ千八百八十一年七月二十九日ノ出版法ニ定ムル行政上及同法上ノ特別ナル納本ト混同セラルルコトナシ

第十九條 第七條及第九條ニ定ムル屆書ハ納本者自身、著作者、製作者若ハ相互ノ權利承繼人之ヲ閱覽スルコトヲ得  
右者ハ右屆書ノ認證謄本ノ交付ヲ受クル權利ヲ有ス

第二十條 本法適用ノ條件及本法施行ニ付必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムベシ

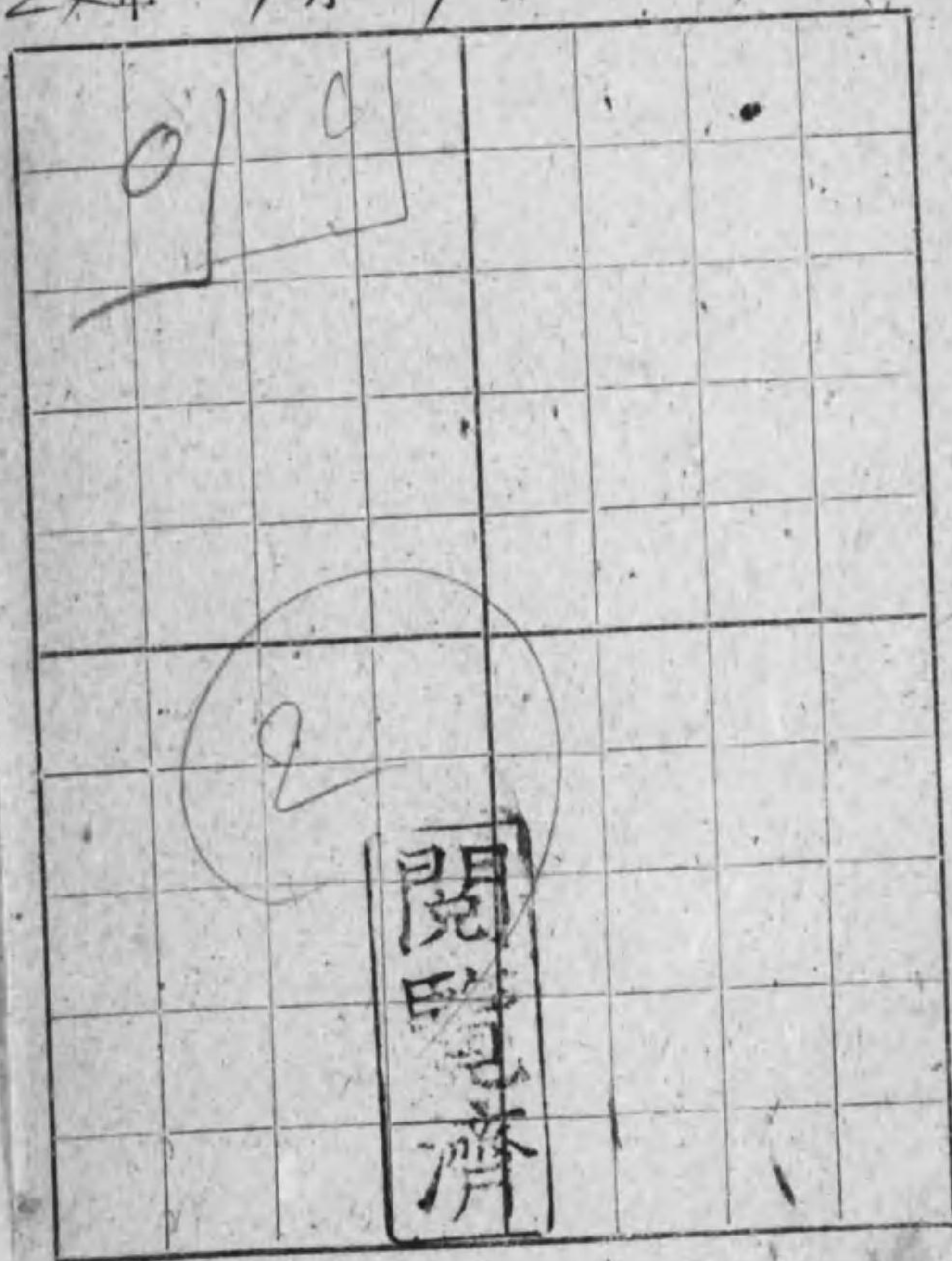
第二十一條 本法ハ「アルジェリー」ニ之ヲ適用ス本法ヲ植民地及保護國ニ適用スル條件ハ必要ト認メラルル改正ト共  
ニ行政命令ヲ制定スル命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 本法ニ反スル規定ハ之ヲ廢止ス特ニ舉グベキモノハ千七百九十三年七月十九日——二十一日ノ法律第六  
條並ニ千八百八十一年七月二十九日ノ法律第三條及第四條ナリ

註 (1) コレニ誤リアルニ非ズヤ、第九條ハ出版者ノ納本ニ關スルモノナリ。「第四條及第八條ノ條件ニ從ヒ印刷者若ハ製作者ニ  
依リ納本セラレタル印本」ト言ハバ一層論理的ナルガ如シ (Droit d'Auteur 一九一五年七四頁欄外註)

(-Paris)

28年 4月 7日 10



終

